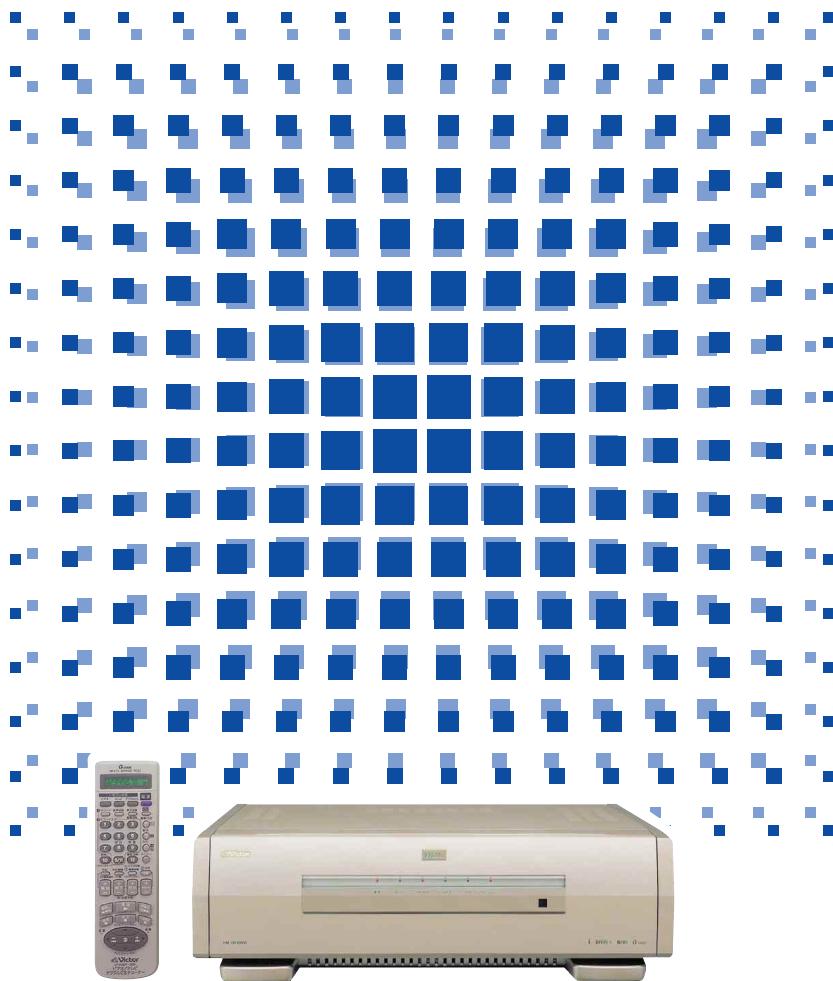
D-VHS デジタルレコーダー

型名 HM-DR10000

D-VHS Digital Recorder
HM-DR10000

お買い上げいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

LPT0301-001C

主な特長

すべての映像ソースをデジタルで録画できる
MPEG2 エンコーダー／デコーダー

デジタルビデオカメラの映像をデジタルでダビングできる
DV デコーダー ……………… ☞94

デジタル機器とダイレクトに接続できる
i.LINK 端子 ……………… ☞94

不安定なアナログ信号をデジタル記録できる
フレームシンクロナイザー

アナログ信号をより高画質にデジタル記録できる
デジタル 3 次元 Y/C 分離回路

くっきり鮮やかな画質を実現できる
4つの4メガ3次元+デジタルワイドTBC

長時間（24時間）のデジタル録画ができる
LS3 モード搭載 ……………… ☞48

デジタル早送り／巻戻し再生ができる
シャトルサーチ ……………… ☞50

番組の検索が手軽にできる
ビデオナビゲーション ……… ☞64

くっきりメリハリのある映像を再現する
D1 端子装備 ……………… ☞18

VHS テープに S-VHS 画質で録画できる
S-VHS ET ……………… ☞83

電話のプッシュホン感覚で簡単に録画予約できる
G コード予約 * ……………… ☞58

＊ G コードは、ジェムスター社の登録商標です。
　G コードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。

D-VHS とは？

D-VHSテープを使った新規格のデジタルメモリーシステムです。
デジタル動画など大量な情報を記録しなければならないマルチメディア用メモリーとして開発されました。

D-VHS の特長

1．他のデジタルメディアとは桁違いの大容量
テープメディアの特性を活かし、44GBから50GBと、ディスク系記録メディアの10倍もの容量を低コストで実現。

2．大容量を活かしての高画質STDモード
DVDの1.5〜2倍の高ビットレート=14.1Mbpsで最大7〜8時間記録可能。

3．大容量を活かしての長時間LS3モード
S-VHS 程度の高画質のビットレート=4.7Mbps なら、最大 21 〜 24 時間記録可能。

4．現行VHS、S-VHSとの上位互換性
高性能 S-VHS として従来のソフト資産を再生、アナログソースを S-VHS/VHS テープに記録可能。

5．ビットストリーム記録方式
デジタル放送のビットストリームを、画像・音声・付加データまで、そのまま記録可能。
MPEG2エンコーダー／デコーダー内蔵により、アナログ放送・ソフトもデジタル化してビットストリーム記録。

著作権保護技術について

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては、許可を受けています。

この商品の価格には、「私的録画補償金」が含まれております。補償金は、著作権法で権利保護のため権利者に支払われることが定められています。
私的録画補償金の問い合わせ先
〒107-0052
東京都港区赤坂5丁目3番6号　赤坂メディアビル
社団法人　私的録画補償金管理協会
TEL　03-3560-3107（代）
FAX　03-5570-2560
なお、あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

もくじ

最初にお読みください

設置と接続をするときは

ビデオを見る / 録画する

録画を予約する

便利な機能

その他

安全上のご注意

ご使用の前にお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解して本文をお読みください。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

●注意(警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

●してはいけない行為(禁止行為)を示す記号

禁止

水場での使用禁止

接触禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水ぬれ禁止

●必ずしてほしい行為(強制、指示行為)を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

お断り

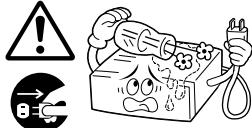
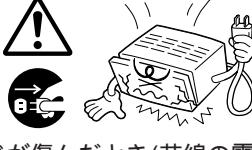
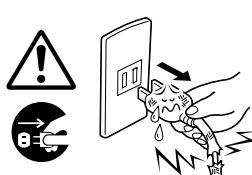
- ビデオ本体やリモコンなどのイラストは、実際の商品と形状が異なる場合があります。
- この「安全上のご注意」には、本製品に該当しない内容も記載されています。

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

■ **火災や感電の原因となります。**

- 煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常のとき。

- 内部に水や物が入ってしまったとき。

- 落としたり、キャビネットが破損したとき。

- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■ **このようなときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、販売店に修理を依頼してください。**

■ **お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。**

不安定な場所に置かない

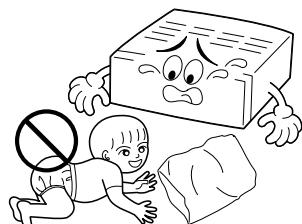
■ ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

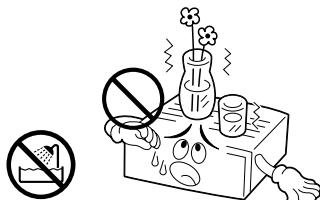
表示された電源電圧(交流100V)以外で使用しない

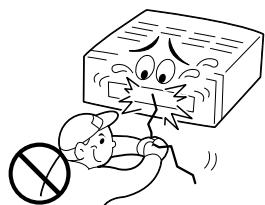
■ 火災や感電の原因となります。

⚠警告

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

■ 頭からかぶると窒息の原因となります。

この機器の上に水の入ったもの（花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など）を置かない

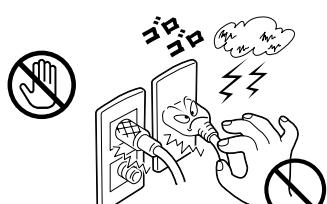
■ 機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。

内部に物を入れない

■ 通風孔やカセット出し入れ口などから、金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

ぬらさない

■ 火災や感電の原因となります。

■ 風呂場では使用しないでください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグにはふれない

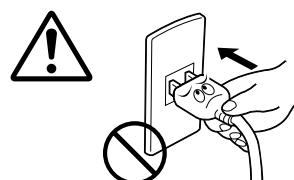
■ 感電の原因となります。

電源プラグは、すぐに抜ける場所にあるコンセントに差しこむ

■ 本機に異常が発生したときに、電源プラグをコンセントからすぐ抜けるようにしてください。

この機器の(カバー、キャビネット)は外したり、改造しない

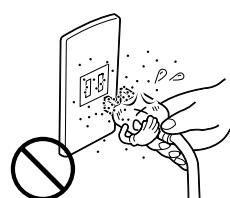
■ 内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店に依頼してください。

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む

■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。また、たこ足配線はしないでください。

電源コードを傷つけない

■ 電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。

電源プラグの電極、およびコンセントにほこりや金属を付着したまま使用しない

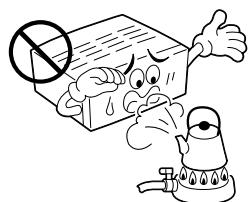
■ ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。半年に一度はプラグを抜いて乾いた布で拭いてください。

この機器の電源コンセント(ACアウトレット)に、(ヒーター、ドライヤーや電磁調理器)などの消費電力の大きい機器をつながない
[電源コンセント(ACアウトレット)付機種]

■ 接続する機器の消費電力が、本体の電源コンセントに表示されている電力を超えないようにしてください。火災の原因となります。

安全上のご注意（つづき）

⚠注意

次のような所には置かない

■ 火災や感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気の当たるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

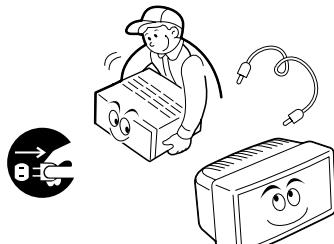
■ 指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

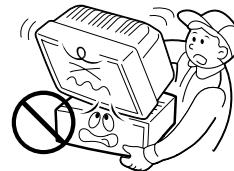
通風孔をふさがない

■ 通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。
次のことに注意してください。
- 押し入れ、本箱など狭いところに入れない。
- じゅうたんや布団などの上に置かない。
- テーブルクロスなどを掛けない。
- 横倒し、逆さま(あおむけ)にしない。

■ 通風孔を塞いだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

■ 接続したまま移動すると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。
■ カセットテープも取り出しておいてください。

この機器の上に他の機器を載せたまま移動しない

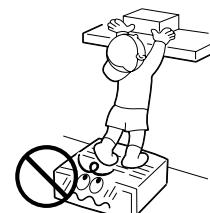
■ 倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

カセットの出し入れ口に手を入れない

■ 手をはさまれて、けがの原因となることがあります。
特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

この機器の上に重い物を置かない

■ テレビなどの重いものや本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

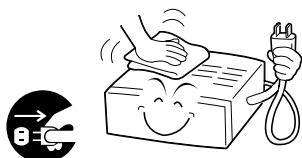
この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

■ 倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

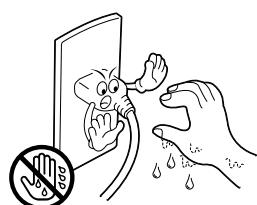
⚠注意

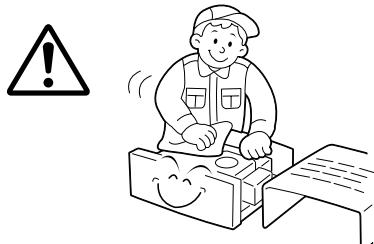
お手入れをするときは、電源プラグを抜く

■ 電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

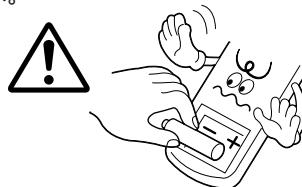
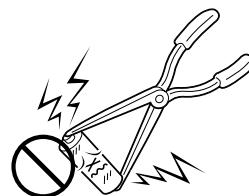
■ 電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

■ 感電の原因となることがあります。

1年に一度は内部の点検を販売店に依頼する

■ 内部にホコリがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。
■ 特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。

電池の安全上のご注意

取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災、けがや周囲を汚す原因となりますので、次のことをお守りください。

- 電池はプラス(＋)とマイナス(−)の表示通り入れる。
- 指定以外の電池を使用しない。
- 種類の異なる電池や新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使わない。

- 電池(電池ケース)のプラス(＋)、マイナス(−)をショートさせない
- 加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく

■ もし、液がもれた場合は、電池ケースについた液をよくふき取ってください。万一、もれた液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用上のご注意

きれいな画面でご覧いただくために

長い間ご使用になるうちにビデオヘッドが汚れて、再生しても映像や音声が出なくなることがあります。
このようなときは、別売のクリーニングテープでビデオヘッドをクリーニングしてください。

■ ビデオヘッドが汚れるとこんな症状になります

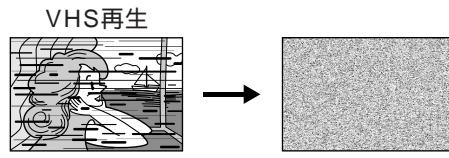
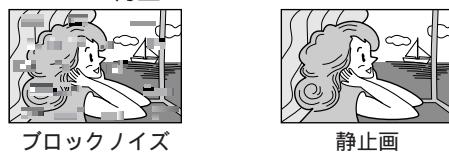
- 映像が不鮮明または映らない、音声が出ない。
- 映像がモザイク画(ブロック状のノイズ)になる。
- 映像に黒色やモザイク画の横しまが出る。
- 映像が止まる。(静止画になる)
- 黒や青い画面になる。
- ザラザラした画面になる。(ＶＨＳ再生)

VHS再生

初期　　末期

D-VHS再生

ブロックノイズ

静止画

黒い画面

■ D-VHS専用のクリーニングテープ(ビクターD-VHSビデオヘッドクリーナー TCL-DVS)を使ってビデオヘッドをクリーニングしてください

- 誤動作を防ぐために､ビデオナビゲーション機能を｢切｣にしてください。 (☞75ページ参照)
- お使いになるときは、クリーニングテープの説明書をお読みください。

本機には、D-VHS専用のクリーニングテープ以外は使用しないでください。

■ ビデオヘッドが汚れる原因は

- 高温、多湿なところで使う
- ほこりの多いところで使う
- 長時間使う
- 傷や汚れのあるテープを使う
- カビの生えたテープを使う
- 何度も使ったテープを使う

……などです。

● 高温･多湿(梅雨時期など)

● 空気中のほこり

● 長時間の使用など

● テープの傷､汚れなど

■ クリーニングテープを使っても鮮明な映像にならないときは

- ヘッドが磨耗している場合があります。お買い上げの販売店または、ビクターサービス窓口にご相談ください。
- ＶＨＳ再生では､トラッキングがずれているときでもザラザラした画面になることがあります。こんなときは､トラッキングを手動で調節してください。

■ 定期点検を行ってください

- 長い間ご使用になるうちに、機械部分が汚れたり磨耗したりします。
  性能を維持し、いつも美しい画面をご覧いただくために、およそ１０００時間の使用をめどに点検整備をされることをおすすめいたします。

大切な録画の前に

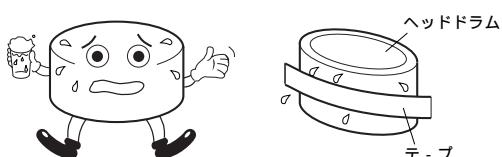
■ テレビ放送や録画物などから録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
■ 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
■ 万一、本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

大切な記録を消さないために

■ 大切な録画済みテープは、誤消去を防ぐため、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。
■ ふたたび録画するときは、セロハンテープを二重に貼ってください。

つゆつきにご注意

■ **つゆつきとは**
よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を「つゆつき」(または結露)といいます。
■ **つゆつきが発生すると**
ビデオ内部のヘッドドラムに水滴が付き、それにテープが貼り付いて、テープやビデオを傷めてしまいます。
■ **次のようなときにつゆつきになりやすい**ので、ご注意ください。
- ビデオを、寒いところから暖かい部屋に移動したとき
- 急に部屋を暖房したとき
- エアコンなどの冷風が直接当たるところ
- 湿気の多いところ

■ **つゆつきになりそうなときは、**あらかじめビデオの電源を入れておくと、内部の熱で発生しにくくなります。
■ 再生ができないなどの症状が出たら、つゆつきの可能性があります。ビデオの電源を入れて数時間待ってからご使用ください。

長期間ご使用にならないときは

長期間使用しないと機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、動作させてください。

キャビネットのお手入れは

■ キャビネットや操作パネルの汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、かわいた布で仕上げてください。ご使用の際は、その注意書にしたがってください。
■ シンナー、ベンジンなどは使用しないでください。傷んだり、塗料がはがれたりすることがあります。
■ 殺虫剤などの揮発性のものをかけないでください。

アンテナは

■ 妨害電波をさけるために、電線や道路などからなるべく離してください。
■ 風雨にさらされているので、定期的に点検・交換することをおすすめします。
■ アンテナ線には、良好な映像を得るために、同軸ケーブルを使用することをおすすめします。
■ アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

ビデオカセットテープは

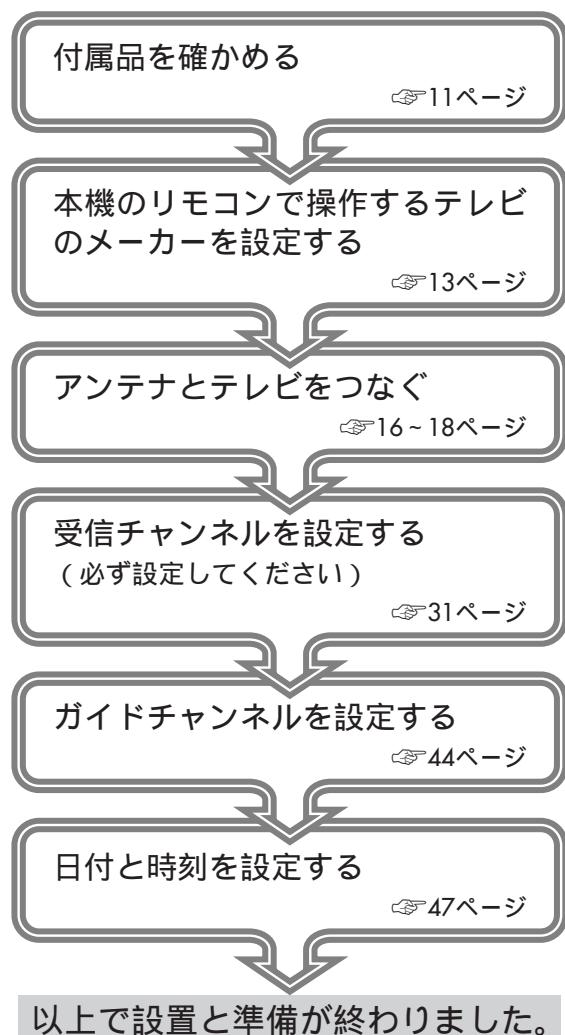
■ ビデオカセットはD VHS、S VHS、VHSタイプをお使いください。(☞48ページ)
■ 録画済みテープに新しく録画するときは、前に録画されたものは消されます。
■ ビデオカセットテープは、裏返しでは使えません。
■ ビデオカセットテープのふたを開けたり、分解したり、テープに直接触れることはしないでください。
■ テープを走行させないで、何度も出し入れしないでください。テープに傷を付けることがあります。
■ 使用後は、テープを始めまで巻き戻しておいてください。

ビデオカセットテープの保管は

■ 次のような所はさけて保管してください。
- 湿気やほこりの多いところ、カビの発生しやすいところ
- 直射日光が当たるところやストーブの近く
- 磁気の発生するところ

■ 落としたり衝撃を与えないでください。
■ テープの巻き取りにむらがあるとテープを傷めます。きれいに巻き直してください。
■ ケースに入れて、立てて保管してください。

設置と準備の進めかた

自分で本機の接続を行うときは、次の順序に従ってください。

- 他メーカー製のテレビを使いたいときや、2 台以上のビクター製のビデオデッキを使いたいときに、設定が必要になります。

- BS放送を受信するには、BSアンテナ（別売）が必要になります。

- 通常は「一括チャンネル合わせ」を行えば、それでチャンネル設定は終了です。
- 必要ならば、「受信チャンネル合わせ」を個々のチャンネルに対して行います。(☞38ページ)

- 「一括チャンネル合わせ」だけでチャンネル設定を行ったときは、必要ありません。

この取扱説明書の見かた

■「リモコン」または「本体」のどちらのボタンで操作できるかイラストでお知らせしています。
リモコンまたは本体のどちらのボタンでも操作できるときは、リモコンのボタンを使って説明していますが、本体にある同じマークや名前のボタンでも、同様の操作ができます。

 リモコンで操作できます。

 本体で操作できます。

■「D-VHS記録」または「S-VHS/VHS記録」のどちらのテープで操作できるかイラストでお知らせしています。

D-VHS 記録したテープで操作できます。

S-VHS/VHS 記録したテープで操作できます。

■本文中の記号の見方

操作上の注意などが書かれています。

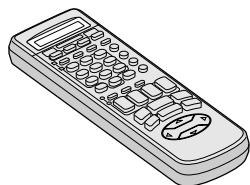
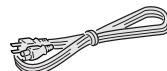
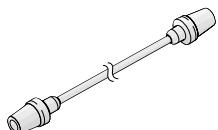
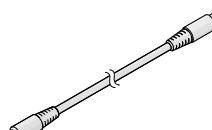
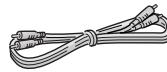
機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。

 知っているとちょっと便利な内容が書かれています。

 キーポイントやテクニックをまとめて説明しています。

☞ 参照ページや参照項目を示しています。

付属品を確かめる

箱を開け、次の付属品がそろっているかを確かめてください。

乾電池の入れかた

リモコンに乾電池を入れるときには、⊕と⊖の向きを表示通り正しく入れてください。

乾電池交換の目安は

リモコンの操作できる距離が短くなってきたら、電池が消耗しています。このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

乾電池についてのご注意

- 付属の乾電池は動作確認用です。
- 長時間ご使用にならないときは、リモコンから乾電池を取り出しておいてください。
- リモコン使用中に不具合が生じたときは、一度乾電池を抜き、しばらくしてから再度乾電池を入れ、操作してください。

乾電池を交換するときは

- 単 3 乾電池をご使用ください。
- 2 本とも新しいものと交換してください(使用済みのものを混ぜないでください)。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを表示通り正しく入れてください。
- 乾電池に表示されている注意事項も合わせてお読みください。
- 交換後、テレビの操作ができないときは、リモコンの設定をやり直してください(☞12 ページ)。

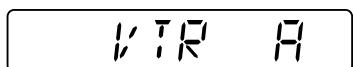
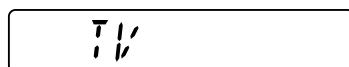
リモコンの液晶表示について

本機のリモコンはビデオ／テレビ／デジタル CS チューナーの操作ができ、液晶表示窓に操作できる機器(VTR/TV/CS)が表示されます。お買い上げ時と、乾電池を交換したときには VTR A(A コード)になります。

- ビデオの操作ができるとき
  (A コードのとき)

  VTR A

- テレビの操作ができるとき

  TV

- デジタル CS チューナーの操作ができるとき

  CS

- 操作を切り換えたいとき

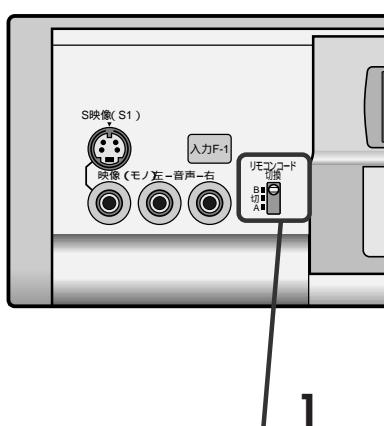
操作したい機器のボタンを押します。液晶表示窓の表示も変わります。

MEMO

- 表示部に TV が表示されていても、次の操作は切り換えずに行うことができます。
  - ・**ビデオの基本操作**
    操作後 TV 表示に戻ります。
  - ・**タイマー予約**や **G コード予約**の操作
    テレビを操作するときには、TV に切り換えてから操作します。
  - ・**メニュー**を呼び出す操作
    テレビを操作するときには、TV に切り換えてから操作します。

2 台のビクタービデオを操作する

リモコンコードを変更する

お買い上げ時には、本機のリモコンは「Aコード」に設定されています。
2台のビクタービデオをお使いになるときは、それぞれのリモコンコードを別のコード（A、B）にしてください。ビデオ操作するときに、2台が同時に同じ動きをすることはありません。

準備

● リモコンはビデオデッキに向けて操作します。

例 B コードに設定する

1

本機の電源プラグを差し込み

リモコンコード切換スイッチを「B」にする

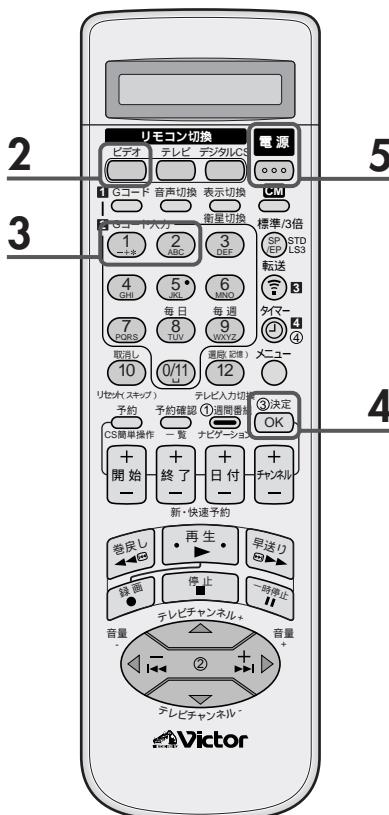
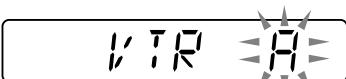
● リモコンコード切換スイッチについて

A	本体は A コードになります。
切	リモコン操作できません。
B	本体は B コードになります。

（本機）

2

（2秒以上押し続ける）

VTR A

3

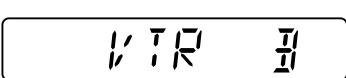
リモコンコードを変更する

または

VTR B

●「B コード」に変更するときは、2 ボタンを押す。
●「A コード」に変更するときは、1 ボタンを押す。

4

変更を確定する

VTR B

5

テストする

● 本機のリモコンの電源ボタンを押して、ビデオデッキの電源が入るかどうか確認してください。
もし、入らないときは、もう 1 度手順**1**から**5**の操作をやり直してください。

電 源

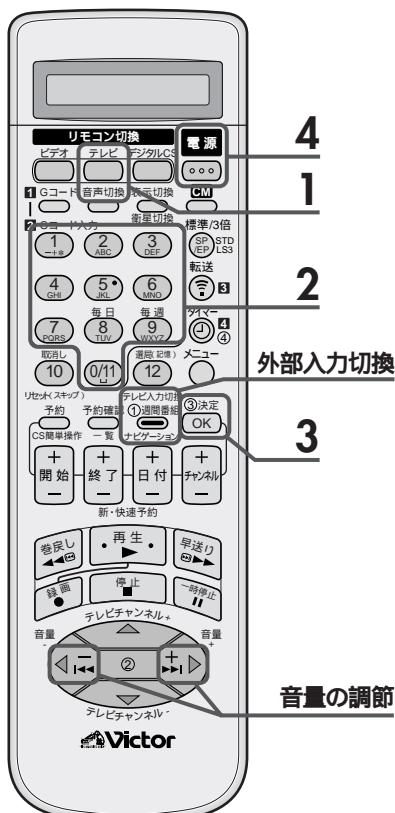
（液晶表示窓には、VTR Bが表示されています）

お願い

• リモコンの電池をはずすと、お買い上げ時の設定に戻ります。（VTR Aに戻ります。）
電池を交換したときなどは、もう1度設定し直してください。

リモコンでビクター以外のテレビを操作する

他のメーカーのテレビを操作できるようにする

**本機のリモコンで、国内メーカー12社のテレビを操作できます。お買い上げ時には、ビクター製テレビの操作（電源の入/切、チャンネルの切換、外部入力の切換、音量の調節）ができるようになっています。
他社のテレビを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。**

準備
- テレビの電源を切っておきます。

1

（2秒以上押し続ける）

TV=01

2 メーカー番号（2 桁）を入力する

例：お手持ちのテレビが東芝製のときは、数字ボタンを **0** ／ **11** と **7** の順に押します。

メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号	メーカー名	メーカー番号
ビクター	01	日立	06	パイオニア	11
松下	02、03	東芝	07	NEC	12
三菱	04	三洋	08、09	フナイ	13
ソニー	05	シャープ	10	アイワ	14

3 入力を確定する

TV

4 テストする

- 本機のリモコンの電源ボタンを押して、テレビの電源が入れば、設定は完了です。
  テレビの電源が入らないときは、もう 1 度同じ操作をしてみてください。
- 松下製や三洋製のテレビをお使いのときは、もうひとつのメーカー番号を入力してみてください。

ご注意

- テレビによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

お願い

- リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう 1 度設定し直してください。

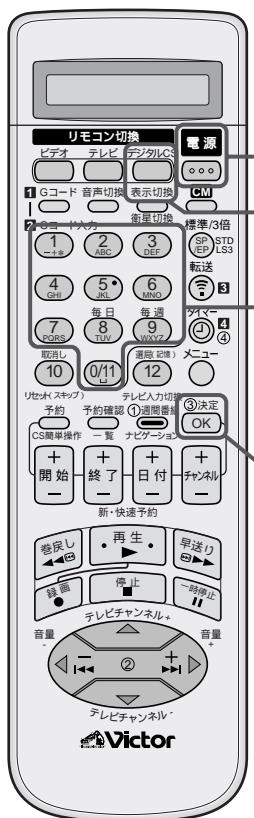
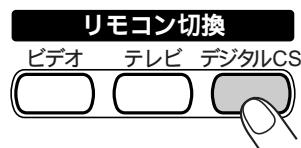
デジタル CS チューナーを操作する

他のメーカーのデジタル CS チューナーを操作できるようにする

本機のリモコンで、ビクター製とソニー製のデジタルCSチューナーを操作できます。お買い上げ時には、ビクター製i.LINK端子付きデジタルCSチューナーの操作ができるようになっています。
ソニー製のデジタルCSチューナーを操作できるようにするには、次の設定を行ってください。

準備
● デジタル CS チューナーの電源を切っておきます。

1

（2秒以上押し続ける）

2

メーカー番号（2 桁）を入力する

ビクター：01、ソニー：02 です。

例：お手持ちのデジタルCSチューナーがソニー製のときは、数字ボタンを **0／11** と **2** の順に押します。

3

入力を確定する

CS

4

テストする

電 源

● 本機のリモコンの電源ボタンを押して、デジタル CS チューナーの電源が入れば、設定は完了です。
デジタル CS チューナーの電源が入らないときは、もう 1 度同じ操作をしてみてください。

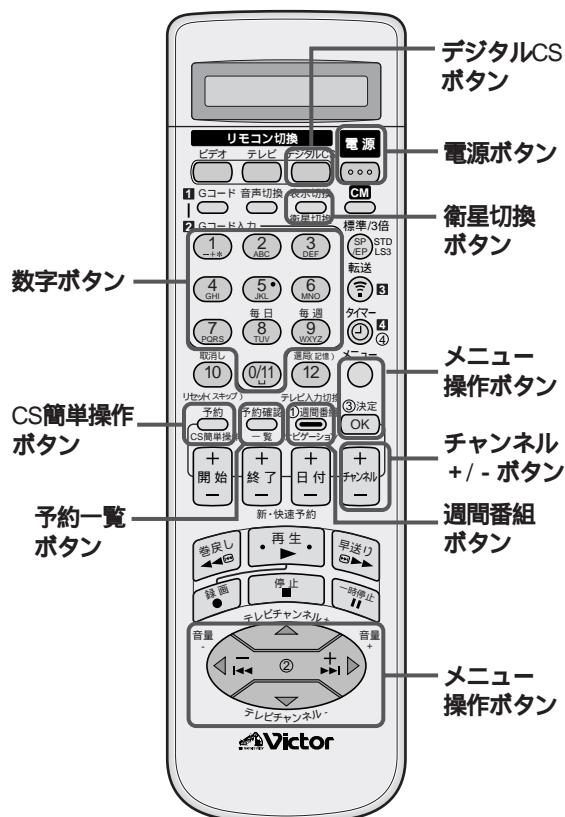
• デジタル CS チューナーによっては操作できないものや、特定のボタンだけ操作できないものがあります。

お願い

• リモコンの電池をはずすと、設定が消えてしまいます。電池を交換したときなどは、もう 1 度設定し直してください。

リモコンでデジタル CS チューナーを操作する

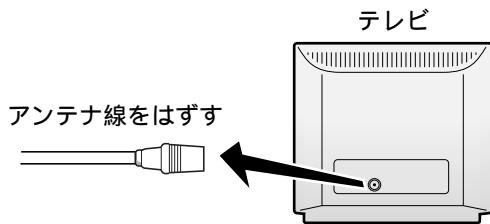
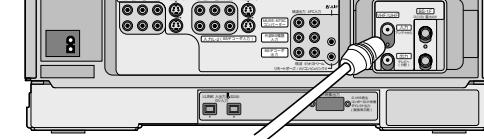
デジタルCSチューナーを操作するときは、デジタルCSボタンを押します。

設置と準備

ボタン	働き
電源ボタン	デジタルCSチューナーの電源を入／切します。
衛星切換ボタン	押すたびに衛星B（スカイサービス）と衛星A（パーフェクTV!サービス）が切り換わります。
数字ボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
チャンネル+/−ボタン	チャンネルを選ぶときに使います。
デジタル CS ボタン	リモコンでCSチューナーを操作したいときに選びます。
CS 簡単操作ボタン	簡単操作パネルを表示します。
週間番組ボタン	EPG（週間番組表）を表示します。
予約一覧ボタン	予約した番組の一覧を表示します。
メニュー操作ボタン	メニューを表示します。 画面上の項目を選び、決定します。

- お使いのデジタル CS チューナーの取扱説明書もご覧ください。

本機にアンテナとテレビをつなぐ

1 アンテナ線をテレビからはずす（使用中のテレビがある場合）

● アンテナ線の形を確認してください。

2 アンテナ線を本機につなぐ

アンテナ線の種類によって接続のしかたが異なります。

●75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）

VHF/UHF
入力 アンテナから
出力 テレビへ（分配）

●75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

アンテナ変換器の取り付けかたは、16ページをご覧ください。

アンテナ変換器（別売：VZ-72A）

●フィーダー線

と

●75Ω同軸ケーブル（プラグ付き）

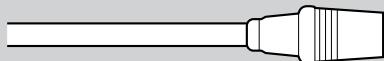
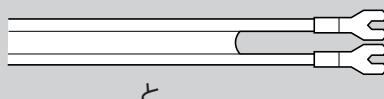
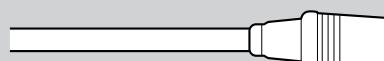
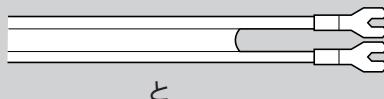
ねじをゆるめて、フィーダー線を取り付けます

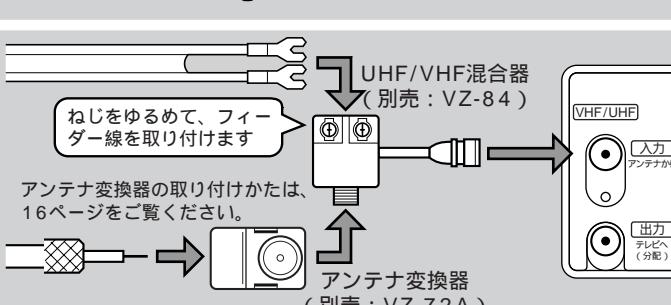
UHF/VHF混合器（別売：VZ-84）

●フィーダー線

と

●75Ω同軸ケーブル（プラグなし）

UHF/VHF混合器（別売：VZ-84）

ねじをゆるめて、フィーダー線を取り付けます

アンテナ変換器の取り付けかたは、16ページをご覧ください。

アンテナ変換器（別売：VZ-72A）

電源プラグはすべての接続が終了してから、壁のコンセントに差し込みます。

ご注意

• アンテナ変換器の形状が大きいものは、本機背面のアンテナ入 / 出力端子に差し込めないことがあります。このようなときは、小型のアンテナ変換器（当社製品の VZ-72A など）に交換することをおすすめします。

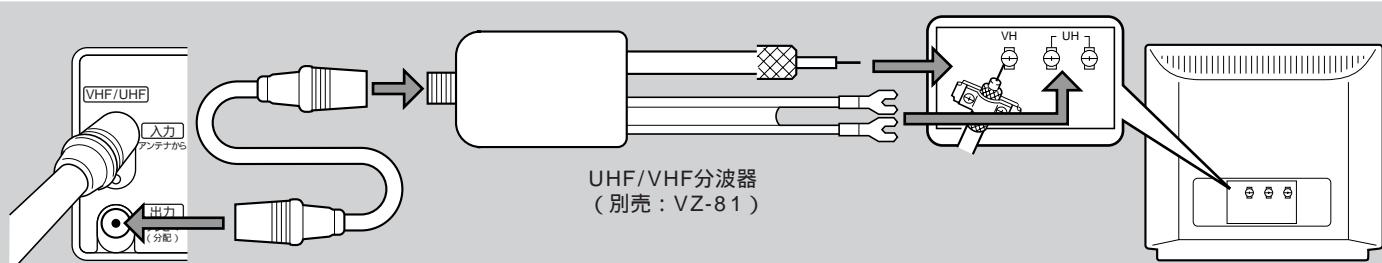
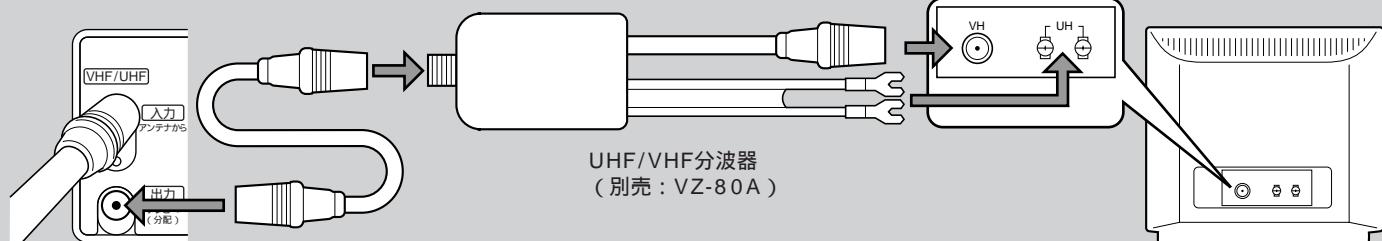
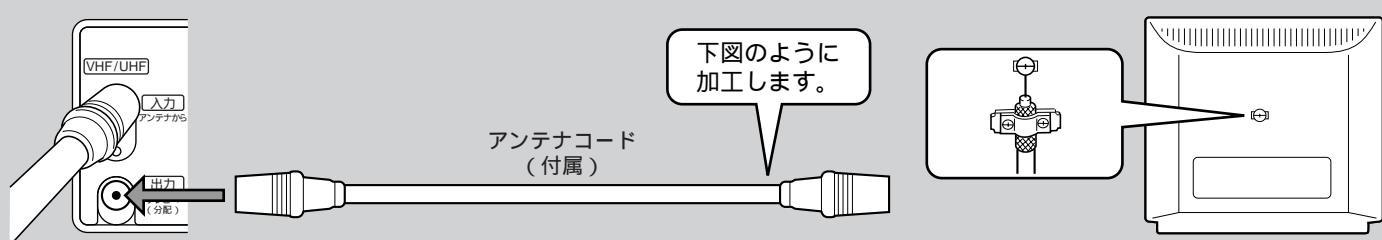
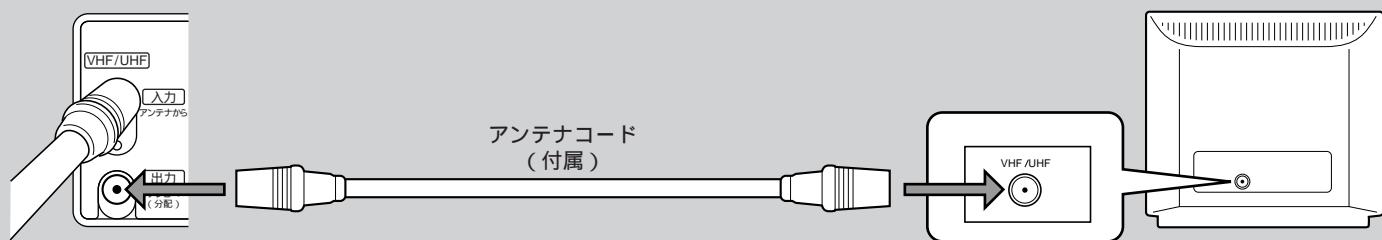
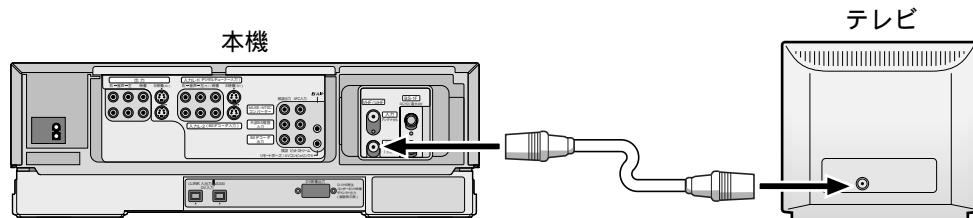
3 本機とテレビをつなぐ

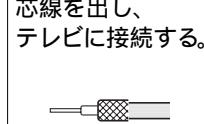
次のページも続けてご覧ください。

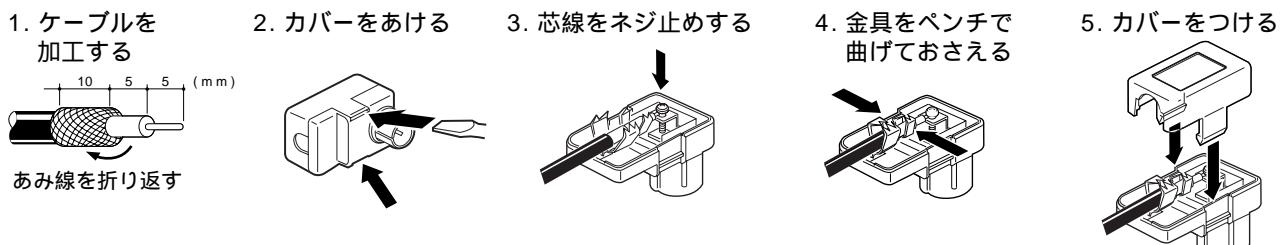
VHF/UHF
入力 アンテナから
出力（分配）
アンテナコード（付属）
VHF/UHF

VHF/UHF
入力 アンテナから
出力（分配）
下図のように加工します。
アンテナコード（付属）

VHF/UHF
入力 アンテナから
出力（分配）
VH UH
UHF/VHF分波器（別売：VZ-80A）

VHF/UHF
入力 アンテナから
出力（分配）
VH UH
UHF/VHF分波器（別売：VZ-81）

本機に付属のアンテナコードを加工するときは

切断する。	すじを入れ、切り取る。	あみ線を折り返す。	芯線を傷つけないように。	芯線を出し、テレビに接続する。

本機にアンテナとテレビをつなぐ（つづき）

■ アンテナ変換器の使いかた

ビデオを見るために、本機とテレビの映像／音声端子どうしを接続する

テレビにＳ映像入力端子があるときは、本機のＳ映像出力端子とつないでください。
テレビにＤ（Ｄ1/Ｄ2/Ｄ3）端子入力があるときは、本機のＤ1映像出力端子とつないでください。

ビデオやBS放送を見るときは、テレビで本機をつないでいる「外部入力」を選びます。
●「外部入力」の選びかたは、お持ちのテレビの取扱説明書をご覧ください。

音声出力端子へ
（赤）
（白）
音声コード
音声入力端子へ
（赤）
（白）

出力
右－音声－左　映像　S映像(S1)

S映像出力端子へ
S映像コード
S映像入力端子へ

テレビにS映像入力端子がない場合は、別売の映像コードを使って、本機の映像出力とテレビの映像入力端子を接続してください。

コンポーネントビデオコードは、下記の当社製品をご使用ください。
VX-DS110（1m）
VX-DS120（2m）

D1映像出力

D1映像出力端子へ
コンポーネントビデオコード（D-D）（別売）
D端子入力へ

テレビにD（D1/D2/D3）端子入力がある場合は、接続してください。

または

D1映像出力端子へ
コンポーネントビデオコード（D-ピンプラグ×3）（市販）
コンポーネント映像入力端子へ
Y（緑）
CB（青）
CR（赤）

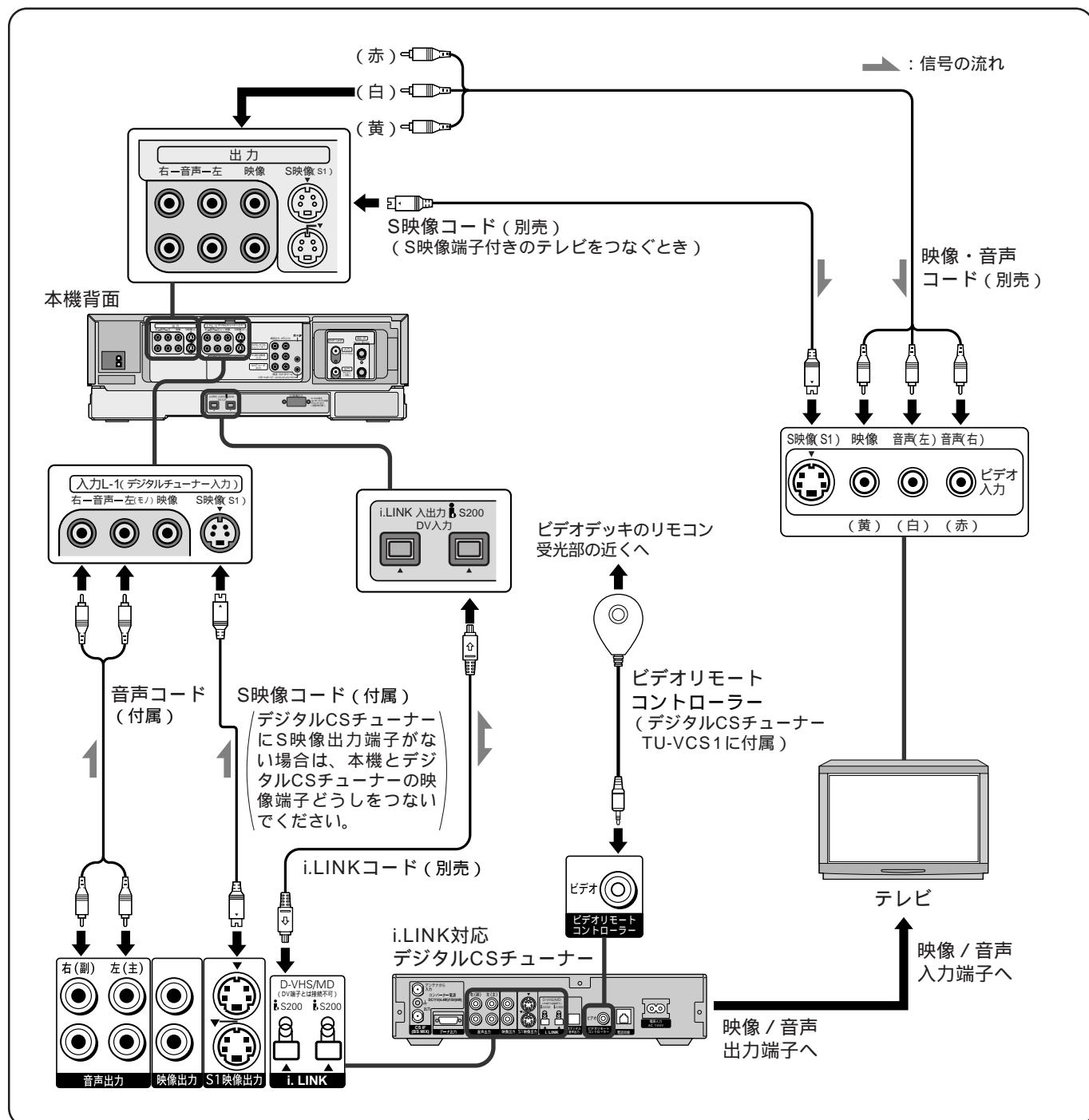
テレビにD（D1/D2/D3）端子入力がなく、コンポーネント映像入力（Y/CB/CR）端子がある場合は、接続してください。

：信号の流れ

MEMO

D端子入力付きテレビをお持ちのかたへ
● S映像コード（または映像コード）および音声コードもつないでください。
● テレビのD入力では、オンスクリーン表示を見ることはできません。見るためには、S映像コード（または映像コード）をつないでください。
● 通常は、テレビを「ビデオ入力」にしてお使いください。D-VHS記録した映画などを高画質で見たいときのみ、テレビを「D入力」にしてください。
● 当社製テレビで、ビデオ1入力端子がY/CB/CR端子とS映像端子を兼用しているときは、市販のコンポーネントビデオコード（D-ピンプラグ×3）とS映像コードの両方の接続をおすすめします。

i.LINK 対応デジタル CS チューナーとの接続

本機と i.LINK 対応デジタル CS チューナーを接続する

i.LINK コード（IEEE1394 ケーブル）は、
下記の当社製品をご使用ください。

HC-E110（1m）

HC-E120（2m）

- 画像の乱れが出たときは、本機とデジタル CS チューナーをなるべく離して設置してください。

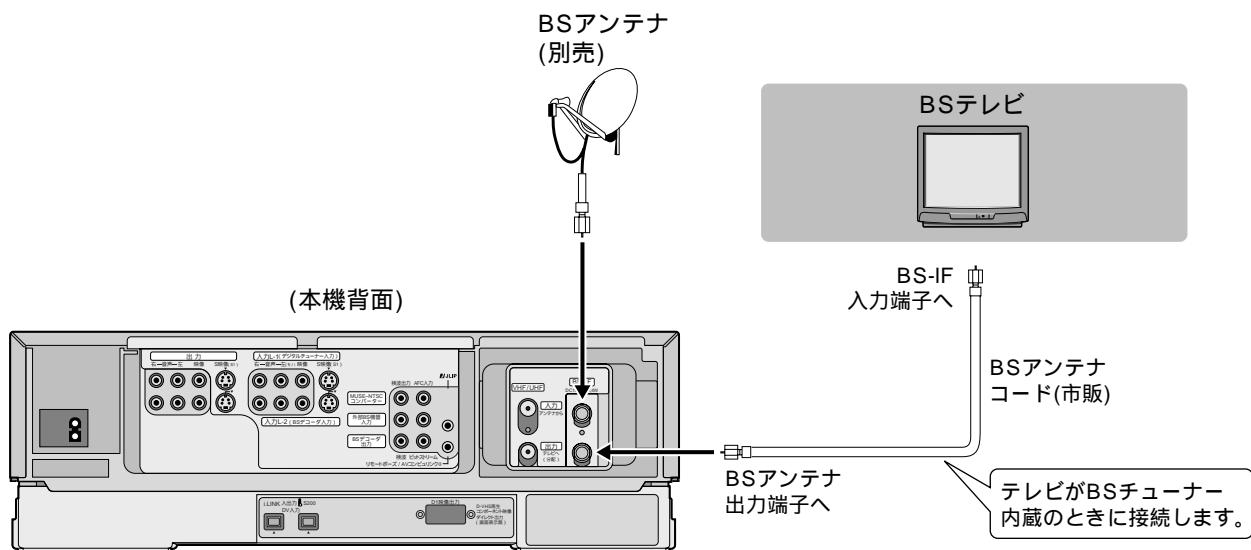
- 本機で地上波番組を録画しながら、テレビでデジタルCS放送を見たいときは、デジタルCSチューナーの映像／音声出力端子と、テレビの映像／音声入力端子を接続してください。
- デジタルCS放送をS-VHS/VHS記録で録画予約したいときは、ビデオリモートコントローラーを使った録画予約をしてください。操作については、デジタル CS チューナー TU-VCS1 の取扱説明書28ページ「ビデオリモートコントローラーを使って録画予約する」をご覧ください。

BS アンテナをつなぐ

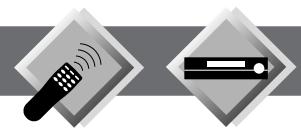
BS（衛星）放送について

BS(衛星)放送を受信するには、専用のBSアンテナ(別売)が必要になります。

日本の南西、赤道上空約36、000kmにある放送衛星を経由してテレビ電波を受信するシステムです。平成11年10月現在でBS5、7、9、11チャンネルが放送されています。
BS5チャンネルはJSB（日本衛星放送株式会社）がWOWOWを、SDAB（衛星デジタル音楽放送株式会社）がSt.GIGAを有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用のBSデコーダーが必要になります。（24ページ参照）
BS9チャンネルは、ハイビジョン放送をしています。本機でハイビジョン放送をお楽しみいただくには、MUSE-NTSCコンバーターが必要になります。（28ページ参照）

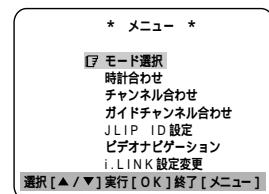
アンテナコネクターのつなぎかた

- BSとVHF/UHFの電波が混合されているときは、分波器が必要になります。
- BSアンテナの設置については、BSアンテナの取扱説明書も合わせてご覧ください。

接続が終わったら、以下の設定をしてください。（21、22ページ参照）
1. メニューで「BSアンテナ電源」を設定する
2. 放送されているBSチャンネルを選ぶ
3. BSアンテナの向きを調節する

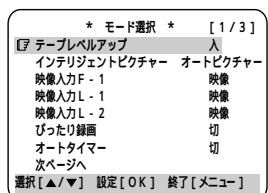
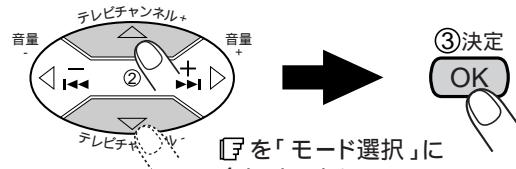
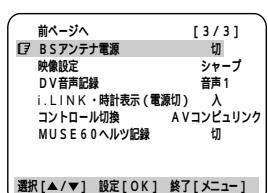
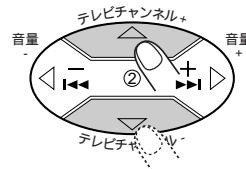
BS アンテナに電源を供給する

BSアンテナの接続後に、以下の設定が必要になります。
BSアンテナの電源を本機から供給するかどうかを設定します。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
i.LINK設定変更
選択［▲／▼］ 実行［OK］ 終了［メニュー］

2 「モード選択」メニューを表示させる

を「モード選択」に合わせてから、

3 を「BSアンテナ電源」に合わせる

4 「OK」ボタンで設定を変える

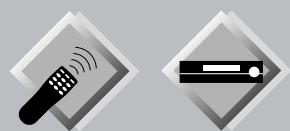
- 押すたびに、設定の「入／切」が切り換わります。

切	BS 放送を共同受信しているとき（マンションなど）。本機からは BS アンテナに電源を供給しません。
入	BS 放送を個別で受信しているとき。本機から BS アンテナに電源を供給します。

5 設定を終了する

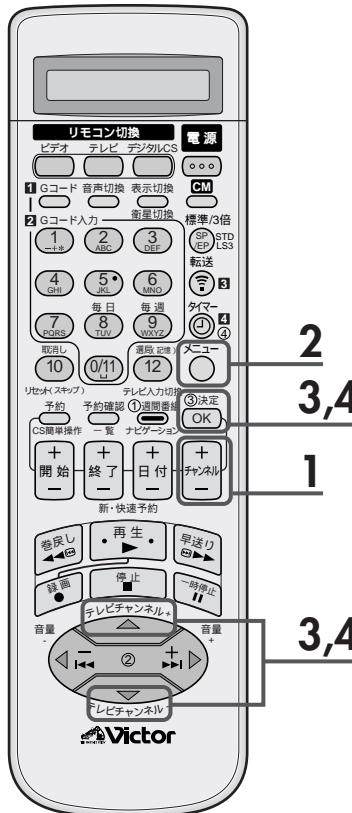
メニュー画面が消えます。

分波器などをお使いのとき

- 本機の他にも BS 機器を使っていて、分波器などをお使いのときは、本機にBSアンテナを接続して、メニューの「BS アンテナ電源」を「入」に、他機の設定は「切」にしてお使いください。

BS アンテナの向きを調節する

BS入力レベルの表示を見ながら、BSアンテナが正しく衛星の方向をむくように調節してください。BSアンテナの取扱説明書もご覧ください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 放送のあるBSチャンネルを選ぶ

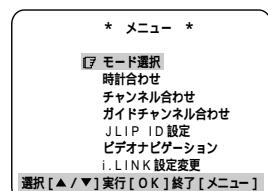
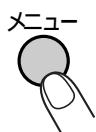
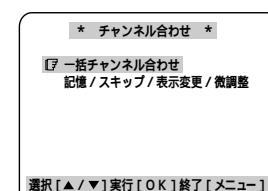
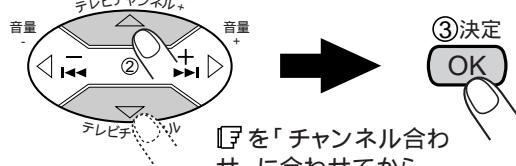
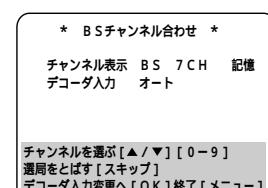
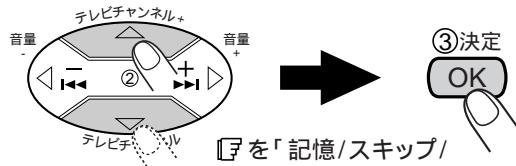
- 本体のチャンネル＋ /ーボタンでも操作できます。

2 「メニュー」画面を表示させる

3 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

4 「BS チャンネル合わせ」画面を表示させる

☞を「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせてから、

BS 放送が受信しにくい天候

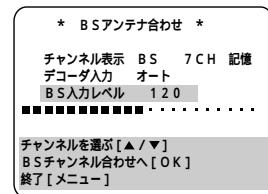
- 雷雨や豪雨のような強い雨が降ったり、雪がアンテナに付着したりすると、電波が弱くなり一時的に画面や音声に雑音が入ったり、ひどい場合には、まったく受信できなくなることがあります。これは気象条件によるものでBSアンテナや本機の故障ではありません。

5 BS入力レベルを表示する

（2回押す）

＊ BSアンテナ合わせ ＊

チャンネル表示　BS　7CH　記憶
デコーダ入力　オート
BS入力レベル　120
■■■■■■■■■■■■・・・・・・・・・・・

チャンネルを選ぶ［▲／▼］
BSチャンネル合わせへ［OK］
終了［メニュー］

- BS 番組をうまく受信していないと、ノイズ画面になります。
- OK ボタンを 1 回押すと、手順 4 の画面に戻ります。そのときは、もう 1 度 OK ボタンを 2 回押します。

6 テレビ画面で確認しながら、B S アンテナの向きを調節する

- BS 入力レベルの数値が最大になるように調節します。

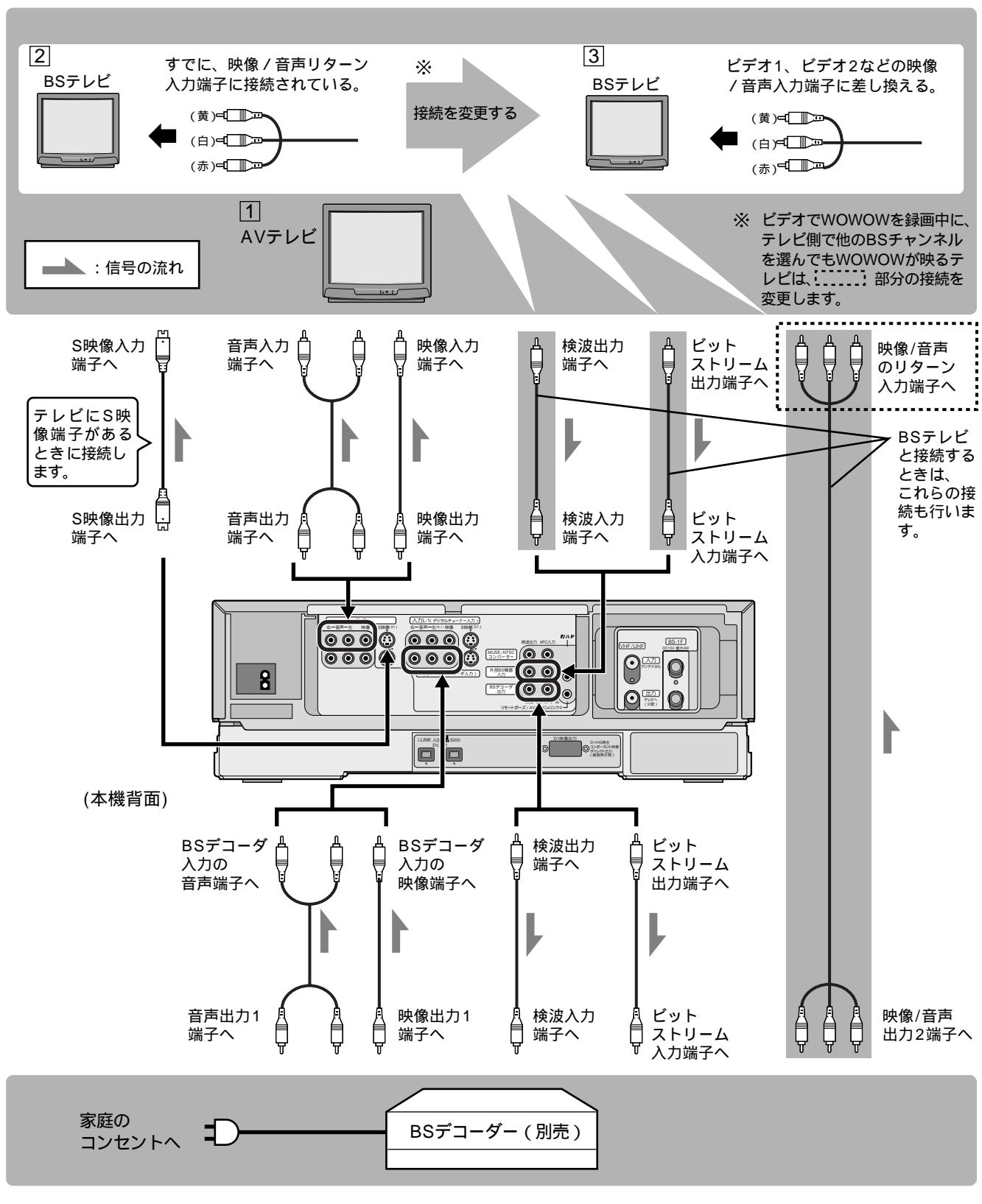
7 調節を終了する

8 メニュー操作を終了する

BS 入力レベルの表示について

- BS入力レベルの表示は、信号と雑音の比を目安として表したもので、電波の強さを示しているわけではありません。映像がきれいに映っていれば、レベルの大小は関係ありません。

BS デコーダーを接続する

図のように、BS デコーダーを接続してください。

AV テレビの場合：(左図の 1 の場合)

WOWOW の番組を見るときは

1 BS デコーダーの電源を入れる
2 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
3 テレビで「外部入力」を選ぶ

St.GIGA を聞くときは

1 本機とテレビ、BS デコーダーの電源を入れる
2 BS デコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ（☞57ページ参照）
4 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
5 テレビで「外部入力」を選ぶ
テレビ画面には WOWOW の映像が映りますが、音声は St.GIGA の音声になります。

WOWOW の番組を録画するときは

1 BS デコーダーの電源を入れる
2 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中の WOWOW の番組を見ることができます。

St.GIGA を録音するときは

1 本機と BS デコーダーの電源を入れる
2 BS デコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ（☞57ページ参照）
4 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録音中の St.GIGA の音声を聞くことができます。
● テレビ画面には WOWOW の映像が映ります。

BS テレビの場合：(左図の 2 の場合)

WOWOW の番組を見るときは

1 テレビと BS デコーダーの電源を入れる
2 テレビで BS5 チャンネルを選ぶ

St.GIGA を聞くときは

1 本機とテレビ、BS デコーダーの電源を入れる
2 BS デコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS独立音声」で「入」を選ぶ（☞57ページ参照）
4 テレビで BS5 チャンネルを選ぶ

WOWOW の番組を録画するときは

1 BS デコーダーの電源を入れる
2 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、BS5 チャンネルを選ぶと、録画中の WOWOW の番組を見ることができます。

St.GIGA を録音するときは

1 本機と BS デコーダーの電源を入れる
2 BS デコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS 独立音声」で「入」を選ぶ（☞57 ページ参照）
4 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める

WOWOW や St.GIGA を録画・録音中に、別の BS 放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BS デコーダーの電源を入れる
2 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他の BS チャンネルを選ぶ

BS テレビの場合：(左図の 3 の場合)

WOWOW の番組を見るときは

1 テレビと BS デコーダーの電源を入れる
2 テレビで BS5 チャンネルを選ぶ
3 テレビで左図の 3 で接続した「外部入力」を選ぶ

St.GIGA を聞くときは

1 本機とテレビ、BS デコーダーの電源を入れる
2 BS デコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS 独立音声」で「入」を選ぶ（57 ページ参照）
4 テレビで BS5 チャンネルを選ぶ
5 テレビで左図の 3 で接続した「外部入力」を選ぶ

WOWOW の番組を録画するときは

1 本機と BS デコーダーの電源を入れる
2 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
3 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、左図の3で接続した「外部入力」を選ぶと、録画中のWOWOWの番組を見ることができます。

St.GIGA を録音するときは

1 本機と BS デコーダーの電源を入れる
2 BS デコーダーで独立音声を選ぶ
3 本機のメニューの「BS 独立音声」で「入」を選ぶ（☞57 ページ参照）
4 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
5 本機で録画を始める
テレビの電源を入れて、左図の3で接続した「外部入力」を選ぶと、録音中の St.GIGA の放送を聞くことができます。

WOWOW や St.GIGA を録画・録音中に、別の BS 放送の番組を見るときは

1 本機とテレビ、BS デコーダーの電源を入れる
2 本機で BS5 チャンネルを選ぶ
● St.GIGAを録音するときは、BSデコーダーと本機の両方で、独立音声を選びます。
3 本機で録画を始める
4 テレビで他の BS チャンネルを選ぶ

BS デコーダーの設定をする

BSデコーダーに関する本機の設定はお買い上げ時には次のようになっています。

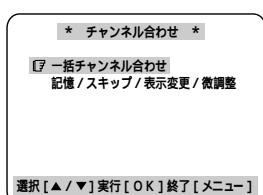
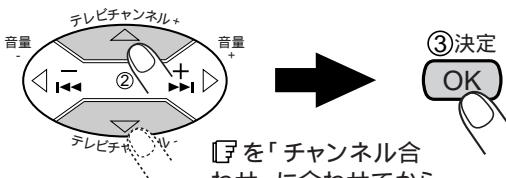
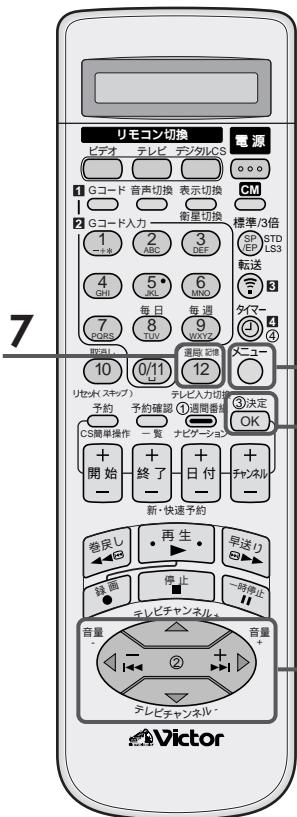
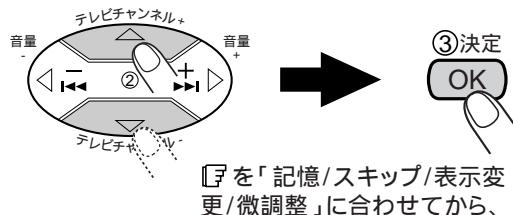
- スクランブルのかかった有料の BS 放送（WOWOW、St.GIGA）を見るときには、BS デコーダーの電源を入れてください。スクランブルのかかっていない放送はBSデコーダーを通さずに見ることができるので、有料放送でない番組を見るときは、BSデコーダーの電源は入れる必要はありません。

WOWOW や St.GIGA は、スクランブルをかけていない無料の番組も放送しています。BS5 チャンネルの「デコーダ入力」の設定を「オート」（お買い上げ時の設定）にしておくと、このような無料放送の番組と有料放送の番組の変わり目で、音や映像が途切れることがあります。
そのときは、「デコーダ入力」の設定を「入」にしてください。
WOWOW や St.GIGA の放送を見たり、聞いたりするときは、必ず BS デコーダーの電源を入れてください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 BSチャンネルを選ぶ

2 「メニュー」画面を表示させる

3 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

4 「BS チャンネル合わせ」画面を表示させる

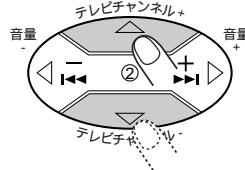
☞を「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせてから、

5 「デコーダ入力変更」画面を表示させる

6 デコーダ入力を「入」にする

7 変更を記憶させる

8 メニュー操作を終了する

設置と準備

MUSE-NTSC コンバーターを接続する

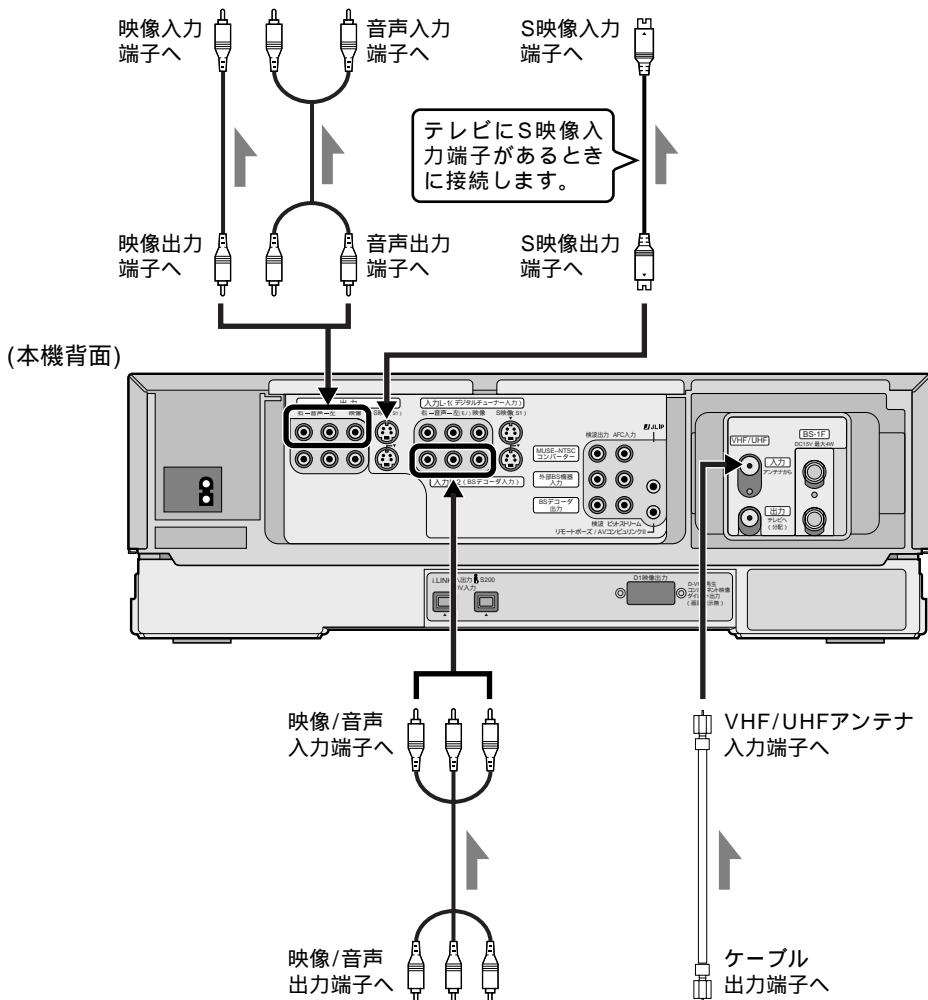
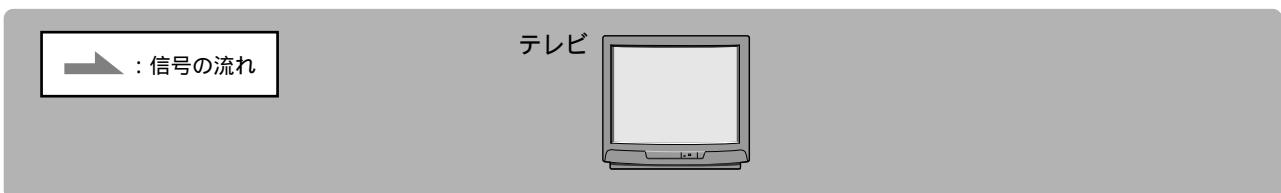
ハイビジョン放送の番組を見るときは

1. 本機と MUSE-NTSC コンバーターの電源を入れる
2. 本機で BS9 チャンネルを選ぶ
3. テレビで「外部入力」を選ぶ

ハイビジョン放送の番組を録画するときは

1. 本機と MUSE-NTSC コンバーターの電源を入れる
2. 本機で BS9 チャンネルを選ぶ
3. 本機で録画を始める
   テレビの電源を入れて、「外部入力」を選ぶと、録画中のハイビジョン放送の番組を見ることができます。

CATV を接続する

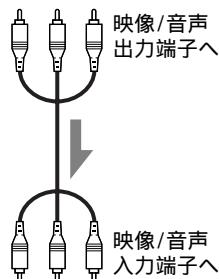
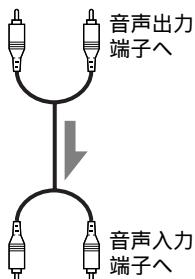
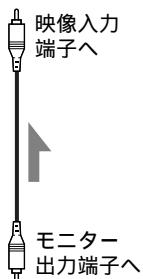
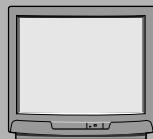
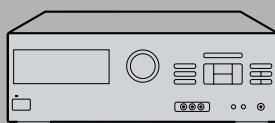
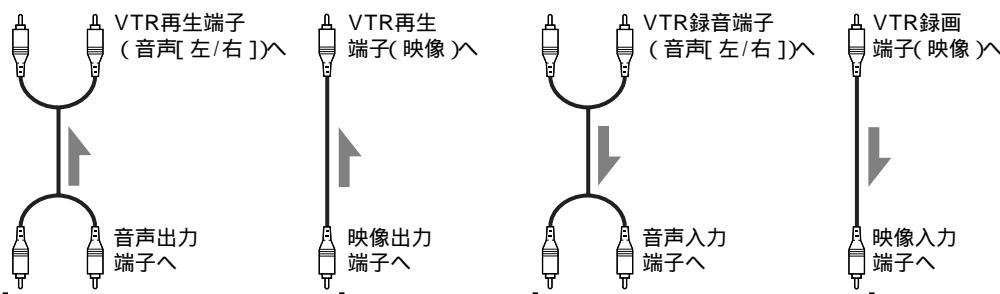
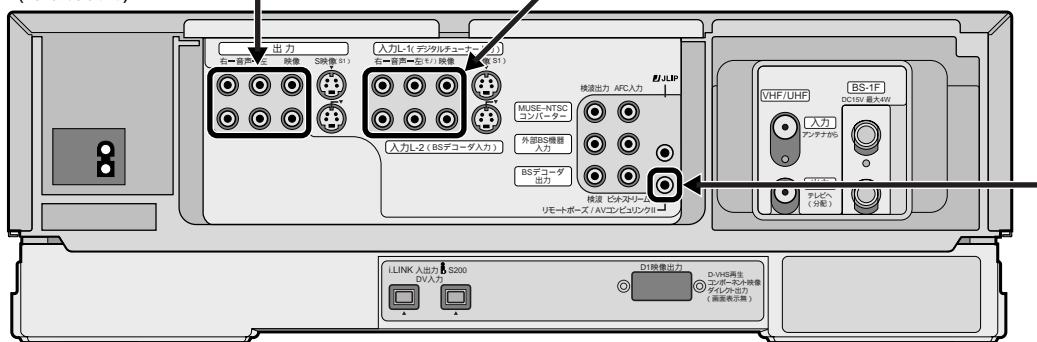
図のように、ホームターミナル（アダプター）を接続してください。
お使いのホームターミナルの取扱説明書もご覧ください。

CATV 放送を受信するには

1. F型コネクター付き同軸ケーブル（別売）で本機のVHF/UHFアンテナ入力端子とホームターミナルまたはCATVチューナーのケーブル出力端子を接続します。
2. 受信できるCATV放送を空いているチャンネルに割り当てます。（☞38 ページ）

CATV 放送を見るときは

1. ホームターミナルで受信したいチャンネルを選びます。
2. 本機のチャンネルボタンで接続した入力を選びます。
   前面外部入力は「F-1」、背面外部入力は「L-1またはL-2」を選びます。
   ホームターミナルに映像／音声出力端子がない場合は、CATV 放送が受信できるビデオチャンネルを選びます。

関連システムとの接続

当社の AV コンピュリンク機能付きのテレビ・AV アンプをお持ちのかたは、□部の接続も行ってください。
各機器の電源を切ってから接続してください。テレビ、AV アンプの取扱説明書も合わせてお読みください。

テレビ・AV アンプとの連携プレー ——— AV コンピュリンク

当社の AV コンピュリンクシステムで、複雑な各機器間の操作が簡略化され、本格的な AV システムを手軽に楽しめます。
モード選択画面のコントロール切換を「AVコンピュリンク」に設定します。操作方法は ☞89 ページをご覧ください。

(例) ワンタッチ再生

録画済テープをビデオに入れ、再生ボタンを押すと

オーディオシステム ：電源が入り、ビデオの音声を出力します。
テレビ ：電源が入り、ビデオの映像を出力します。

- テレビの映像/音声入力端子に接続する場合、本機のリモコンコードが「A コード」のときは、テレビの「ビデオ 1」入力端子へ接続してください。「B コード」のときは、テレビの「ビデオ 2」入力端子へ接続してください。

受信チャンネルを設定する

受信チャンネル設定の流れ

本機は、お住まいの地域番号を入力するだけで、チャンネルを自動的に設定します。
また、G コード録画予約をするためのガイドチャンネルも自動的に設定されます。

地域番号を入力する
（操作方法は次ページ以降を参照）

受信できる放送局を
ひとつずつ設定する
（☞38ページを参照）

一覧表どおりに、全部の放送局が受信できたら、チャンネル設定は終了です。

- **新たにチャンネルを追加したいとき：**
  ☞38ページの操作をしてください。
- **受信チャンネルの映りが悪いとき：**
  ☞40ページの操作をしてください。
- **不要なチャンネルを受信できなくしたいとき：**
  ☞42ページの操作をしてください。

CATV をご覧になるときは

- お買い上げ時には、CATV 放送のチャンネルは受信できない状態になっています。
- ＣＡＴＶ 放送のチャンネルは「一括チャンネル合わせ」（☞32ページ参照）では、設定されません。CATV 放送のチャンネルを本機で受信したいときは、受信できる CATV 放送を空いているチャンネル番号に割り当ててください。（☞38 ページ参照）
- CATV 放送は、サービスの行われている地域でのみ受信できます。
- CATV 放送をご覧になるには、使用する機器ごとに受信契約が必要です。
- スクランブル方式など有料の CATV 放送のときは、受信契約に加え、ホームターミナル（アダプター）の使用が必要になります。
- ホームターミナルを使用したときは、ホームターミナル側で見たいチャンネルに合わせ、本機は前面外部入力 1「F-1」、背面外部入力「L-1」またはビデオチャンネル（1 チャンネルか 2 チャンネル）にします。
- 詳しくは、CATV 放送各社にお問い合わせください。

地域内のテレビ放送局を一括して設定する

「一括チャンネル合わせ」を行うと、次の2つの項目も自動的に設定されます。

- Gコード録画予約をするために、必要なガイドチャンネル(☞44ページ)
- 本機に内蔵された時計の誤差を自動的に調整する「ぴったりクロック」(☞47ページ)

準備

- お住まいの地域の地域番号を確認してください。（☞34～37ページ参照）
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

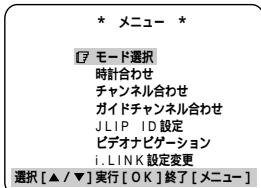
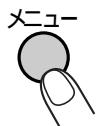
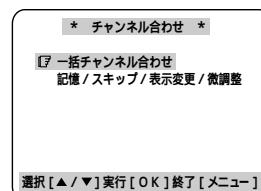
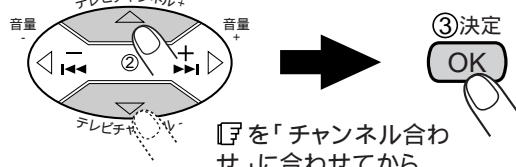
1 「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- JLIP ID設定
- ビデオナビゲーション
- i.LINK設定変更

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

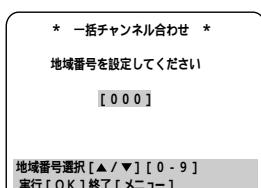
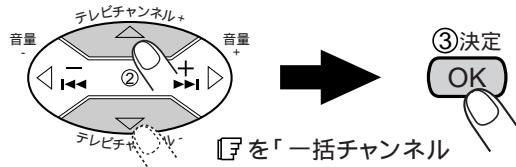
＊ チャンネル合わせ ＊
- 一括チャンネル合わせ
- 記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

3 「一括チャンネル合わせ」画面を表示させる

＊ 一括チャンネル合わせ ＊

地域番号を設定してください

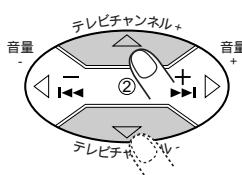
［000］

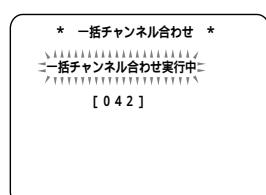
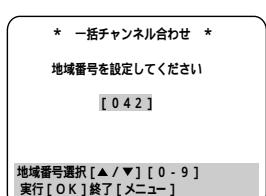
地域番号選択［▲／▼］［0－9］
実行［OK］終了［メニュー］

お願い

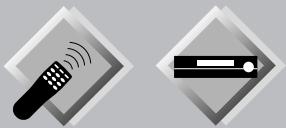
- CATV放送は「一括チャンネル合わせ」では設定できません。CATV放送を受信できるようにするには、空いているチャンネル番号に割り当ててください。(☞38ページ参照)

4 地域番号を選ぶ

例：「042」（東京 23 区）を選んだとき

● 押し続けると地域番号が早く変わります。
● 地域番号を選ぶときは、数字ボタン（1 〜 9、0/11）をつかうこともできます。
　例：「042」と入力するときは、0/11 と 4 と 2 を押す。

5 一括チャンネル合わせを実行する

● 「一括チャンネル合わせ」が終了すると、チャンネル番号の一番小さい受信チャンネルの映像がテレビ画面に表示されます。
● 次のような変更がないかたは、☞47 ページの「時計合わせ」へ進んでください。
  - 新たにチャンネルを追加したいとき：
    ☞38 ページの操作をしてください。
  - 受信チャンネルの映りが悪いとき：
    ☞40 ページの操作をしてください。
  - 不要なチャンネルを受信できなくしたいとき：
    ☞42 ページの操作をしてください。

- ☞34〜37ページの地域番号表に放送局が記載されていないチャンネルは表示しません。

- 受信できるテレビ放送局をひとつずつ設定することもできます。（☞38 ページ参照）
  このときは、ガイドチャンネルもひとつずつ設定してください。（☞44 ページ参照）

一括チャンネル合わせの地域番号表

Gコードを使って録画の予約をするために必要になります。（実際のチャンネルとは異なる場合があります。）

お住まいの地域が表中に記載されていないときは、受信できるテレビ局をひとつずつ設定してください。（☞38 ページ）
また、表中のガイドチャンネルとは、各テレビ放送局に付けられた、放送局専用の番号です。

この表の見かた

本機でのチャンネル表示番号

	地域番号	放送局名・受信チャンネルガ…		
		1	2	
都道府県名	地域名（対応都市） 地域番号	放送局名 受信チャンネル／ガイドチャンネル	放送局名 受信チャンネル／ガイドチャンネル	受信チャン…

（1999 年 10 月現在）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ー	初期設定 000	1/–	2/–	3/–	4/–	5/–	6/–	7/–	8/–	9/–	10/–	11/–	12/–
北海道	札幌（江別） 001	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35	テレビ北海道 17/17	NHK教育 12/90
	小樽 002		NHK教育 2/90		北海道テレビ 4/35			札幌テレビ 7/5	北海道文化 26/27	北海道放送 9/1		NHK総合 11/80	テレビ北海道 24/17
	旭川 003		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 33/17
	名寄 004			北海道文化 26/27	NHK総合 4/80		札幌テレビ 6/5		北海道テレビ 24/35		北海道放送 10/1		NHK教育 12/90
	稚内 005		NHK教育 30/90	北海道文化 26/27		北海道テレビ 24/35		札幌テレビ 22/5		NHK総合 28/80	北海道放送 10/1		
	室蘭 006		NHK教育 2/90	北海道文化 37/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	テレビ北海道 29/17
	苫小牧 007		NHK教育 49/90	北海道文化 53/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 57/5		NHK総合 51/80		北海道放送 55/1	テレビ北海道 47/17
	函館 008		北海道文化 27/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 35/35		NHK教育 10/90	テレビ北海道 21/17	札幌テレビ 12/5
	帯広 009		北海道文化 32/27		NHK総合 4/80		北海道放送 6/1		北海道テレビ 34/35		札幌テレビ 10/5		NHK教育 12/90
	釧路 010		NHK教育 2/90	北海道文化 41/27		北海道テレビ 39/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 11/1	
	網走 011	北海道放送 1/1		NHK総合 3/80		札幌テレビ 5/5			北海道文化 27/27		北海道テレビ 35/35		NHK教育 12/90
	北見 012		NHK教育 2/90	北海道文化 59/27		北海道テレビ 61/35		札幌テレビ 7/5		NHK総合 9/80		北海道放送 53/1	
青森	青森（弘前） 013	青森放送 1/1		NHK総合 3/80	青森朝日 34/34	NHK教育 5/90							青森テレビ 38/38
	八戸 014		岩手めんこい 29/33		青森朝日 31/34			NHK教育 7/90		NHK総合 9/80		青森放送 11/1	青森テレビ 33/38
	むつ 015				NHK総合 4/80		青森朝日 56/34		青森テレビ 58/38		青森放送 10/1		NHK教育 12/90
岩手	盛岡 016				NHK総合 4/80		岩手放送 6/6		NHK教育 8/90	岩手朝日 31/20	テレビ岩手 35/35		岩手めんこい 33/33
	釜石 017		NHK総合 2/80				テレビ岩手 58/35		岩手めんこい 60/33	岩手朝日 62/20	岩手放送 10/6		NHK教育 12/90
	二戸 018		岩手放送 2/6			NHK総合 5/80			岩手めんこい 29/33	岩手朝日 61/20	テレビ岩手 37/35		NHK教育 12/90
宮城	仙台 019	東北放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		東日本放送 32/32		宮城テレビ 34/34			仙台放送 12/12
	石巻 020	東北放送 59/1		NHK総合 51/80		NHK教育 49/90		東日本放送 61/32		宮城テレビ 55/34			仙台放送 57/12
	気仙沼 021		NHK総合 2/80		東北放送 4/1		仙台放送 6/12	東日本放送 43/32		宮城テレビ 37/34	NHK教育 10/90		
秋田	秋田 022		NHK教育 2/90			秋田朝日 31/31				NHK総合 9/80		秋田放送 11/11	秋田テレビ 37/37
	大館 023				NHK総合 4/80	秋田朝日 59/31	秋田放送 6/11		NHK教育 8/90				秋田テレビ 57/37
	大曲 024		NHK教育 43/90			秋田朝日 41/31				NHK総合 45/80		秋田放送 47/11	秋田テレビ 51/37

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30/30		NHK教育 4/90		テレビユー山形 36/36		NHK総合 8/80		山形放送 10/10		山形テレビ 38/38
	鶴岡(酒田) 026	山形放送 1/10	さくらんぼテレビ 24/30	NHK総合 3/80			NHK教育 6/90		テレビユー山形 22/36				山形テレビ 39/38
	米沢 027		さくらんぼテレビ 60/30		NHK教育 50/90		テレビユー山形 56/36		NHK総合 52/80		山形放送 54/10		山形テレビ 58/38
福島	福島（郡山） 028		NHK教育 2/90		テレビユー福島 31/31		福島中央 33/33			NHK総合 9/80	福島放送 35/35	福島テレビ 11/11	
	いわき 029		テレビユー福島 62/31		NHK総合 4/80		福島中央 58/33		福島テレビ 8/11		NHK教育 10/90		福島放送 60/35
	会津若松 030	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90	テレビユー福島 47/31		福島テレビ 6/11		福島中央 37/33		福島放送 41/35		
茨城	水戸（勝田） 031	NHK総合 44/80		NHK教育 46/90	日本テレビ 42/4		TBS 40/6		フジテレビ 38/8		テレビ朝日 36/10		テレビ東京 32/12
	日立 032	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
栃木	宇都宮 033	NHK総合 29/80		NHK教育 27/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	とちぎテレビ 31/23	テレビ東京 17/12
	矢板 034	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	とちぎテレビ 33/23	テレビ東京 61/12
群馬	前橋（伊勢崎・高崎） 035	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4	群馬テレビ 48/48	TBS 56/6	放送大学 40/16	フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10		テレビ東京 62/12
	桐生 036	NHK総合 43/80		NHK教育 45/90	日本テレビ 39/4	群馬テレビ 41/48	TBS 37/6	放送大学 40/16	フジテレビ 35/8		テレビ朝日 33/10		テレビ東京 31/12
埼玉	浦和（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越） 037	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ埼玉 38/38	テレビ東京 12/12
	熊谷 038	NHK総合 33/80		NHK教育 35/90	日本テレビ 25/4		TBS 23/6		フジテレビ 21/8		テレビ朝日 19/10	テレビ埼玉 28/38	テレビ東京 17/12
	秩父 039	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	テレビ埼玉 47/38	テレビ東京 61/12
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代） 040	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
	銚子 041	NHK総合 51/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10	千葉テレビ 39/46	テレビ東京 61/12
東京	23区（昭島・青梅・小金井・小平・立川・調布・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹） 042	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6	テレビ埼玉 38/38	フジテレビ 8/8	テレビ神奈川 42/42	テレビ朝日 10/10	千葉テレビ 46/46	テレビ東京 12/12
	八王子 043	NHK総合 51/80	MXテレビ 47/14	NHK教育 49/90	日本テレビ 53/4		TBS 55/6		フジテレビ 57/8		テレビ朝日 59/10		テレビ東京 61/12
	多摩 044	NHK総合 30/80	MXテレビ 28/14	NHK教育 32/90	日本テレビ 26/4		TBS 24/6		フジテレビ 22/8		テレビ朝日 20/10		テレビ東京 18/12
神奈川	* 横浜（一部の横浜） 045	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 48/42	テレビ東京 62/12
	* 横浜（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀） 046	NHK総合 1/80	MXテレビ 14/14	NHK教育 3/90	日本テレビ 4/4	放送大学 16/16	TBS 6/6		フジテレビ 8/8		テレビ朝日 10/10	テレビ神奈川 42/42	テレビ東京 12/12
	平塚（茅ヶ崎） 047	NHK総合 33/80		NHK教育 29/90	日本テレビ 35/4		TBS 37/6		フジテレビ 39/8		テレビ朝日 41/10	テレビ神奈川 31/42	テレビ東京 43/12
	秦野 048	NHK総合 47/80		NHK教育 49/90	日本テレビ 51/4		TBS 53/6		フジテレビ 55/8		テレビ朝日 57/10	テレビ神奈川 61/42	テレビ東京 59/12
	小田原 049	NHK総合 52/80		NHK教育 50/90	日本テレビ 54/4		TBS 56/6		フジテレビ 58/8		テレビ朝日 60/10	テレビ神奈川 46/42	テレビ東京 62/12
山梨	甲府 050	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		山梨放送 5/5		テレビ山梨 37/37					
長野	長野１ 051		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 40/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 48/11	
	長野２ 052		NHK総合 2/80	長野朝日 20/20		テレビ信州 30/30		長野放送 38/38		NHK教育 9/90		信越放送 11/11	
	松本 053		NHK総合 44/80	長野朝日 50/20		テレビ信州 48/30		長野放送 42/38		NHK教育 46/90		信越放送 40/11	
	飯田 054			NHK教育 3/90	NHK総合 4/80	テレビ信州 42/30	信越放送 6/11		長野放送 40/38		長野朝日 44/20		
	岡谷・諏訪 055				NHK総合 4/80	テレビ信州 59/30	信越放送 6/11		NHK教育 8/90	長野放送 47/38	長野朝日 61/20		
新潟	新潟（長岡） 056			新潟テレビ21 21/21	テレビ新潟 29/29	新潟放送 5/5			NHK総合 8/80		新潟総合TV 35/35		NHK教育 12/90
	上越 057	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80	テレビ新潟 27/29		新潟テレビ21 37/21		新潟総合TV 33/35		新潟放送 10/5		
富山	富山 058	北日本放送 1/1		NHK総合 3/80					富山テレビ 34/34		NHK教育 10/90		チューリップTV 32/32
	高岡 059	北日本放送 50/1		NHK総合 48/80					富山テレビ 44/34		NHK教育 46/90		チューリップTV 42/32

* 横浜市にお住まいのかたは、通常は「０４６」をお選びください。
「０４６」でうまく受信できないときは、「０４５」をお選びください。

次のページに続く

受信チャンネルを設定する（つづき）

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
石川	金沢（小松） 060		石川テレビ 37/37		NHK総合 4/80		北陸放送 6/6		NHK教育 8/90		テレビ金沢 33/33		北陸朝日 25/25
	七尾 061	テレビ金沢 57/33		北陸朝日 59/25		NHK教育 5/90		石川テレビ 55/37		NHK総合 9/80		北陸放送 11/6	
福井	福井 062			NHK教育 3/90			北陸放送 6/6			NHK総合 9/80		福井放送 11/11	福井テレビ 39/39
	敦賀 063						NHK総合 6/80		福井放送 8/11		福井テレビ 38/39		NHK教育 12/90
岐阜	岐阜（大垣） 064	東海テレビ 1/1		NHK総合 39/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	岐阜放送 37/37	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	高山 065		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		中部日本放送 6/5	中京テレビ 26/35	東海テレビ 8/1		岐阜放送 38/37		名古屋テレビ 12/11
	中津川 066				NHK総合 4/80		名古屋テレビ 6/11	中京テレビ 26/35	中部日本放送 8/5		東海テレビ 10/1	岐阜放送 28/37	NHK教育 12/90
静岡	静岡（清水・焼津） 067		NHK教育 2/90	静岡第1 31/31		静岡朝日 33/33		テレビ静岡 35/35		NHK総合 9/80		静岡放送 11/11	
	浜松 068		静岡第1 30/31		NHK総合 4/80		静岡放送 6/11		NHK教育 8/90		静岡朝日 28/33		テレビ静岡 34/35
	富士（富士宮） 069		NHK教育 54/90	静岡第1 27/31		静岡朝日 29/33		テレビ静岡 39/35		NHK総合 52/80		静岡放送 41/11	
	三島・沼津 070		NHK教育 51/90	静岡第1 61/31		静岡朝日 57/33		テレビ静岡 59/35		NHK総合 53/80		静岡放送 55/11	
	島田 071	NHK総合 1/80		NHK教育 3/90		静岡放送 5/11		静岡第1 48/31			静岡朝日 50/33		テレビ静岡 58/35
	藤枝 072	NHK総合 42/80		NHK教育 44/90		静岡放送 40/11		静岡第1 24/31			静岡朝日 26/33		テレビ静岡 38/35
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田） 073	東海テレビ 1/1		NHK総合 3/80		中部日本放送 5/5	岐阜放送 37/37	中京テレビ 35/35	三重テレビ 33/33	NHK教育 9/90		名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	豊橋（豊川） 074	東海テレビ 56/1		NHK総合 54/80		中部日本放送 62/5		中京テレビ 58/35		NHK教育 50/90		名古屋テレビ 60/11	テレビ愛知 52/25
	豊田 075	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 59/35		NHK教育 51/90		名古屋テレビ 61/11	テレビ愛知 49/25
三重	津（鈴鹿・松坂・四日市） 076	東海テレビ 1/1		NHK総合 31/80		中部日本放送 5/5		中京テレビ 35/35		NHK教育 9/90	三重テレビ 33/33	名古屋テレビ 11/11	テレビ愛知 25/25
	伊勢 077	東海テレビ 57/1		NHK総合 53/80		中部日本放送 55/5		中京テレビ 47/35		NHK教育 49/90	三重テレビ 59//33	名古屋テレビ 61/11	
	名張 078	東海テレビ 62/1		NHK総合 52/80		中部日本放送 60/5		中京テレビ 54/35		NHK教育 50/90	三重テレビ 58/33	名古屋テレビ 56/11	
滋賀	大津 079		NHK総合 28/80		毎日放送 36/4		朝日放送 38/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10	びわ湖放送 30/30	NHK教育 46/90
	彦根 080		NHK総合 52/80		毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10	びわ湖放送 56/30	NHK教育 50/90
京都	京都（宇治） 081		NHK総合 2/80	京都テレビ 34/34	毎日放送 4/4	テレビ大阪 19/19	朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
	舞鶴 082		NHK総合 51/80		毎日放送 53/4	京都テレビ 57/34	朝日放送 55/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10		NHK教育 49/90
	福知山 083		NHK総合 50/80		毎日放送 54/4	京都テレビ 56/34	朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
大阪	大阪（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾） 084		NHK総合 2/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8	テレビ大阪 19/19	読売テレビ 10/10		NHK教育 12/90
兵庫	神戸 085		NHK総合 28/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 18/4		朝日放送 20/6		関西テレビ 22/8		読売テレビ 24/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 26/90
	神戸灘 086		NHK総合 52/80	サンテレビ 62/36	毎日放送 54/4		朝日放送 56/6		関西テレビ 58/8		読売テレビ 60/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 50/90
	川西 087		NHK総合 29/80	サンテレビ 33/36	毎日放送 35/4		朝日放送 37/6		関西テレビ 39/8		読売テレビ 41/10		NHK教育 31/90
	三木 088		NHK総合 44/80	サンテレビ 36/36	毎日放送 34/4		朝日放送 38/6		関西テレビ 40/8		読売テレビ 42/10		NHK教育 46/90
	姫路 089		NHK総合 50/80	サンテレビ 56/36	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
	明石（加古川） 090		NHK総合 51/80	サンテレビ 55/36	毎日放送 53/4		朝日放送 57/6		関西テレビ 59/8		読売テレビ 61/10	テレビ大阪 19/19	NHK教育 49/90
奈良	奈良（橿原） 091		NHK総合 2/80	テレビ大阪 19/19	毎日放送 4/4	NHK奈良 51/–	朝日放送 6/6	京都テレビ 34/34	関西テレビ 8/8	サンテレビ 36/36	読売テレビ 10/10	奈良テレビ 55/55	NHK教育 12/90
	五條 092		NHK総合 43/80	奈良テレビ 41/55	毎日放送 33/4		朝日放送 35/6		関西テレビ 37/8		読売テレビ 39/10		NHK教育 45/90
和歌山	和歌山 093		NHK総合 32/80	テレビ和歌山 30/30	毎日放送 42/4		朝日放送 44/6		関西テレビ 46/8		読売テレビ 48/10		NHK教育 26/90
	海南・田辺 094		NHK総合 50/80	テレビ和歌山 56/30	毎日放送 54/4		朝日放送 58/6		関西テレビ 60/8		読売テレビ 62/10		NHK教育 52/90
鳥取	鳥取 095	日本海テレビ 1/1		NHK総合 3/80	NHK 教育 4/90				山陰中央 24/34		山陰放送 22/10		
島根	松江 096	日本海テレビ 30/1					NHK総合 6/80		山陰中央 34/34		山陰放送 10/10		NHK教育 12/90
	浜田 097		NHK総合 2/80	日本海テレビ 54/1		山陰放送 5/10			山陰中央 58/34	NHK教育 9/90			

	地域番号	放送局名・受信チャンネル/ガイドチャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岡山	岡山（倉敷）098	TVせとうち 23/23		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80	瀬戸内海放送 25/33	岡山放送 35/35		西日本放送 9/9		山陽放送 11/11	
	津山 099		NHK総合 2/80		TVせとうち 56/23		瀬戸内海放送 62/33	山陽放送 7/11		西日本放送 58/9		岡山放送 60/35	NHK教育 12/90
	笠岡 100		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90	TVせとうち 19/23	山陽放送 6/11			西日本放送 17/9	瀬戸内海放送 21/33	岡山放送 60/35	
広島	広島 101	テレビ新広島 31/31		NHK総合 3/80	中国放送 4/4			NHK教育 7/90		広島ホームTV 35/35			広島テレビ 12/12
	福山 102	テレビ新広島 54/31		NHK教育 3/90		NHK総合 5/80		中国放送 7/4		広島ホームTV 57/35		広島テレビ 11/12	
	尾道 103	NHK総合 1/80			広島ホームTV 24/35			NHK教育 7/90	テレビ新広島 26/31		中国放送 10/4		広島テレビ 12/12
	呉 104	NHK教育 1/90			広島ホームTV 24/35	広島テレビ 5/12			テレビ新広島 26/31	中国放送 9/4		NHK総合 11/80	
山口	山口（徳山・防府）105	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 38/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
	下関 106	NHK教育 41/90		TXN九州 23/19	山口放送 4/11	山口朝日 21/28		テレビ山口 33/38		NHK総合 39/80	テレビ西日本 10/9		
	宇部 107	NHK教育 14/90				山口朝日 31/28		テレビ山口 20/38		NHK総合 16/80	テレビ西日本 10/9	山口放送 18/11	
	岩国 108	NHK教育 1/90				山口朝日 28/28		テレビ山口 22/38		NHK総合 9/80		山口放送 11/11	
徳島	徳島 109	四国放送 1/1		NHK総合 3/80	毎日放送 4/4		朝日放送 6/6		関西テレビ 8/8		読売テレビ 10/10		NHK教育 38/90
香川	高松 110	TVせとうち 19/23		NHK教育 39/90		NHK総合 37/80	瀬戸内海放送 33/33	岡山放送 31/35		西日本放送 41/9		山陽放送 29/11	
	丸亀 111	TVせとうち 16/23		NHK教育 40/90		NHK総合 44/80	瀬戸内海放送 42/33	岡山放送 22/35		西日本放送 20/9		山陽放送 18/11	
愛媛	松山 112		NHK教育 2/90		あいテレビ 29/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 37/37	愛媛朝日 25/25	南海放送 10/10	テレビ新広島 31/31	広島ホームTV 35/35
	新居浜 113		NHK総合 2/80		NHK教育 4/90		南海放送 6/10		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 14/25		あいテレビ 27/29	
	今治 114		NHK教育 30/90		あいテレビ 27/29		NHK総合 32/80		愛媛放送 36/37	愛媛朝日 17/25	南海放送 34/10		
	宇和島 115	NHK教育 1/90			あいテレビ 34/29		NHK総合 6/80		愛媛放送 32/37	愛媛朝日 16/25	南海放送 10/10		
高知	高知 116				NHK総合 4/80		NHK教育 6/90		高知放送 8/8		テレビ高知 38/38		高知さんさんテレビ 40/40
福岡	福岡 117	九州朝日 1/1		NHK総合 3/80	RKB毎日 4/4		NHK教育 6/90			テレビ西日本 9/9		TXN九州 19/19	福岡放送 37/37
	久留米 118	九州朝日 57/1		NHK総合 46/80	RKB毎日 48/4		NHK教育 54/90			テレビ西日本 60/9		TXN九州 14/19	福岡放送 52/37
	大牟田 119	九州朝日 58/1		NHK総合 53/80	RKB毎日 61/4		NHK教育 50/90			テレビ西日本 55/9		TXN九州 19/19	福岡放送 43/37
	北九州 120		九州朝日 2/1	TXN九州 23/19	福岡放送 35/37		NHK総合 6/80		RKB毎日 8/4		テレビ西日本 10/9		NHK教育 12/90
	行橋 121		九州朝日 57/1	TXN九州 19/19	福岡放送 43/37		NHK総合 49/80		RKB毎日 60/4		テレビ西日本 54/9		NHK教育 46/90
佐賀	佐賀 122		NHK教育 40/90	九州朝日 57/1	RKB毎日 48/4	TXN九州 14/19		サガテレビ 36/36	テレビ西日本 60/9	NHK総合 38/80		熊本放送 11/11	福岡放送 52/37
長崎	長崎 123	NHK教育 1/90		NHK総合 3/80		長崎放送 5/5		長崎国際 25/25		長崎文化 27/27		テレビ長崎 37/37	
	佐世保 124		NHK教育 2/90		長崎国際 17/25		長崎文化 31/27		NHK総合 8/80		長崎放送 10/5		テレビ長崎 35/37
	諫早 125	NHK教育 45/90		NHK総合 47/80		長崎放送 49/5		長崎国際 20/25		長崎文化 24/27		テレビ長崎 42/37	
熊本	熊本（八代）126		NHK教育 2/90	熊本朝日 16/16		熊本県民 22/22		テレビ熊本 34/34		NHK総合 9/80		熊本放送 11/11	
大分	大分（別府）127			NHK総合 3/80		大分放送 5/5		テレビ大分 36/36		大分朝日 24/24			NHK教育 12/90
	中津 128			NHK総合 48/80		大分放送 51/5		テレビ大分 37/36		大分朝日 17/24			NHK教育 45/90
宮崎	宮崎（都城）129						テレビ宮崎 35/35		NHK総合 8/80		宮崎放送 10/10		NHK教育 12/90
	延岡 130		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		宮崎放送 6/10		テレビ宮崎 39/35				
鹿児島	鹿児島 131	南日本放送 1/1		NHK総合 3/80		NHK教育 5/90		鹿児島放送 32/32		鹿児島テレビ 38/38		鹿児島読売 30/30	
	阿久根 132		鹿児島読売 17/30		鹿児島放送 23/32		鹿児島テレビ 35/38		NHK総合 8/80		南日本放送 10/1		NHK教育 12/90
	鹿屋 133		NHK教育 2/90		NHK総合 4/80		南日本放送 6/1		鹿児島放送 31/32		鹿児島テレビ 33/38		鹿児島読売 25/30
沖縄	那覇（沖縄）134		NHK総合 2/80			琉球朝日 28/28			沖縄テレビ 8/8		琉球放送 10/10		NHK教育 12/90

受信チャンネルを設定する（つづき）

放送局をひとつずつ設定する

次のようなときには、ご自分で放送局をひとつずつ受信できるように設定してください。

- 「一括チャンネル合わせ」(☞32 ページ)では受信できない放送局があるとき
- お住まいの地域に新しい放送局ができたとき
- CATV 放送のチャンネルを受信できるようにしたいとき

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

例： チャンネル表示 1 に NHK 総合が映るようにする

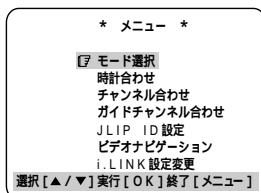
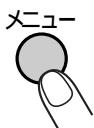
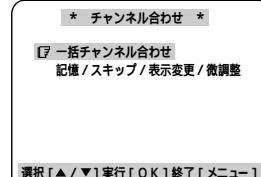
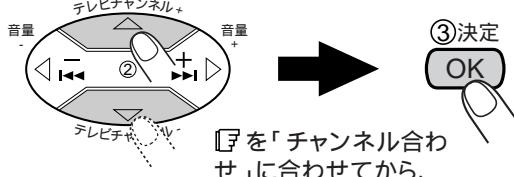
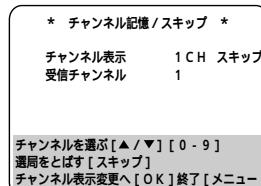
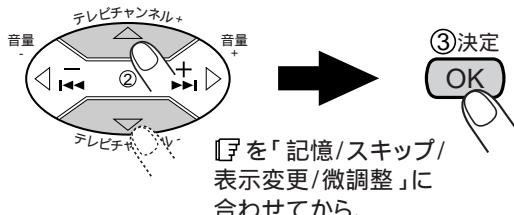
1 「メニュー」画面を表示させる

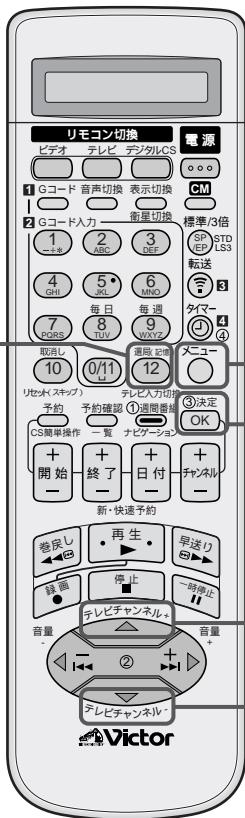
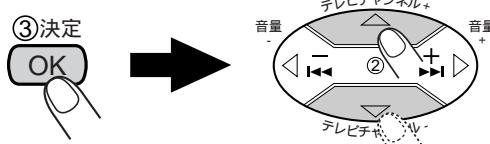
＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
i.LINK設定変更
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

3 「手動合わせ」画面を表示させる

☞を「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせてから、

例：現在受信している放送局が 1 チャンネルのとき

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、「チャンネル記憶／スキップ」画面と重なって映ります。

4 「チャンネル表示」の番号を変える

「チャンネル表示変更」画面を表示させてから、

「チャンネル表示」の番号を選ぶ

＊ チャンネル表示変更 ＊

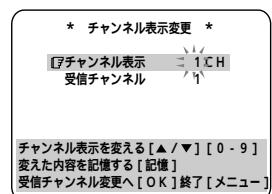
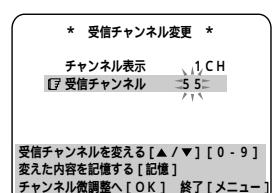
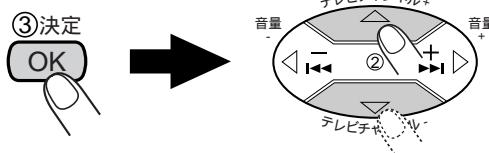
チャンネル表示　1CH
受信チャンネル　1

チャンネル表示を変える [▲／▼] [0－9]
変えた内容を記憶する [記憶]
受信チャンネル変更へ [OK] 終了 [メニュー]

5 受信チャンネルを変更する

＊ 受信チャンネル変更 ＊

チャンネル表示　1CH
受信チャンネル　55

受信チャンネルを変える [▲／▼] [0－9]
変えた内容を記憶する [記憶]
チャンネル微調整へ [OK] 終了 [メニュー]

テレビ画面には、新しく選んだ放送局（受信チャンネル）の映像が、「メニュー」画面と重なって映ります。

6 変更を記憶させる

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

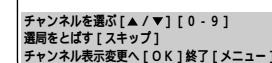
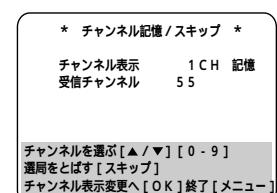
チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　55

チャンネルを選ぶ [▲／▼] [0－9]
選局をとばす [スキップ]
チャンネル表示変更へ [OK] 終了 [メニュー]

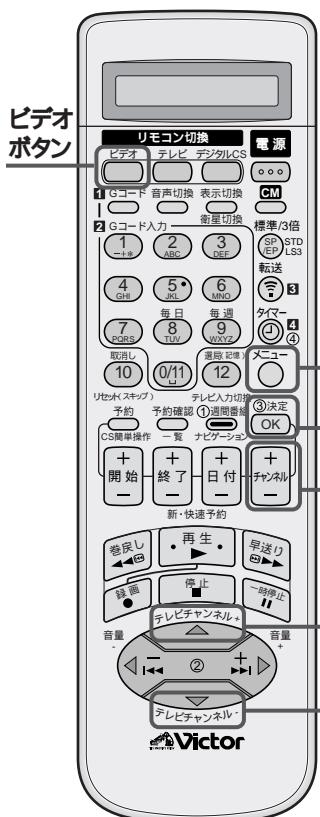
7 メニュー操作を終了する

- チャンネル表示や受信チャンネルを変更するときは、数字ボタン（0〜9）を使うこともできます。
  例：「55」と入力するには、5を2回押す。
  例：「10」と入力するには、1と0を押す。

お願い

- 設定が終了したあとで、必ずガイドチャンネルも設定してください。（☞44ページ）

映りの悪いチャンネルを微調整する

映像の色がうすく見づらいときは、受信チャンネルを微調整してください。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 映りの悪いチャンネルを選ぶ

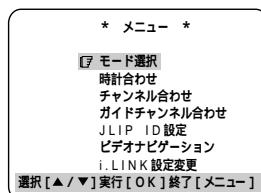
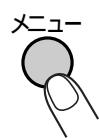
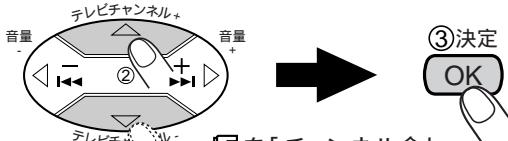
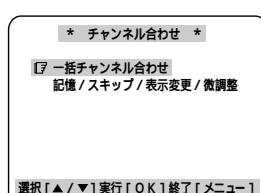
テレビ画面には選んだチャンネルの映像が映ります。

- 本体のチャンネル＋ /－ボタンでも操作できます。

2 「メニュー」画面を表示させる

3 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

☞を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

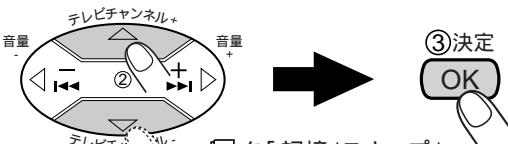
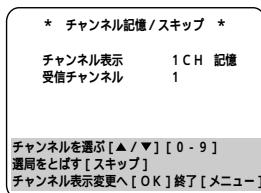
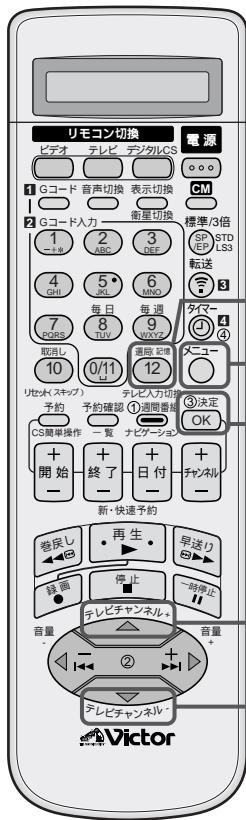
4 「チャンネル記憶/スキップ」画面を表示させる

☞を「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせてから、

リモコンの数字ボタン（0～9）でチャンネルを選ぶときは

数字ボタン（0～9）を押す。

例： 4 チャンネルを選ぶときは 4 を押す。

例： 10 チャンネルを選ぶときは 1 と 0 を続けて押す。

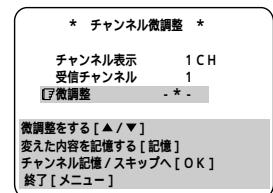
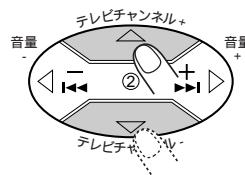
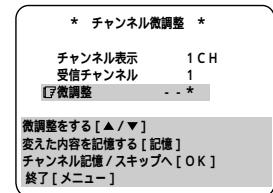
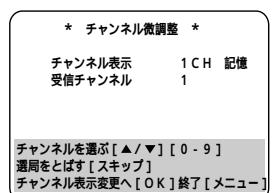
お願い

- BS チャンネルでは「微調整」を行うことはできません。
  BS チャンネルの映りが悪いときは、風などの影響により、BS アンテナの向きが変わってしまったことが原因として考えられます。
  このときは、BSアンテナの方向をもう 1 度調節し直してください。
  （☞22 ページ）

5 「チャンネル微調整」画面を表示させる

（3回押す）

6 微調整をする

映像を見ながら調整する

＊ チャンネル微調整 ＊
チャンネル表示 1CH
受信チャンネル 1
微調整 −−＊
微調整をする［▲／▼］
変えた内容を記憶する［記憶］
チャンネル記憶／スキップへ［OK］
終了［メニュー］

7 変更を記憶させる

8 メニュー操作を終了する

設定画面を出すときは

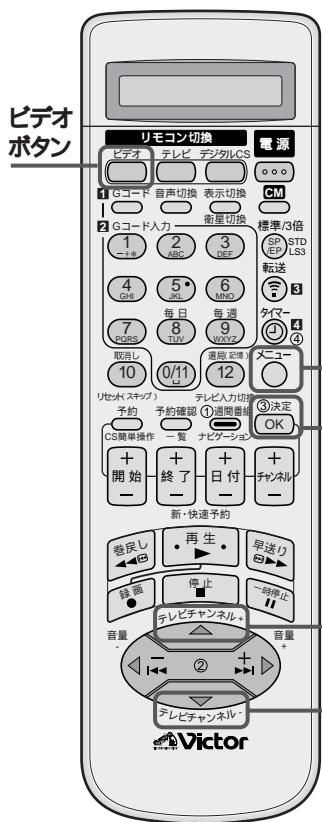
手順**4**のあとで、OKボタンを押すたびに、次の画面がテレビに表示されます。
「チャンネル表示変更」画面→
「受信チャンネル変更」画面→
「チャンネル微調整」画面→
「チャンネル記憶／スキップ」画面
（手順**4**の画面に戻ります。）→

受信チャンネルを設定する（つづき）

不要な放送局を受信できないようにする（チャンネルスキップ）

不要な放送局や、映りが悪すぎて見ない放送局などを飛ばしたいときに設定します。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊

モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
i.LINK設定変更

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 「チャンネル合わせ」画面を表示させる

を「チャンネル合わせ」に合わせてから、

＊ チャンネル合わせ ＊

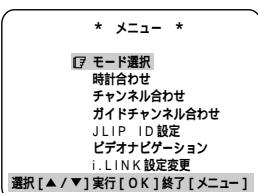
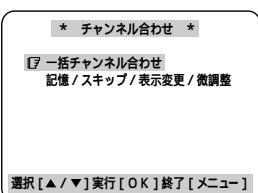
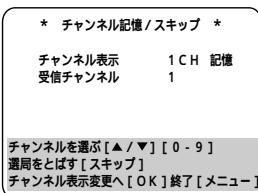
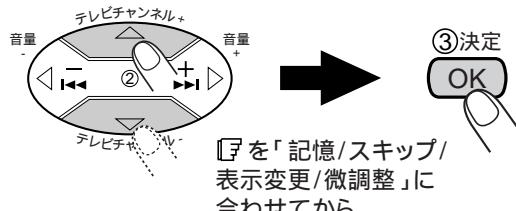
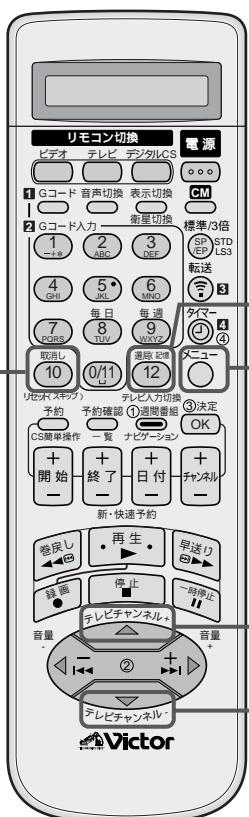
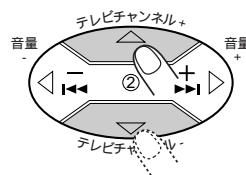
一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

3 「チャンネル記憶／スキップ」画面を表示させる

を「記憶/スキップ/表示変更/微調整」に合わせてから、

＊ チャンネル記憶／スキップ ＊

チャンネル表示　1CH　記憶
受信チャンネル　1

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［スキップ］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

テレビ画面には現在受信しているチャンネルの映像が、メニュー画面と重なって映ります。

4 飛ばしたい放送局を選ぶ

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　2CH　記憶
受信チャンネル　　14

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
選局をとばす［スキップ］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

テレビ画面には選んだチャンネルの映像が、メニュー画面と重なって映ります。

5 スキップを設定する

＊　チャンネル記憶／スキップ　＊

チャンネル表示　　2CH　スキップ
受信チャンネル　　14

チャンネルを選ぶ［▲／▼］［0－9］
スキップをやめる［記憶］
チャンネル表示変更へ［OK］終了［メニュー］

6 他の放送局もスキップするときは、手順の4と5をくり返す

7 メニュー操作を終了する

- チャンネル表示も変更したいときは、「放送局をひとつずつ設定する」（☞38ページ）をご覧ください。
- 受信の状態があまり良くないときは、「微調整」を行います。（☞40ページ）

誤ってチャンネルを飛ばしたときに再び記憶するには

❶「不要な放送局を受信できないようにする」の手順 **1** から **3** までを行う
❷ ▲/▼ ボタンを押し、受信したい放送局を選ぶ
❸ **記憶**ボタンを押す
❹ **メニュー**ボタンを押し、メニュー操作を終了する

お願い

- 放送局を新たに記憶させたときは、その放送局のガイドチャンネルも設定してください。（☞44ページ）

ガイドチャンネルを設定する

G コード予約するためのチャンネルを設定する

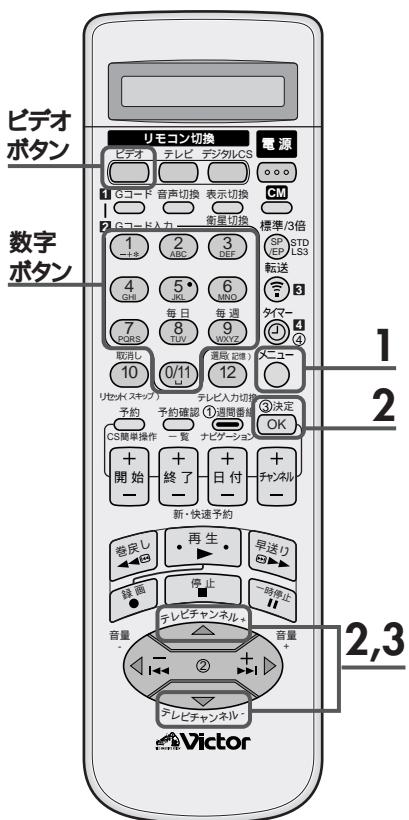
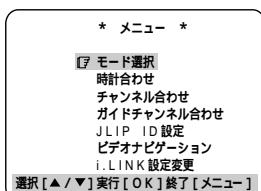
ガイドチャンネルが正しく設定されていないと、Gコードによる録画の予約ができなくなります。
次のような操作をされたときは、ガイドチャンネルを設定し直す必要があります。

● 受信チャンネルをひとつずつ設定したとき
● 「一括チャンネル合わせ」(☞32 ページ)のあとで、新たな放送局を追加したとき
● チャンネル表示を変えたとき

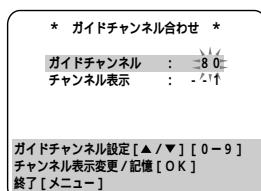
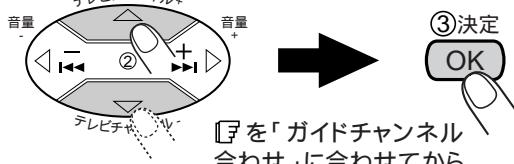
準備
● テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
● リモコンのビデオボタンを押します。

例：テレビ神奈川のチャンネル表示番号を42チャンネルに変えたとき

1 「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
i.LINK設定変更
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 「ガイドチャンネル合わせ」画面を表示させる

☞を「ガイドチャンネル合わせ」に合わせてから、

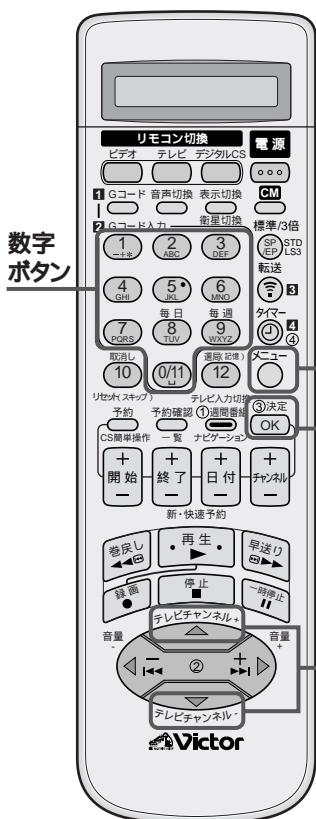
＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
ガイドチャンネル ： 80
チャンネル表示 ： 1
ガイドチャンネル設定［▲／▼］［0－9］
チャンネル表示変更／記憶［OK］
終了［メニュー］

現在受信している放送局の設定が表示されます

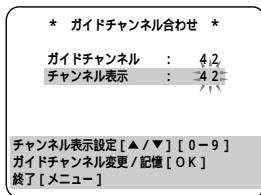
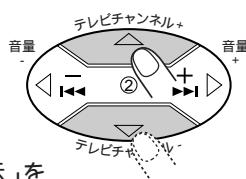
・ガイドチャンネルとは、G コード予約で放送局を正しく受信するために付けられた、その放送局専用の番号です。実際のチャンネルとは異なることがありますのでご注意ください。

・ガイドチャンネルやチャンネル表示を変更するときは、数字ボタン（0 ～ 9）を使うこともできます。
例：「10」と入力するには、1 と 0 を押す。
例：「102」と入力するには、1と 0 と 2 を押す。

3 設定したい放送局のガイドチャンネル番号を選ぶ

● この例では、テレビ画面の「ガイドチャンネル」欄に「42」を表示させます。実際に設定するときは、☞46ページのガイドチャンネル一覧表をご覧ください。

＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
ガイドチャンネル ： 42
チャンネル表示 ： 11
ガイドチャンネル設定［▲／▼］［0－9］
チャンネル表示変更／記憶［OK］
終了［メニュー］

4 設定したい放送局のチャンネル表示番号を選ぶ

● この例では、「42」を選びます。

5 変更を確定する

6 他の放送局もガイドチャンネルを設定するときは、手順の3から5をくり返す

7 メニュー操作を終了する

設置と準備

G コードインフォのガイドチャンネルを設定する

G コードインフォとは、近い将来に始められる放送（「0」から始まる G コードが使われます。）です。その放送を G コードを使って録画予約するためには、G コードインフォのためのガイドチャンネルを設定する必要があります。
同一ネットワーク内の放送局には、すべて同じ G コードインフォのガイドチャンネルが割り当てられます。

録画予約の方法は G コード録画予約(☞58 ページ)と同じです。
ただし、**G コードインフォのサービスが始まるまで使用できません。**

Gコードインフォの設定のしかたは、各放送局のガイドチャンネルの設定の方法と同じです。
前ページの手順**3**で、△ または ▽ ボタン、あるいは数字ボタン（0 ～ 9）を押し、「102」～「106」（G コードインフォのガイドチャンネルは 3 桁の番号）を選ぶと、テレビ画面の表示が「ガイドチャンネル」から「インフォチャンネル」に変わります。

G コードインフォのガイドチャンネル

TBSテレビ系	日本テレビ系	フジテレビ系	テレビ朝日系	テレビ東京系
102	103	104	105	106

ガイドチャンネル一覧表

区分	放送局	ガイドチャンネル
全国共通	NHK総合	80
	NHK教育	90
	BS1	71
	BS3	72
	BS5　ＷＯＷＯＷ	73
	BS7　NHK衛星第1	74
	BS9　ハイビジョン放送	75
	BS11 NHK衛星第2	76
	BS13	77
	BS15	78

区分	放送局	ガイドチャンネル
CATV／CS放送	日本テレビケーブルニュース	40
	CSN1ムービーチャンネル	49
	チャンネルNECO	50
	ゴルフネットワーク	51
	CNN	81
	VIBE	82
	スター・チャンネル	83
	スペースシャワーTV	84
	スポーツ・アイ	85
	衛星劇場	86
	GAORA（ガオラ）	87
	ホームチャンネル	88
	スカイ・A	89
	BBC	91
	ファミリー劇場	92
	スーパーチャンネル	93
	ザ・ゴルフ・チャンネル	94
	朝日ニュースター	99

●北海道・東北

地域	放送局	ガイドチャンネル
北海道	北海道放送（HBC）	1
	札幌テレビ（STV）	5
	テレビ北海道（TVH）	17
	北海道文化（UHB）	27
	北海道テレビ（HTB）	35
青森	青森放送（RAB）	1
	青森朝日（ABA）	34
	青森テレビ（ATV）	38
岩手	岩手放送（IBC）	6
	岩手朝日（IAT）	20
	めんこい（MIT）	33
	テレビ岩手（TVI）	35
秋田	秋田放送（ABS）	11
	秋田朝日（AAB）	31
	秋田テレビ（AKT）	37
宮城	東北放送（TBC）	1
	仙台放送（OX）	12
	東日本放送（KHB）	32
	宮城テレビ（MMT）	34
山形	山形放送（YBC）	10
	さくらんぼテレビ（SAY）	30
	テレビユー山形（TUY）	36
	山形テレビ（YTS）	38
福島	福島テレビ（FTV）	11
	テレビユー福島（TUF）	31
	福島中央（FCT）	33
	福島放送（KFB）	35

●関東・甲信越

地域	放送局	ガイドチャンネル
関東	日本テレビ（NTV）	4
	TBSテレビ（TBS）	6
	フジテレビ（CX）	8
	テレビ朝日（ANB）	10
	テレビ東京（TX）	12
	東京メトロポリタン（MXテレビ）	14
	放送大学	16
	テレビ埼玉（TVS）	38
	テレビ神奈川（TVK）	42
	千葉テレビ（CTC）	46
	群馬テレビ（GTV）	48
	とちぎテレビ（TTV）	23
新潟	新潟放送（BSN）	5
	新潟テレビ21（NT21）	21
	テレビ新潟（TNN）	29
	新潟総合（NST）	35
長野	信越放送（SBC）	11
	長野朝日（ABN）	20
	テレビ信州（TSB）	30
	長野放送（NBS）	38
山梨	山梨放送（YBS）	5
	テレビ山梨（UTY）	37

●中部

地域	放送局	ガイドチャンネル
静岡	静岡放送（SBS）	11
	静岡第一（SDT）	31
	静岡朝日テレビ(SATV)	33
	テレビ静岡（SUT）	35
中京	東海テレビ（THK）	1
	中部日本放送（CBC）	5
	名古屋テレビ（NBN）	11
	テレビ愛知（TVA）	25
	三重テレビ（MTV）	33
	中京テレビ（CTV）	35
	岐阜放送（GBS）	37
富山	北日本放送（KNB）	1
	チューリップTV（TUT）	32
	富山テレビ（T34）	34
石川	北陸放送（MRO）	6
	北陸朝日（HAB）	25
	テレビ金沢（KTK）	33
	石川テレビ（ITC）	37
福井	福井放送（FBC）	11
	福井テレビ（FTB）	39

●関西・中国

地域	放送局	ガイドチャンネル
関西	毎日放送（MBS）	4
	朝日放送（ABC）	6
	関西テレビ（KTV）	8
	読売テレビ（YTV）	10
	テレビ大阪（TVO）	19
	テレビ和歌山（WTV）	30
	びわ湖放送（BBC）	30
	京都テレビ（KBS）	34
	サンテレビ（SUN）	36
	奈良テレビ（TVN）	55
岡山	西日本放送（RNC）	9
	山陽放送（RSK）	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送（KSB）	33
	岡山放送（OHK）	35
広島	中国放送（RCC）	4
	広島テレビ（HTV）	12
	テレビ新広島（TSS）	31
	広島ホーム（HOME）	35
鳥取島根	日本海テレビ（NKT）	1
	山陰放送（BSS）	10
	山陰中央（TSK）	34
山口	山口放送（KRY）	11
	山口朝日（YAB）	28
	テレビ山口（TYS）	38

●四国

地域	放送局	ガイドチャンネル
香川	西日本放送（RNC）	9
	山陽放送（RSK）	11
	テレビせとうち(TSC)	23
	瀬戸内海放送（KSB）	33
	岡山放送（OHK）	35
愛媛	南海放送（RNB）	10
	あいテレビ（ITV）	29
	愛媛放送（EBC）	37
徳島	四国放送（JRT）	1
高知	高知放送（RKC）	8
	テレビ高知（KUTV）	38
	さんさんテレビ（KSS）	40

●九州

地域	放送局	ガイドチャンネル
福岡	九州朝日（KBC）	1
	RKB毎日（RKB）	4
	テレビ西日本（TNC）	9
	TXN九州（TVQ）	19
	福岡放送（FBS）	37
大分	大分放送（OBS）	5
	大分朝日（OAB）	24
	テレビ大分（TOS）	36
佐賀	サガテレビ（STS）	36
長崎	長崎放送（NBC）	5
	長崎国際（NIB）	25
	長崎文化（NCC）	27
	テレビ長崎（KTN）	37
熊本	熊本放送（RKK）	11
	熊本朝日（KAB）	16
	熊本県民（KKT）	22
	テレビ熊本（TKU）	34
宮崎	宮崎放送（MRT）	10
	テレビ宮崎（UMK）	35
鹿児島	南日本放送（MBC）	1
	鹿児島読売テレビ(KYT)	30
	鹿児島放送（KKB）	32
	鹿児島テレビ（KTS）	38
沖縄	沖縄テレビ（OTV）	8
	琉球放送（RBC）	10
	琉球朝日（QAB）	28

時計合わせ

日付と時刻を設定する

お買い上げ時には時計は設定されていません。はじめに正しい日付と時刻を設定してください。

準備

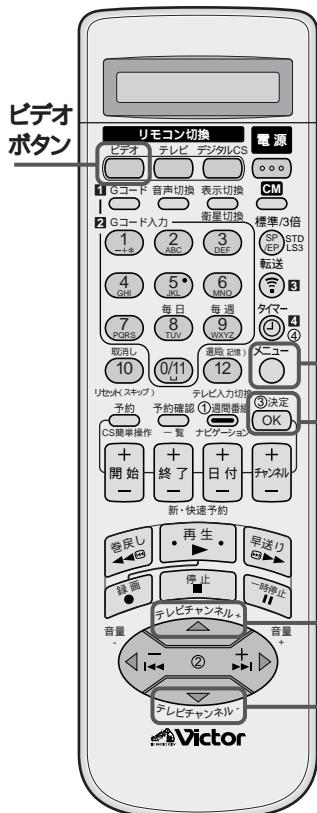
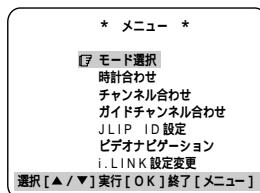
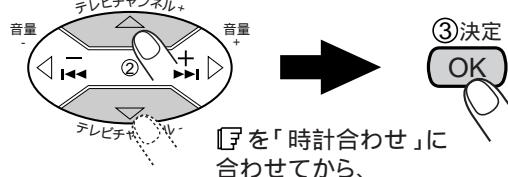
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。(本機からの映像をテレビ画面に映します。)
- リモコンのビデオボタンを押します。

例:2000年12月24日、午後8時30分に合わせる

1 メニュー画面を表示させる

＊ メニュー ＊
モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
i.LINK設定変更
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

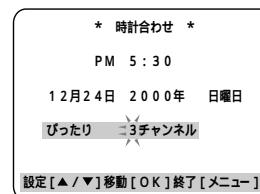
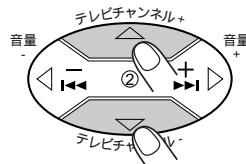
2 「時計合わせ」画面を表示させる

☞を「時計合わせ」に合わせてから、

＊ 時計合わせ ＊
AM --:--
1月 1日 1999年
ぴったり 3チャンネル
設定 [▲/▼] 移動 [OK] 終了 [メニュー]

3 時刻と日付を合わせる

① ▲/▼ボタンを押し、時刻を合わせてから、OKボタンを押す
▲/▼ボタンを押し続けると、30分単位で早く変わります。

② ▲/▼ボタンを押し、日付を合わせてから、OKボタンを押す
▲/▼ボタンを押し続けると、15日単位で早く変わります。

③ ▲/▼ボタンを押しし、西暦を合わせてから、OKボタンを押す
▲/▼ボタンを押し続けると、1年単位で早く変わります。

＊ 時計合わせ ＊
PM 5:30
12月24日 2000年 日曜日
ぴったり 3チャンネル
設定 [▲/▼] 移動 [OK] 終了 [メニュー]

4 ぴったりクロックのチャンネルを選ぶ

- 「一括チャンネル合わせ」(☞32ページ)を行ったあとは、自動的に設定されています。
- 自分で選ぶときは、NHK教育テレビを選びます。

5 時計合わせを終了する

メニュー

メニューボタンを押すと時計が動き始めます。

- 正確に合わせたいときは時報に合わせて、メニューボタンを押してください。

- ぴったりクロックは、自動的にテレビの時報に合わせて本機に内蔵されている時計を修正する機能です。NHK教育テレビの時報(7時、12時、19時)に合わせます。
- 次のようなときは、ぴったりクロックは働きません。
  - 時報が放送されていないとき
  - 本機の電源が入っているとき
  - 現在時刻とのずれが±3分以上あるとき
  - 時報のバックに音楽が入っているとき

使用するテープと記録方式

録画について

テープの種類	記録方式		
	D-VHS	S-VHS	VHS
D-VHS	○	○	○
S-VHS	×	○	○
VHS	×	○	○

（○：記録可能　×：不可）

- 本機は、D-VHS（MTP）方式、S-VHS方式、VHS方式で記録することができます。
- D-VHS記録をするときは、D-VHSテープをお使いください。
- S-VHS/VHS記録をするときは、D-VHSテープ、S-VHSテープ、VHSテープのどれでもお使いになれます。

D-VHSテープの最長記録時間

LS3 モードでの記録時間は、STD モードの 3 倍ぶんあります。

D-VHSテープ	D-VHS記録		S-VHS/VHS記録	
	STDモード	LS3モード	標準（SP）モード	3倍（EP）モード
DF-480※	8時間（480分）	24時間（1440分）	4時間（240分）	12時間（720分）
DF-420	7時間（420分）	21時間（1260分）	3.5時間（210分）	10.5時間（630分）
DF-300	5時間（300分）	15時間（ 900分）	2.5時間（150分）	7.5時間（450分）
DF-240	4時間（240分）	12時間（ 720分）	2時間（120分）	6時間（360分）

※ 2000 年春発売予定です。

D-VHSテープにS-VHS記録する場合

1. 本体のD-VHSボタンを押して、STDまたはLS3ランプを消灯させます。
2. メニューのモード選択の「S-VHS テープ記録」が「S-VHS」になっていることを確認してください。お買い上げ時は、「S-VHS」に設定されていますので、操作不要です。操作のしかたは、☞89ページをご覧ください。

D-VHSテープにVHS記録する場合

1. 本体のD-VHSボタンを押して、STDまたはLS3ランプを消灯させます。
2. メニューのモード選択の「S-VHSテープ記録」を「VHS」にしてください。操作のしかたは、☞89ページをご覧ください。

S-VHSテープにVHS記録する場合

メニューのモード選択の「S-VHSテープ記録」を「VHS」にしてください。操作のしかたは、☞89ページをご覧ください。

VHSテープにS-VHS記録する場合

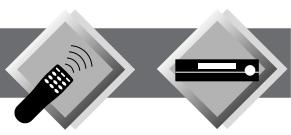
本体の S-VHS ET ボタンを押すと、S-VHS ET ランプが点灯し、S-VHS 記録できます。くわしくは、☞83ページをご覧ください。

再生について

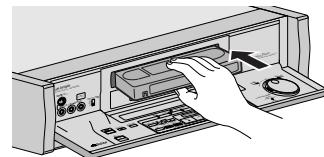
- 本機は、D-VHS（MTP）方式、S-VHS方式、VHS方式で記録されたテープを再生することができます。
- 本機は、記録方式（D-VHS、S-VHS、VHS）を自動的に判別してテープを再生します。

ビデオを見る

ビデオテープを再生してみましょう。

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（☞10～18ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 テープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をしています。ビデオナビゲーションについては、☞64ページをご覧ください。
- つめのないカセットを入れると、自動的に再生が始まります。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2

再生が始まります。

再生をやめる

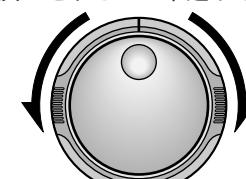
再生中に

早送り / 巻戻しをする

停止中に

早送りするときは：

巻戻しするときは：

- 本体のシャトルリングを使って、早送り / 巻戻しもできます。

巻戻しをする　早送りをする

早送り／巻戻しをやめるには、停止（■）ボタンを押します。

- 再生中や早送り中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- メニューの「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、再生するテープに合わせて、最適な映像をお楽しみいただけます。（☞84ページ）

映像を見ながら早送り/巻戻しする（シャトルサーチ）

D-VHS の STD モードでは 12 倍速、LS3 モードでは 36 倍速で再生します。
S-VHS/VHS の標準モードでは 11 倍速、3 倍モードでは 31 倍速で再生します。

再生中に

早送りをするときは：

巻戻しをするときは：

通常の再生に戻すには、再生（▶）ボタンを押します。
● ボタンを 2 秒以上押し続けると、押している間、早送り / 巻戻しされます。
指を離すと通常の再生に戻ります。

ご注意

• シャトルサーチ中、一時停止中は音声が出ません。
• 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。
• 他の機器で D-VHS 記録したテープをシャトルサーチすると、静止画になることがあります。

MEMO

• 一時停止（静止画再生）が 5 分以上続くと、本機は自動的に停止します。
• 一時停止（静止画再生）中には、コマ送りができます。
詳しくは、「コマ送りやスローで再生する」（☞78 ページ）をご覧ください。

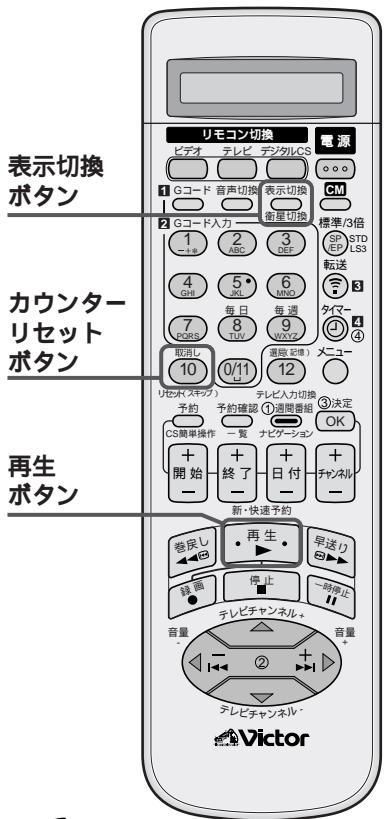
再生を一時停止する

再生中に

再生が一時停止されて、静止画がテレビ画面に映ります。
通常の再生に戻すには、再生（▶）ボタンを押します。

テープを取り出す

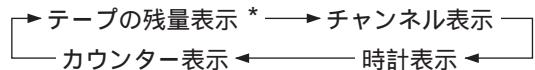
本体のボタンでのみ操作できます。

停止中に

テープの残り時間を調べる

本体の表示窓やテレビ画面に表示されているカウンターの表示を切り換えてテープ残量を表示させます。

再生または録画中

押すたびに、表示窓の表示が次のように切り換わります。
＊ テープの残量は少しの間テープを走行させないと表示されません。

テープの残量表示＊ → チャンネル表示 → 時計表示 → カウンター表示 →

カウンターをリセットするには

本体の表示窓やテレビ画面のカウンターが「0:00:00」に戻ります。

- テープの残量表示は、目安の時間であり、現在選ばれている録画スピードで計算されます。
- 使用されているテープによっては、テープの残量が正しく表示されないことがあります。
- カウンターや残量表示などをテレビ画面に出したくないときは、メニューで「オンスクリーン」を「切」にしてください。（☞87ページ）
- テープの残量を計算中は、カウンターの表示が「ーー：ーー」になったり、点滅したりすることがあります。

ご注意

- 電源プラグを抜き差ししたり、停電があったときは、

  カウンターが「0:00:00」、テープ残量が「ーー：ーー」になります。

テープを繰り返し再生する（リピート再生）

（5秒以上押し続ける）

途中で止めるには、停止（■）ボタンを押します。

- 本体の表示窓の「▷」が点滅して、テープの再生を 50 回繰り返します。
- D-VHS の LS3 モードでは、リピート再生できません。

基本操作

S-VHS/VHS で記録したテープを再生中に、映像が上下に揺れるときは

メニューのモード選択で「Vスタビライズ」（ビデオスタビライザー）を「入」にしてください。
（☞89 ページ参照）
映像の上下の揺れが補正されます。

テープを見終わったあとは、必ず「V スタビライズ」を「切」に戻してください。

- D-VHSモード、録画中、スロー再生中は、効果はありません。

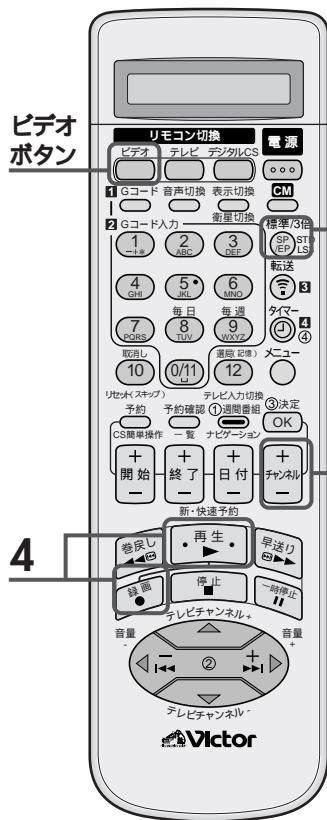
前ページへ	[2/3]
オンスクリーン	オート
S-VHSテープ記録	S-VHS
Vスタビライズ	入
ブルーバック	入
ミックス音声	切
二カ国語音声録音	主
BS独立音声	切
次ページへ	

選択［▲/▼］ 設定［OK］ 終了［メニュー］

番組を録画する

録画する

録画を始めると、自動的に録画の始めにインデックスマーク（VISS：VHS Index Search System）（☞76ページ）と呼ばれる信号が記録されます。
デジタルCSチューナーの番組を録画するときは、☞54ページをご覧ください。

準備

- リモコンの準備、テレビと本機の接続、チャンネルの設定が終わっていないときは、先に「設置と準備」編(☞10～47ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。
- BSデコーダーを接続してお使いのときは、☞24ページをご覧ください。

1 つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をしています。
  ビデオナビゲーションについては、☞64ページをご覧ください。
- D-VHSテープを入れると、本体のSTDまたはLS3ランプが点灯し、D-VHS記録できます。
- S-VHS/VHSテープを入れると、本体表示窓のSP（標準）またはEP（3倍）表示が点灯し、S-VHS/VHS記録できます。
- 使用するテープと記録方式については、☞48ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 録画する番組を選ぶ

- 本体のチャンネル＋/－ボタンでも操作できます。

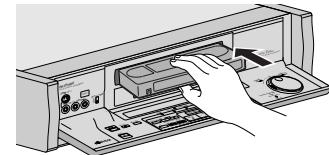
3 録画スピードを選ぶ

- 押すたびに、録画スピードが「STD(標準)」と「LS3（3倍)」に切り換わります。
  STD（標準）：画質を重視するとき
  LS3（3倍）：3倍長く録画するとき

4 録画を始める

を押しながら

- 本体の録画（●）ボタンでも操作できます。
  このときは、再生（▶）ボタンを押す必要はありません。

ご注意

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをして、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一本機およびテープ等の不具合により、正常に録画・録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

リモコンの数字ボタン（0～9）でチャンネルを選ぶときは

① リモコンのビデオボタンを押す。
② 数字ボタン（**0**～**9**）を押す。
例：4チャンネルを選ぶときは4を押す。
例：10チャンネルを選ぶときは1、0と続けて押す。
例：外部入力を選ぶときは0を押す。強制的に「L-1」入力に切り換わります。

- BSチャンネルは、数字ボタンでは選べません。

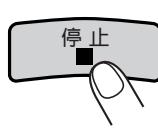
- 一時停止が5分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 録画中にテープの終わりまでくると、自動的にテープは巻き戻されます。
- ワンタッチタイマー録画中にテープの終わりまでくると、自動的にテープが出て、電源が切れます。
- ワンタッチタイマー録画中に、録画予約した時間と重なったときは、ワンタッチタイマー録画が優先されますのでご注意ください。
- 二カ国語放送の主音声と副音声の両方の音を録音したいときは、メニューで「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。(☞89ページ)
- 録画と録画のつなぎ部分で映像が乱れることがありますが、故障ではありません。
- メニューの「テープレベルアップ」が「入」になっているときは、録画するテープの品質レベルを測定して最適な画質で録画します。詳しくは「最適な画質で録画・再生をする」をご覧ください。(☞84ページ)
- VHSテープにS-VHSの画質で録画することができます(S-VHS ET)。詳しくは、「VHSテープにS-VHSの画質で録画する」(☞83ページ)をご覧ください。

録画を一時停止する

録画中に

録画が一時停止されます。
再び録画を始めるには、再生(▶)ボタンを押します。

録画をやめる

録画中に

録画時間を設定する（ワンタッチタイマー録画）

録画中に録画時間を設定できます。録画が終わると自動的に停止し、電源が切れます。

録画中に

本体のボタン

押すたびに、録画時間(最長8時間まで)が30分単位で延長されます。表示窓に録画時間が表示さます。

録画を途中でやめるには、停止（■）ボタンを押します。

録画中に別の番組を見る（裏番組録画）

録画中に別の番組を見ることができます。録画には影響しません。

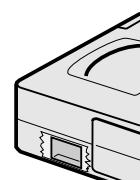
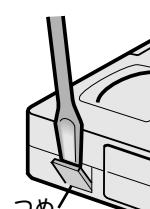
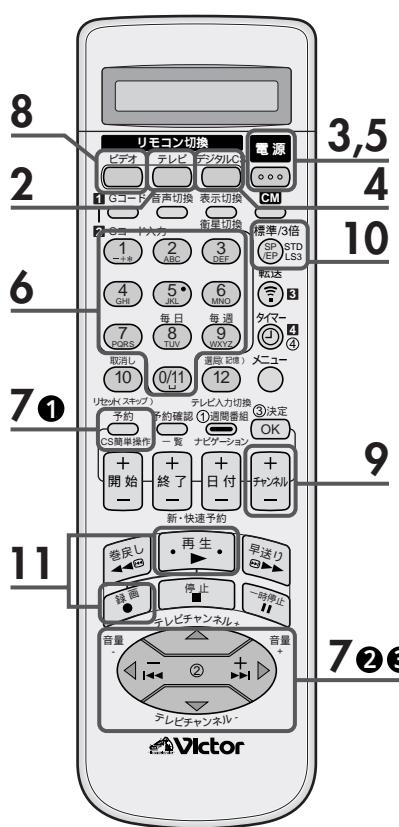
● BS放送を録画中に別のBS番組を見ることはできません。ただし、お手持ちのテレビがBSテレビ（BS内蔵）のときは、本機で録画中に、BSテレビで他のBS番組を見ることができます。

1. テレビの電源を入れる

2. テレビで見たい番組を選ぶ

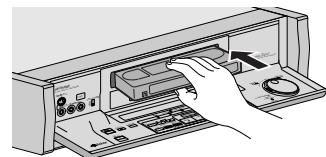
誤消去を防止するために

大切な記録を誤って消したくないときは、つめ(誤消去防止用)を折って取り除いてください。セロハンテープを二重に貼って穴をふさぐとふたたび録画できます。

基本操作

デジタル CS チューナーと接続して録画する

準備

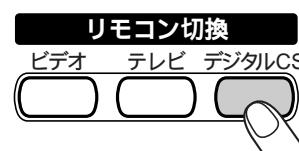
- ☞19ページの接続方法をご覧になり、本機とデジタル CS チューナー、テレビを接続してください。
- ☞52ページの「準備」の操作をしてください。

1 つめのついたテープを入れる

- 本機の電源が自動的に入ります。
- 表示窓のカウンターが「0:00:00」になります。
- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をしています。ビデオナビゲーションについては、☞64ページをご覧ください。
- 使用するテープと記録方式については、☞48ページをご覧ください。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 リモコン切換の「テレビ」ボタンを押す

3 テレビの電源を入れ、テレビの入力を本機をつないだ入力にする

4 リモコン切換の「デジタルCS」ボタンを押す

5 電源ボタンを押して、デジタルCSチューナーの電源を入れる

6 録画したいデジタルCS放送のチャンネルを選ぶ

●例： 210 チャンネルを選ぶときは 2、1、0 と続けて押す。

i.LINK対応デジタルCSチューナーで受信した番組を予約するときは、デジタルCSチューナー側で予約します。
くわしくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、録画スピードのみ、メニューの「EPG録画」で「標準（STD）」または「3倍（LS3）」を設定してください。（☞89, 91ページ）

- デジタル CS チューナーの詳しい操作方法については、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。
- 一時停止が 5 分以上続くと、本機は自動的に停止します。
- 本機はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)のコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを許可されていない番組は録画することができません。DTLA について詳しくは、デジタル CS チューナーの取扱説明書をご覧ください。

7 デジタルCSチューナーで、本機をLINC(リンク)する

● 本機とi.LINK対応デジタルCSチューナーは、接続しただけでは操作できません。必ずデジタルCSチューナーで本機をLINC(☞113ページ)してください。

本機のリモコンを使う場合は、

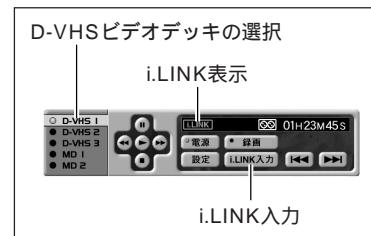
❶ CS 簡単操作ボタンを押す。
簡単操作パネルを表示します。

❷ ▶ ボタンを押して、i.LINK を選び、決定ボタンを押す。
コントロールパネルを表示します。

❸ ▲/▼/◀/▶ ボタンを押して、操作したい D-VHS ビデオデッキ（本機）を選び、決定ボタンを押す。
i.LINK 表示が点灯し、LINC されます。

- i.LINK 表示が点灯しないときは、
① ▲/▼/◀/▶ボタンを押して、i.LINK入力を選ぶ。
② 決定ボタンを押す。

コントロールパネル表示

- デジタルCSチューナーに付属のリモコンを使って操作する場合は、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

8 リモコン切換の「ビデオ」ボタンを押す

9 チャンネル＋/－ボタンを押してチャンネルを選ぶ

● STD モードで記録する場合は、デジタル CS チューナーの i.LINK 機器番号（I-1 など）を選びます。
● LS3 モードで記録する場合は、「L-1」を選びます。アナログ信号をデジタル信号に変換して記録します。
● S-VHS/VHS 記録する場合は、「L-1」を選びます。

10 録画スピードを選ぶ

● 押すたびに、録画スピードが「STD(標準)」と「LS3（3 倍)」に切り換わります。
STD（標準）：画質を重視するとき
LS3（3 倍）：3 倍長く録画するとき

11 録画を始める

を押しながら

● 本体の録画(●)ボタンでも操作できます。このときは、再生(▶)ボタンを押す必要はありません。

MEMO

- 下のようなときは手順 **7** の操作をしてください。
❶ i.LINKコードを抜き差ししたとき
❷ 停電があったとき
❸ 他の i.LINK 端子付き機器で LINC したとき
- コントロールパネルを消したいときは、本機のリモコンのCS簡単操作ボタンを 2 回押します。

ご注意

- 手順 **9** で、「I-1など」のチャンネルを選んだとき、デジタルCSチューナー側の画面表示（チャンネル、メニュー画面など）を見ることはできません。
画面表示を見たいときは、録画する前に、本機のチャンネル＋/－ボタンで「L-1」にしてください。画面表示確認後は、録画したいチャンネル（I-1など）に切り換えてから録画してください。
また、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。
- 「L-1」チャンネルでは、デジタル CS チューナー側の画面表示がそのまま記録されますので、録画中は、デジタルCSチューナー側の操作はしないでください。
- D-VHS テープに i.LINK 端子からの信号をデジタル録画するときは、ビクター製デジタル CS チューナー（TU-VCS1）のコントロールパネルを表示したままにしていても、コントロールパネルは録画されません。ただし、アナログ録画するときは、コントロールパネルを表示したままにしておくと、コントロールパネルも一緒に録画されます。

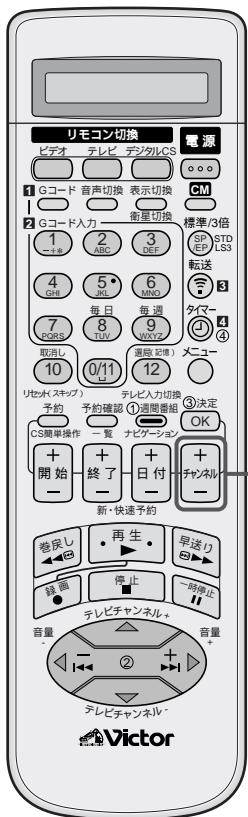
BS 放送の番組を見る

お買い上げ時には、BS放送のチャンネルはBS5、7、9、11が映るようになっています。

- BS5 チャンネルは JSB（日本衛星放送株式会社）が WOWOW を、SDAB（衛星デジタル音楽放送株式会社）が St.GIGA を有料放送しています。受信するには、それぞれの会社との契約を結ぶ必要があります。また、専用の BS デコーダーが必要になります。（☞24 ページ参照）
- BS9チャンネルはハイビジョン放送をしています。本機でハイビジョン放送をお楽しみいただくには、MUSE-NTSCコンバーターが必要になります。（☞28 ページ参照）

BS 放送の番組を見る

準備

- BS アンテナと本機の接続が終わっていないとき、接続後に「BS アンテナ電源の設定」と「BSアンテナの向きの調節」が終わっていないときは、先に「設置と準備」編（☞20〜23ページ）をご覧ください。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 BS放送のチャンネルを選ぶ

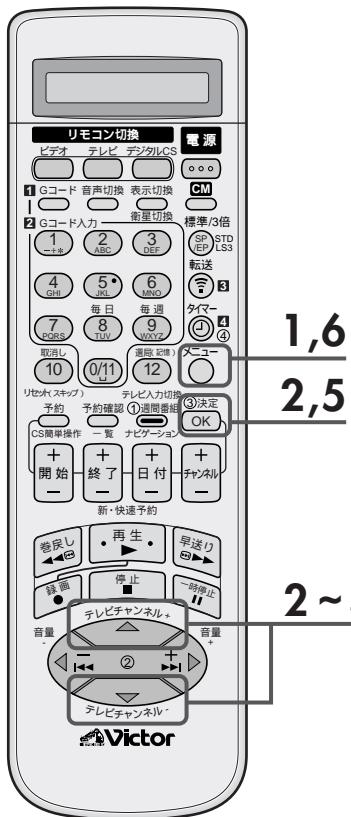
- 本体のチャンネル＋ / －ボタンでも操作できます。
- BS チャンネルは、数字ボタンでは選べません。

- BS デコーダーを接続してお使いのときは、☞25ページの操作方法も合わせてご覧ください。

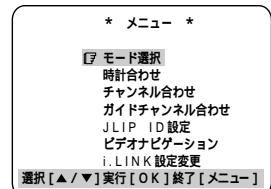
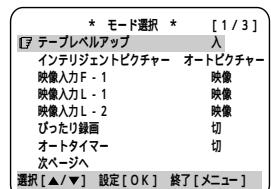
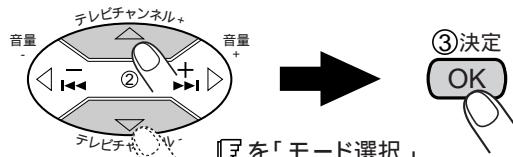
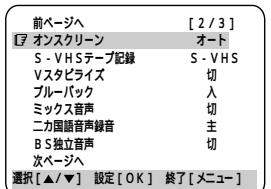
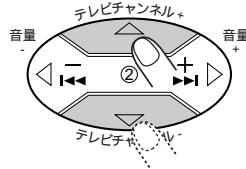
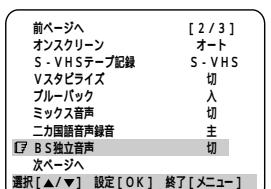
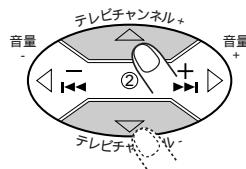
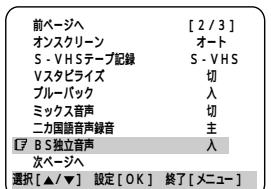
BS 放送の独立音声を聞く

Aモード音声で放送されているBSの番組のテレビ音声と独立音声を切り換えます。

BS 放送の音声について

BS 放送の音声には、A モード（FM 放送以上の音質）とBモード（CDと同等の音質）があり、番組ごとに適した音声で放送されています。
A モード放送のときは、番組（映像）の内容に合った音声以外に、番組と全く関係のない独立音声を放送することができます。
BS5チャンネルはおもにAモードで放送されており、WOWOW の音声はテレビ音声、St.GIGA は独立音声で放送されています。

お願い

- 独立音声を聞き終わったあとは、「BS 独立音声」を「切」に戻しておいてください。
- St.GIGA などの BS 有料放送の独立音声を聞くときは、BS デコーダーでも音声を切り換えてください。（☞25 ページ参照）

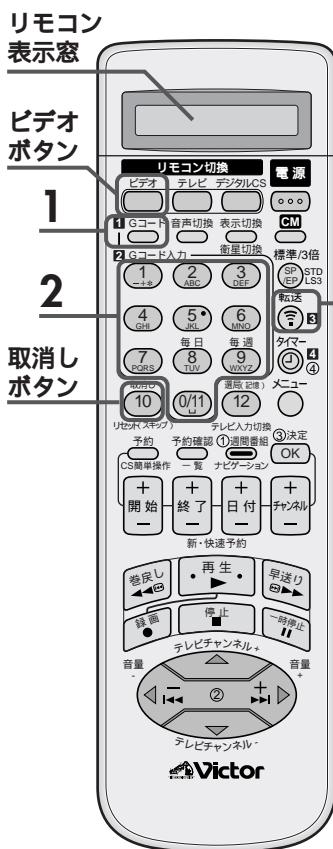
1 「メニュー」画面を表示させる

2 「モード選択」画面を表示させる

3 「モード選択」「2/3」画面を表示させる

4 「BS独立音声」に合わせる

5 「入」にする

- 押すたびに「入」と「切」が切り換わります。

6 メニュー操作を終了する

- メニュー画面が消えます。

G コードを使って録画を予約する

簡単な録画の予約方法です。新聞のテレビ欄などに記載されているGコードを使って録画を予約します。
G コードを使って録画を予約するためには、ガイドチャンネルが正しく設定されている必要があります。もう 1 度、ガイドチャンネルが正しく設定されていることを確認してください。（☞44 ページ）

i.LINK 対応デジタル CS チューナーで受信した番組を予約するときは、デジタル CS チューナー側で予約します。
くわしくは、デジタル CS チューナーの取扱説明書をご覧ください。
本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、録画スピードのみ、メニューの「EPG 録画」で「標準（STD）」または「3 倍（LS3）」を設定してください。**（☞89, 91 ページ）**

準備
- 録画用のテープを入れておきます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。(☞47 ページ)

1 Gコードボタンを押す

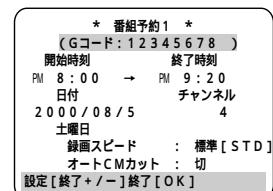
2 Gコード(番組予約番号)を入力する

1234 SP

- Gコードは新聞・雑誌などのテレビ番組欄でお調べください。
- リモコンには、通常 8 桁を入力しますが、0 で始まるGコードのときだけ、9 桁入力することができます。

数字の 0 を入力するときは、0/11 を押します。
番号を間違えたときは、取消しボタン（10）を押します。

- **手順 3** の操作後、「ERROR」と表示されたときは、次の点を確認してください。
  - 番組の開始時刻が過ぎていないか
  - Gコードが正しいか（このときは、Gコードを入力し直します。）
- **手順 3** の操作後、ガイドチャンネル合わせ（または G コードインフォチャンネル合わせ）画面が表示されたときは、予約ボタンを押し、1 度録画予約を中止します。このときは、ガイドチャンネルを設定してから（☞44ページ）、録画予約をやり直してください。

3 Gコードを本体に転送する

- 転送が完了するとテレビ画面に確認画面が表示されます。
  転送時に本体表示窓に「Err」や、テレビ画面に「ERROR」と表示されたときは、左のメモをご覧ください。メッセージが表示されたときには、それにしたがって確認してください。

4 必要に応じて、次の設定をする

録画スピードを変更したいときは

押すたびに、録画スピードが「標準（STD）」と「3倍（LS3）」に切り換わります。

CMカットして録画したいときは

押すたびに、オートCMカットの「入/切」が切り換わります。

- オートCMカットについては、☞82ページをご覧ください。
- ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは

曜日の表示が「毎週」になります。

- もう1度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは（本体表示窓では確認できません）

曜日の表示が「毎日（月～金）」になります。

- もう1度押すと元に戻ります。
- 録画の日付が土曜または日曜のときは設定できません。

録画終了時刻を変更したいときは

押すたびに、録画終了時刻が1分単位で延長（または短縮）されます。押し続けると30分単位で延長（または短縮）されます。

5 予約を終了する

- 続けて、他の番組を予約するときは、手順**1**から**5**をくり返します。

6 本機を録画予約待機の状態にする

表示窓の「⏲」が点灯し、電源が切れます。

これで、録画開始時刻になると自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。

- 別の録画を予約しているときは、表示窓の「⏲」は点灯し続けます。

- Gコードを使って録画予約をしたときは、録画の開始時刻・日付とチャンネル番号は変更できません。変更したいときは☞63ページをご覧ください。
- Gコードで録画の予約をしたときは、実際の番組よりも多少長めに録画されることがあります。
- 「ぴったり録画」（☞90ページ）が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。
また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
- D-VHS記録時は、「ぴったり録画」は働きません。
- 録画チャンネルが外部入力のときは「オートCMカット」の設定はできません。
- 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、☞62ページの予約確認することをおすすめします。

録画を予約する（新・快速録画予約）

録画を予約する

録画したい番組の開始時間、終了時間、チャンネルなどの情報を入力し録画を予約します。

i.LINK 対応デジタル CS チューナーで受信した番組を予約するときは、デジタル CS チューナー側で予約します。くわしくは、デジタル CS チューナーの取扱説明書をご覧ください。本機側で予約の設定は必要ありません。ただし、録画スピードのみ、メニューの「EPG 録画」で「標準（STD）」または「3 倍（LS3）」を設定してください。（☞89, 91 ページ）

準備

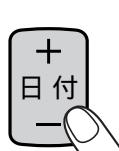
- 録画用のテープを入れておきます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。
- 時計（日付と時刻）を合わせておいてください。（☞47 ページ）

1 「番組予約」画面を表示させる

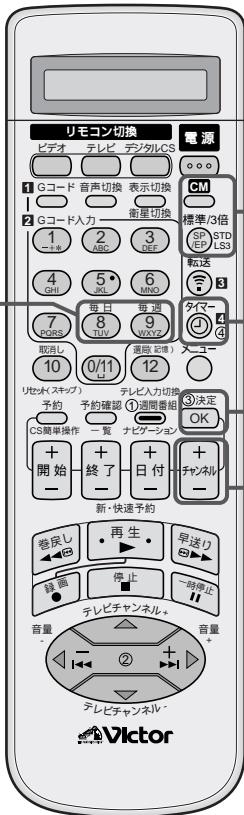
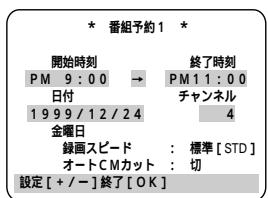
2 録画の開始時刻を設定する

押すたびに、録画の開始時刻が 1 分単位で変わります。押し続けると 30 分位で変わります。

3 録画の終了時刻を設定する

押すたびに、録画の終了時刻が 1 分単位で変わります。押し続けると 30 分単位で変わります。

- すでに予約が 8 予約分登録されていると、予約ボタンを押したときに、本体表示窓に「FULL」、画面に「予約がいっぱいです」と表示されます。
- 最初からやり直したいときは、取消しボタンを押したあとで、手順 **2** からおこなってください。

4 録画の日付を設定する

押すたびに、日付が 1 日単位で変わります。
西暦が来年の表示をしたときは、日付＋ボタンを 1 回押すと、今年の西暦になります。

5 チャンネルを選ぶ

●本機前面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「F-1」を表示させます。
●本機背面の入力端子につないだ機器からの映像を録画するときは、チャンネル欄に「L-1」または「L-2」を表示させます。

6 必要に応じて、次の設定をする

録画スピードを変更したいときは

押すたびに、録画スピードが「標準（STD）」と「3倍（LS3）」に切り換わります。

CM カットして録画したいときは

押すたびに、オート CM カットの「入 / 切」が切り換わります。
●オートCMカットについては、☞82ページをご覧ください。
●ステレオ放送の番組を録画するときは、使わないでください。

同じ番組を毎週録画したいときは

曜日の表示が「毎週」になります。
●もう 1 度押すと元に戻ります。

同じ番組を毎日録画したいときは

曜日の表示が「毎日（月〜金）」になります。
●もう 1 度押すと元に戻ります。
●録画の日付が土曜または日曜のときは設定できません。

• 「ぴったり録画」（☞90ページ）が「入」になっていると、録画スピードを「標準」に設定していても、実際の録画は「3倍」で録画されることがあります。
また、録画の途中で変わったときは、録画スピードの変わり目で映像が乱れます。
• D-VHS記録時は、「ぴったり録画」は働きません。
• 録画チャンネルが外部入力のときは「オート CM カット」の設定はできません。
• 録画予約を確実に行うために、予約設定したあとは、次ページの予約確認することをおすすめします。

7 予約を終了する

「番組予約を完了しました」と表示され、しばらくすると元のテレビ画面に戻ります。

●続けて、他の番組を予約するときは、手順 **1** から **7** をくり返します。

8 本機を予約録画待機の状態にする

表示窓の「◷」が点灯し、電源が切れます。

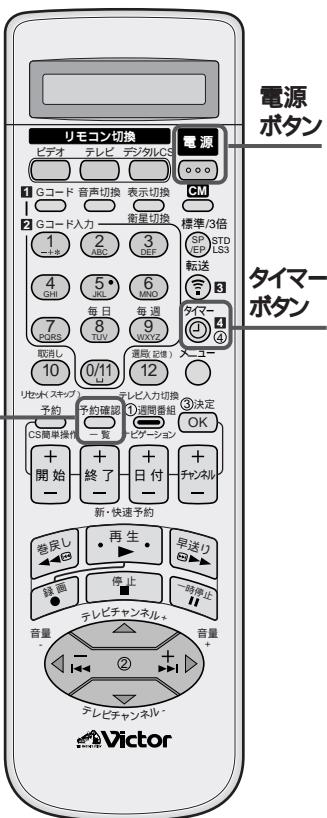
これで、録画開始時刻になると、自動的に録画が始まり、終了時刻になると録画が終わり、電源が切れます。
●別の録画を予約しているときは、表示窓の「◷」は点灯し続けます。

予約録画

予約を確認・変更・取消しをする

予約を確認する

準備

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。（下の「予約した後で本機を使う」を参照）

1 予約の確認画面を表示させる

- 録画予約している全番組が表示されます。

2 予約の確認画面を消す

- 押すたびに、録画予約されている内容が順番に表示されます。全てを表示すると、元のテレビ画面に戻ります。

- 本機の電源が入っていないときは、本体の表示窓で予約を確認することはできません。

予約した後で本機を使う

メニューの「オートタイマー」（☞90ページ）の設定によって、操作のしかたが異なります。

- **メニューの「オートタイマー」が「切」（お買い上げ時の設定）のときは：**
  タイマー（◷）ボタンを押します。録画予約待機が解除されます。（表示窓の「◷」が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を使い終わったら、もう１度**タイマー**（◷）ボタンを押します。
  ふたたび表示窓の「◷」が点灯し、録画予約待機中になります。

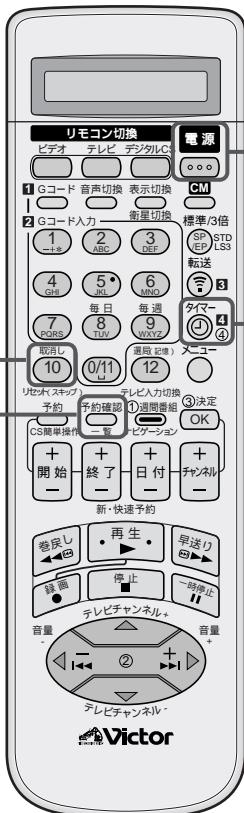
- **メニューの「オートタイマー」が「入」のときは：**
  （リモコンの**ビデオ**ボタンを押したあとで）**電源**ボタンを押すと、本機の電源が入り、録画予約待機が解除されます。（表示窓の「◷」が消えます。）
  これで、本機を通常のように操作することができます。
  本機を操作後、ビデオ電源を切ると、ふたたび表示窓の「◷」が点灯し、録画予約待機中になります。

本機を使い終わったあとは

- 録画用のテープが入っていることを確認してください。
- 表示窓に「◷」が点灯していることを確認してください。

予約を変更・取消しをする

準備

- 本機の電源を入れます。
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。（「予約した後で本機を使う」を参照）

1 表示窓の◷を消す

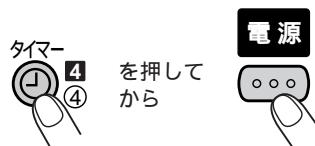
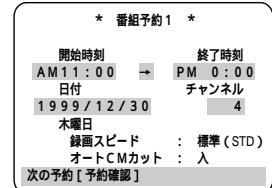
メニューの「オートタイマー」が「切」のとき　メニューの「オートタイマー」が「入」のとき

を押してから

2 予約の確認画面を表示させる

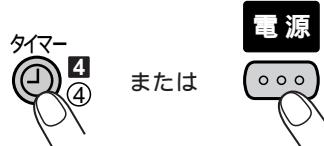
- 「予約を確認する」の手順**1**と**2**をご覧ください。

録画予約を取消したいときは

- 表示中の録画予約が取り消され、次の録画予約の詳細内容が表示されます。

3 必要に応じて、設定を変更する

- 「録画を予約する（新・快速録画予約）」（☞60～61ページ）の手順**2**から**6**を参照してください。

4 予約の変更を終了する

または

表示窓の「◷」が点灯し、電源が切れます。

- 手順**1**で押したボタンと同じボタンを押してください。

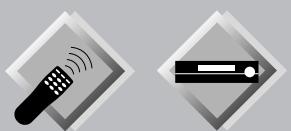
- **予約内容の表示から抜けるには**
  予約確認ボタンを押します。

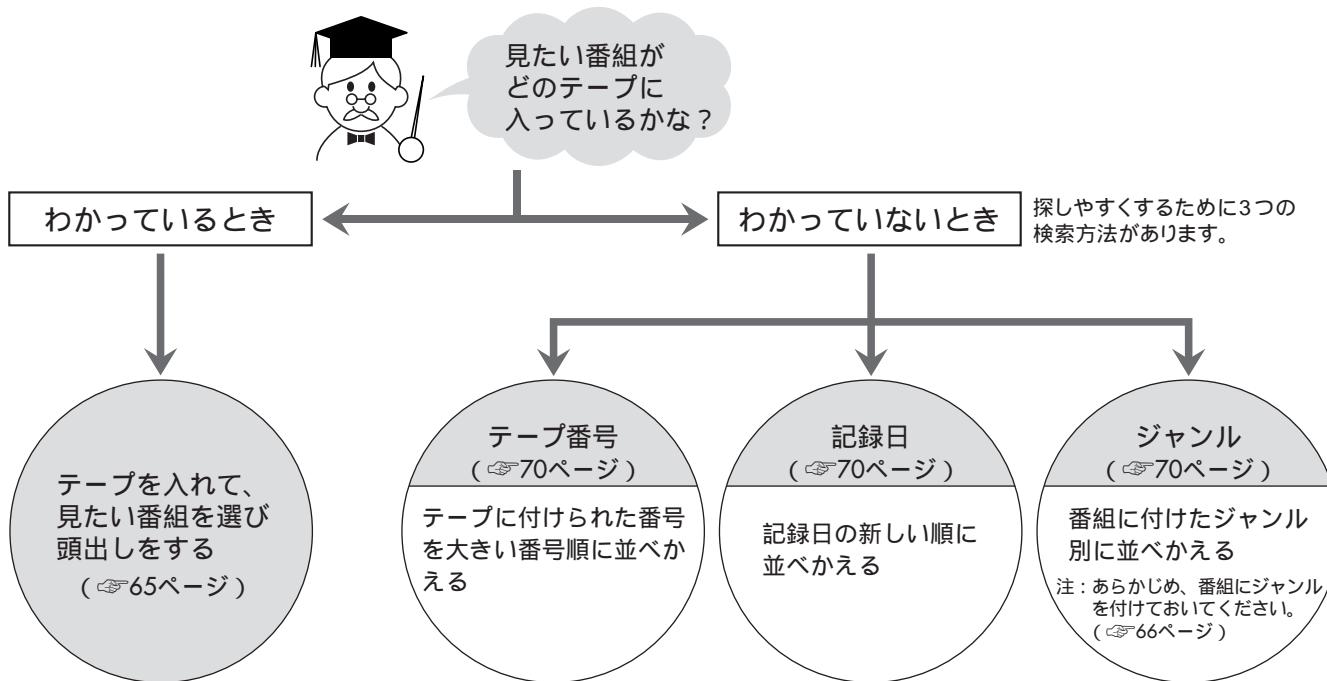
本体の表示窓で録画予約を確認するときは

本機の電源が入っていなくてもできます。

1. 予約確認ボタンを押す
   本体の表示窓には「P1P8」と表示されます。
2. 予約確認ボタンを押して、確認したい予約の録画予約番号を表示させる
   予約確認ボタンを押すたびに「P1」、「P2」と送られます。
3. OKボタンを押して予約内容を表示させる
   OKボタンを押すたびに、表示される内容が次の順番で切り換わります。

開始時刻→終了時刻→日付→チャンネル→オートCMカットの入/切→録画予約番号→開始時刻…

ビデオナビゲーションを使う

ビデオナビゲーションとは

本機で録画すると、テープにテープ番号が付けられ、番組の情報(日付、録画開始時刻、チャンネル、録画スピード)が本機のメモリーに記憶されます。番組情報を画面に表示して、見たい番組の頭出しができます。また、日付などの代わりに、テープや番組に名前を付けたり、番組にジャンルを付けることができます。

次のようなこともできます。

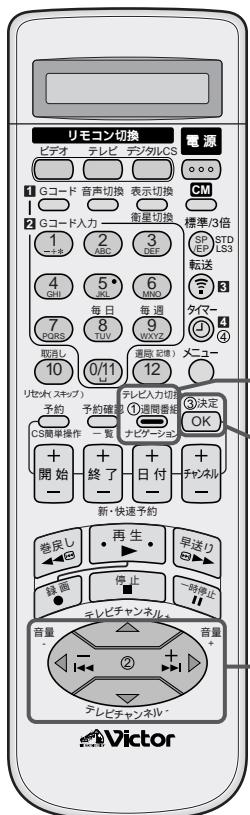
- **テープタイトルや番組タイトルに名前を付けたいとき　：【タイトル変更】(☞66 ページ)**
- **番組にジャンルを付けたいとき　：【ジャンル変更】(☞66 ページ)**
- **本機にメモリーされた番組の情報を消したいとき　：【ライブラリ削除】(☞72 ページ)**

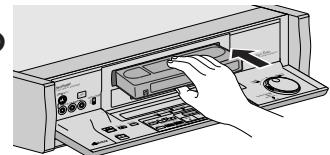
ご注意

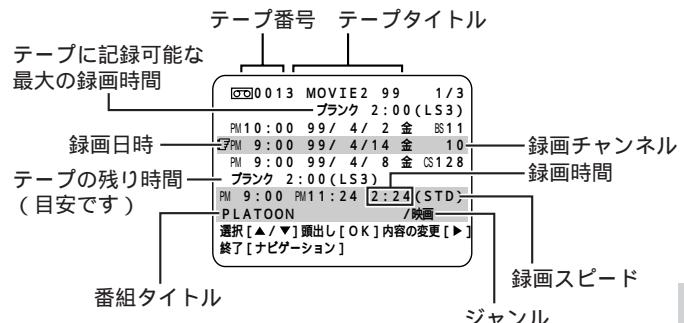
- タイトルとして日付などをメモリーするため、本機で録画する前に、時計合わせをしておいてください。(☞47ページ)
- 見たいテープを探すために、本機で録画したテープには、テープ番号を記載しておいてください。
- 本機で録画したテープのみ、ビデオナビゲーション機能が使えます。
  (別の HM-DR10000 では使えません。)
- 本機のメモリーに番組情報を記録するためには、
  D-VHS 記録（STD）：10 分以上
  D-VHS 記録（LS3）：30 分以上
  S-VHS/VHS 記録（標準）：5 分以上
  S-VHS/VHS 記録（3倍）：15 分以上
  録画してください。
- 使用するテープによっては、ビデオナビゲーション機能が正常に動作しないことがあります。
- 番組情報は本機のメモリーに記憶されます。万一、本機のメモリーが故障して番組情報が消えた場合、復元することはできません。

見たい番組を探す（ナビゲーション検索）

本機で録画したテープに、どのような番組内容が録画されているか今すぐ知りたいときに便利です。見たい番組を選んで、自動的に頭出しする機能です。

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 録画したテープを入れる

- 表示窓の「----」が点滅し、数秒間テープが動き、テープ番号の検索をしています。

テープの見える面を上にし、中央部をゆっくり押します。

2 番組タイトルの画面を表示させる

3 見たい番組を選ぶ

```
0013 MOVIE2 99 1/3
ブランク 2:00 (LS3)
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
PM 9:00 99/ 4/14 金 10
PM 9:00 99/ 4/ 8 金 CS128
ブランク 2:00 (LS3) 3
PM10:00→PM10:54 0:54 (LS3)
タイトル /映画
選択 [▲/▼] 頭出し [OK] 内容の変更 [▶]
終了 [ナビゲーション]
```

4 番組の頭出しをして再生する

- テープ番号がみつからないときは、「----」を表示します。このとき、テープを巻戻し方向へ頭出し再生（☞76ページ）してください。再生が始まったら停止ボタンを押し手順**2**から操作してください。
- 再生または番組の頭出し中などに、1本のテープに2つのテープ番号がみつかると、テープを取り出すときに、テープ番号を1つ（テープ番号の小さいほう）にまとめます。
- 手順**2**で、ナビゲーションボタンを押したとき、テープ内の番組情報を検索しているため、番組タイトル画面を表示するまでに、少し時間がかかることがあります。

テープの空いている部分から録画したいときは

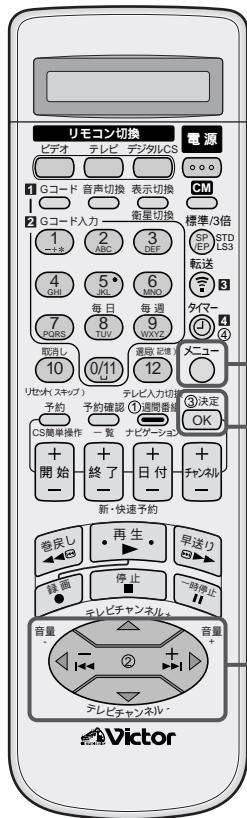
番組と番組を続けて録画しないと、1本のテープに2つのテープ番号が記録されて、正しく番組を検索することができなくなります。テープの空いている部分に続けて録画をするときは、次のようにしてください。

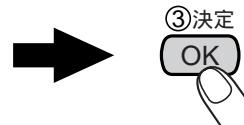
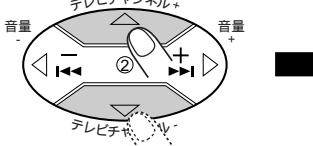
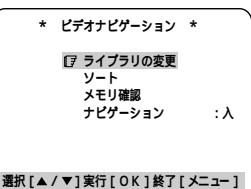
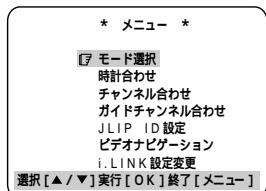
① ▼/▲ボタンを押して、番組タイトル画面の「ブランク」の項目を選びます。
② OKボタンを押します。
　• テープの空いている部分を自動的に探して停止します。
③ 録画をしてよいかを確認し、録画します。

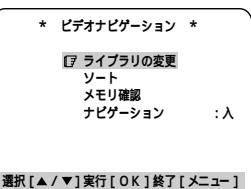
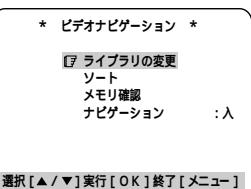
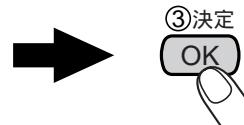
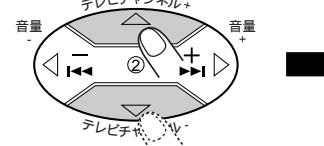
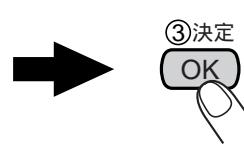
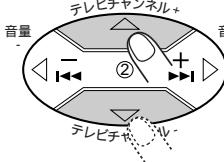
タイトル / ジャンルを変更する（タイトル / ジャンル変更）

**テープタイトルや番組タイトルに名前を付けることができます。
また、番組にジャンルを付けることもできます。**

準備

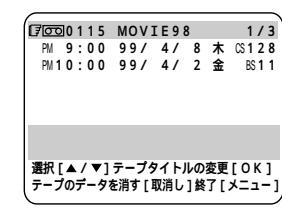
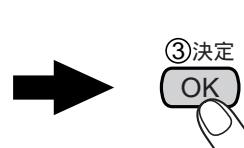
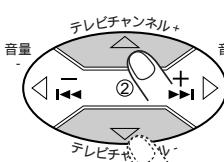
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

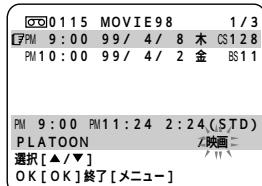
2 「ビデオナビゲーション」画面を表示させる

を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

＊ ビデオナビゲーション ＊
ライブラリの変更
ソート
メモリ確認
ナビゲーション　：入
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

3 「ライブラリの変更」画面を表示させる

ビデオ内に入っているテープのテープ番号に「＊」を表示します。

4 タイトル編集したいテープ番号を選ぶ

を「テープ番号」に合わせてから、

0115 MOVIE98　1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
選択［▲／▼］テープタイトルの変更［OK］
テープのデータを消す［取消し］終了［メニュー］

ジャンルを変更したいときは、
手順 7 の操作後、

1. OK ボタンを 1 回押します。
2. ▲/▼ ボタンを押します。
   押すたびにジャンル名が変わります。
   ジャンル⇔映画⇔ドラマ⇔アニメ◆子供⇔スポーツ⇔音楽◆芸能⇔ショッピング◆旅⇔スペシャル⇔他⇔ジャンル・・・

3. OK ボタンを押します。
4. メニューボタンを押します。
   (メニュー操作終了)

ご注意

• 他のビデオで録画したテープには、タイトルの入力はできません。

テープのタイトルを変更したいとき【テープタイトル変更】

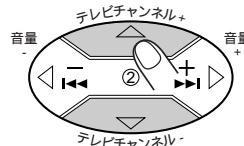
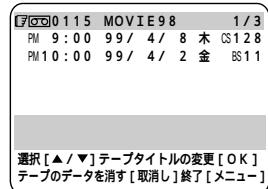
5 一番上のテープ番号を選ぶ

テレビチャンネル+ 音量 − 音量 + ② テレビチャンネル−

0115 MOVIE98 1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
選択 [▲/▼] テープタイトルの変更 [OK]
テープのデータを消す [取消し] 終了 [メニュー]

6 「テープタイトル入力」画面を表示させる

③決定 OK

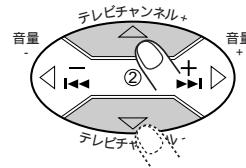
0115 MOVIE98 1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
入力 [0−9] 移動 [◀/▶] 取消し [取消し]
OK [OK] 終了 [メニュー]

番組のタイトルを変更したいとき【番組タイトル変更】

5 タイトルを変更したい番組を選ぶ

0115 MOVIE98 1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
選択 [▲/▼] 番組タイトルの変更 [OK]
番組のデータを消す [取消し] 終了 [メニュー]

6 「番組タイトル入力」画面を表示させる

③決定

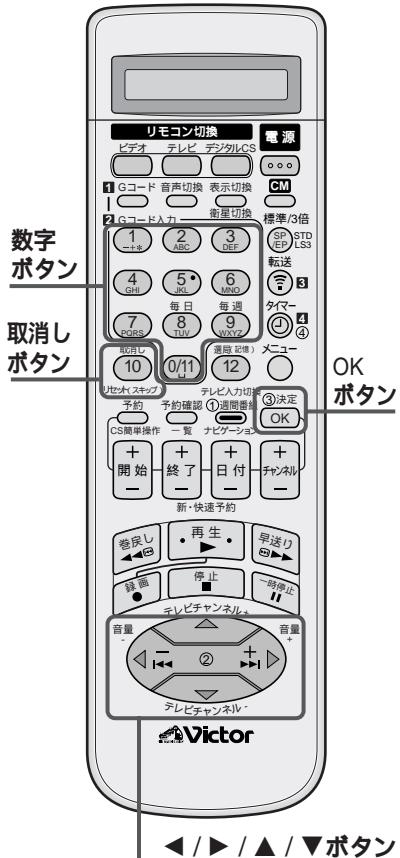
0115 MOVIE98 1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
PM 9:00→PM11:24 2:24(STD)
タイトル /ジャンル
入力 [0−9] 移動 [◀/▶] 取消し [取消し]
OK [OK] 終了 [メニュー]

7 文字を入力する

● 数字ボタンを使って入力します。
詳しくは、次ページをご覧ください。

8 メニュー操作を終了する

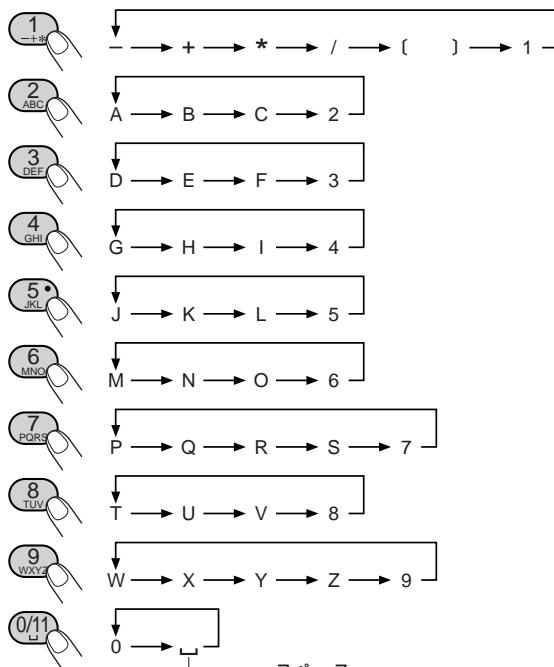
便利な機能

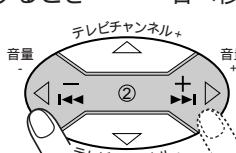
タイトルを編集する

タイトルには、テープタイトル（10文字まで）と番組タイトル（15文字まで）があります。

文字入力のしかた

英数、記号の 2 種類があります。

1. 数字ボタンを押して入力文字を選択します。

数字ボタンを押すたびに、次の文字が入力できます。

2. OK ボタンを押します。

カーソル移動のしかた

タイトルを消すには

■すべて消すには

1. カーソルを左端に移動させます。

2. 文字が消えるまで、取消しボタンを押します。

■一部分を消すには

1. 消したい文字にカーソルを合わせます。

2. 取消しボタンを押します。

文字を入力してみましょう !!

（例）LOST IN SPACE

L	=	5 JKL	3回押す
O	=	6 MNO	3回押す
S	=	7 PQRS	4回押す
T	=	8 TUV	1回押す
␣	=	0/11 ␣	2回押す
I	=	4 GHI	3回押す
N	=	6 MNO	2回押す
␣	=	0/11 ␣	2回押す
S	=	7 PQRS	4回押す
P	=	7 PQRS	1回押す
A	=	2 ABC	1回押す
C	=	2 ABC	3回押す
E	=	3 DEF	2回押す

1. 数字ボタンを押して、「LOST IN SPACE」を入力します。

> 文字入力のミスを防ぐため、1 文字入力するごとに、▶ ボタンを押してください。

2. OK ボタンを押します。

3. メニューボタンを押します。（タイトル変更終了）

便利な機能

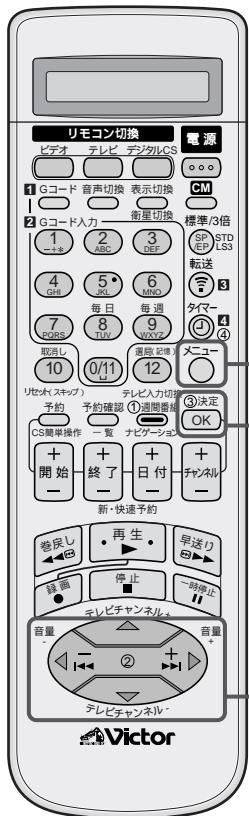
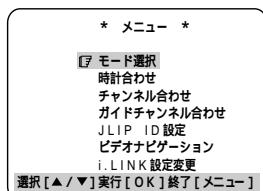
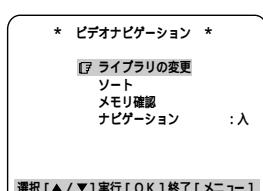
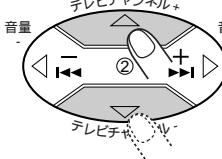
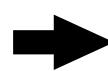
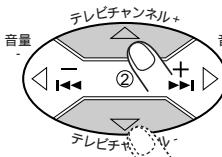
見たいテープを探す（テープ番号 / 記録日 / ジャンル検索）

本機で録画したテープが数多くある場合に、各テープにどのような番組が録画されているか知りたいときに使います。
テープ番号順、記録日時順、ジャンル別の 3 種類の検索があります。

あらかじめ、番組にジャンルを付けておかないとジャンル検索はできません。
☞66 **ページをご覧いただき、番組にジャンルを付けてください。**

準備
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

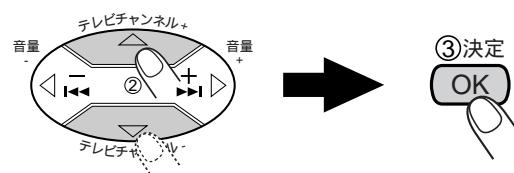
1 「メニュー」画面を表示させる

2 「ビデオナビゲーション」画面を表示させる

☞を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

＊ ビデオナビゲーション ＊
ライブラリの変更
ソート
メモリ確認
ナビゲーション　：入
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

3 「ソート」画面を表示させる

☞を「ソート」に合わせてから、

- テープタイトルは、録画された日付が自動的に、テープタイトル名として入力されます。
  お好みのタイトル名に変更したいときは、タイトルの変更で入力してください。(☞66 ページ)

本機で録画したあとは、テープ番号検索をするために、テープにテープ番号を書いたラベルを貼ってください。

テープ番号/記録日から検索する

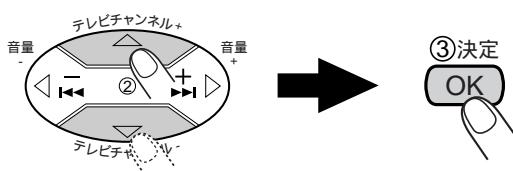
4 番組タイトル画面を表示させ、見たいテープを探す

タイトル 1/100
0999 BS11 AM0:00 00/1/8金
0999 F1 BRAZIL 99/12/28火
0998 12 PM9:00 99/2/21日
0998 4 PM9:00 99/5/17月
0998 12 PM10:15 99/3/3水
0997 1 AM8:15 99/1/15土
0096 CS135 PM10:00 99/9/18土
ページ [◀/▶] 選択 [▲/▼]
番組データの確認 [OK] 終了 [メニュー]

☞を「テープ番号」または「記録日」に合わせてから、

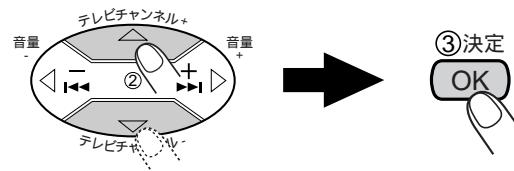
5 メニュー操作を終了する

● 番組の頭出しをするときは、☞65ページをご覧ください。

ジャンルから検索する

4 「ジャンル」を選ぶ

☞ 映画
ドラマ
アニメ◆子供
スポーツ
音楽◆芸能
ショッピング◆旅
スペシャル
他
−−−−−−−−−
選択 [▲/▼] 実行 [OK] 終了 [メニュー]

☞を「ジャンル」に合わせてから、

5 番組タイトル画面を表示させ、見たいテープを探す

映画 1/2
0095 LOST WORL 00/1/8金
0980 TOPGUN 99/12/28火
0979 CS356 PM10:00 99/12/25土
0975 SNOWMAN 99/11/15火
0060 BS11 PM8:00 99/10/28木
0955 THE CLIEN 99/10/25月
0950 4 AM0:00 99/10/9土
ページ [◀/▶] 選択 [▲/▼]
番組データの確認 [OK] 終了 [メニュー]

☞を見たいジャンルに合わせてから、

6 メニュー操作を終了する

● 番組の頭出しをするときは、☞65ページをご覧ください。

番組情報を削除する（テープデータ削除）

本機にメモリーされた番組情報を消すことができます。

テープデータ削除には次の 2 つがあります。

- 番組情報を全て削除する【全削除】
- 番組情報を一部削除する【一部削除】

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1

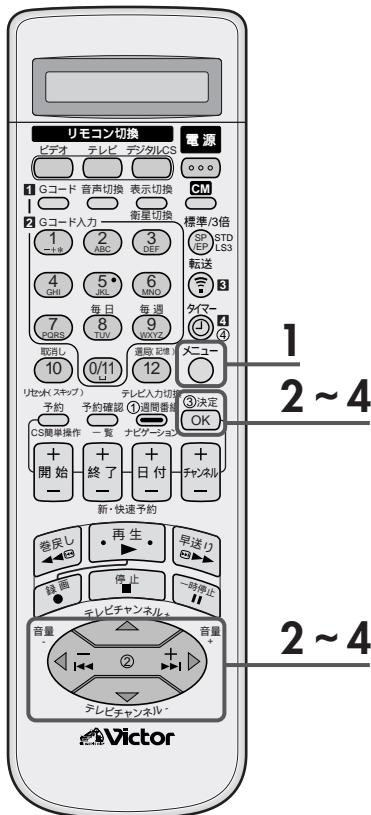
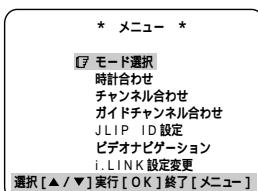
2〜4

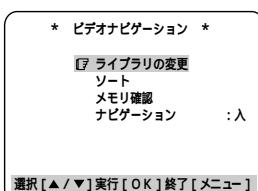
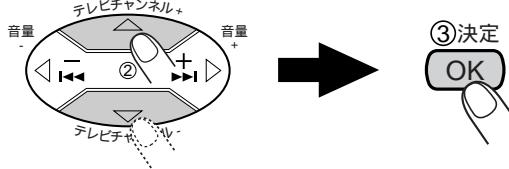
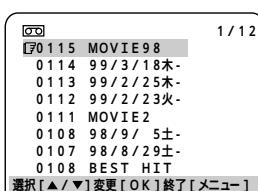
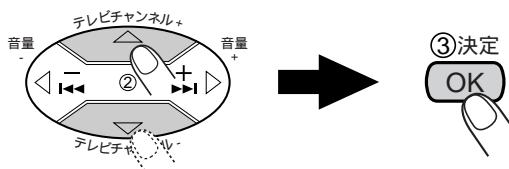
2〜4

1 「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊

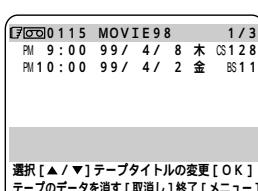
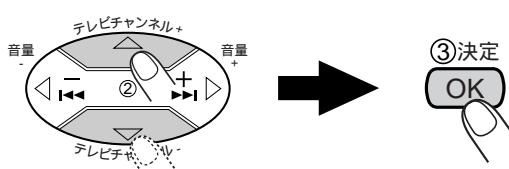
- モード選択
- 時計合わせ
- チャンネル合わせ
- ガイドチャンネル合わせ
- JLIP ID設定
- ビデオナビゲーション
- i.LINK設定変更

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 「ビデオナビゲーション」画面を表示させる

☞を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 「ライブラリの変更」画面を表示させる

☞を「ライブラリの変更」に合わせてから、

4 削除したいテープ番号を選ぶ

0115 MOVIE98 1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11

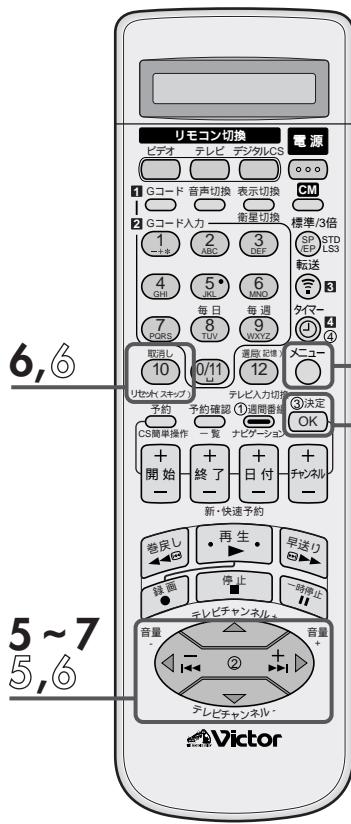
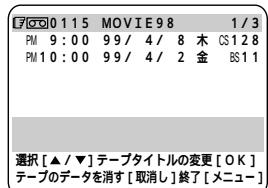
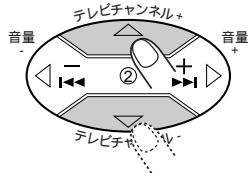
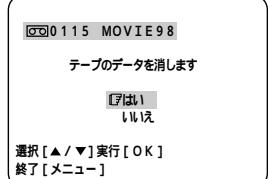
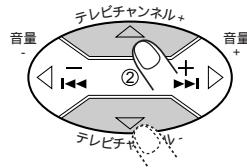
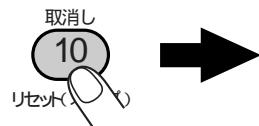
選択［▲／▼］テープタイトルの変更［OK］
テープのデータを消す［取消し］終了［メニュー］

☞を「テープ番号」に合わせてから、

番組情報を全て削除する【全削除】

5 一番上のテープ番号を選ぶ

0115 MOVIE98 1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
選択［▲/▼］テープタイトルの変更［OK］
テープのデータを消す［取消し］終了［メニュー］

6 取消しボタンを押したあと、▲ / ▼ ボタンで「はい」を選ぶ

0115 MOVIE98
テープのデータを消します
はい
いいえ
選択［▲/▼］実行［OK］
終了［メニュー］

番組情報を一部削除する【一部削除】

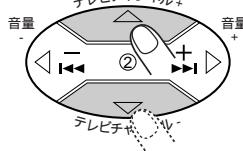
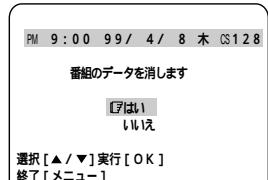
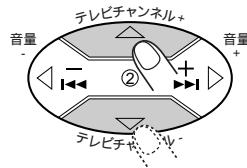
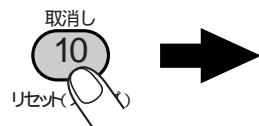
5 削除したい番組を選ぶ

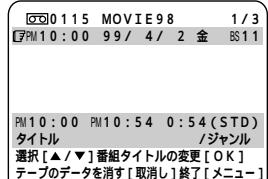
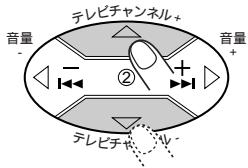
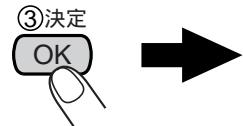
0115 MOVIE98 1/3
PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
PM 9:00→PM11:24 2:24(STD)
PLATOON /ジャンル
選択［▲/▼］番組タイトルの変更［OK］
番組のデータを消す［取消し］終了［メニュー］

6 取消しボタンを押したあと、▲ / ▼ ボタンで「はい」を選ぶ

PM 9:00 99/ 4/ 8 木 CS128
番組のデータを消します
はい
いいえ
選択［▲/▼］実行［OK］
終了［メニュー］

7 削除してタイトルを確認する

0115 MOVIE98 1/3
PM10:00 99/ 4/ 2 金 BS11
PM10:00→PM10:54 0:54(STD)
タイトル /ジャンル
選択［▲/▼］番組タイトルの変更［OK］
テープのデータを消す［取消し］終了［メニュー］

8 メニュー操作を終了する

- テープデータ削除では、番組情報だけが削除されます。録画した内容は消えません。
また、全削除すると、テープ番号は削除され、空きになります。

メモリーの確認

メモリーの使用状況を確認して、不要なタイトルは削除（☞72 ページ）してください。

1,4

2,3

2,3

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

＊ メニュー ＊

モード選択
時計合わせ
チャンネル合わせ
ガイドチャンネル合わせ
JLIP ID設定
ビデオナビゲーション
i.LINK設定変更

選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

2 「ビデオナビゲーション」画面を表示させる

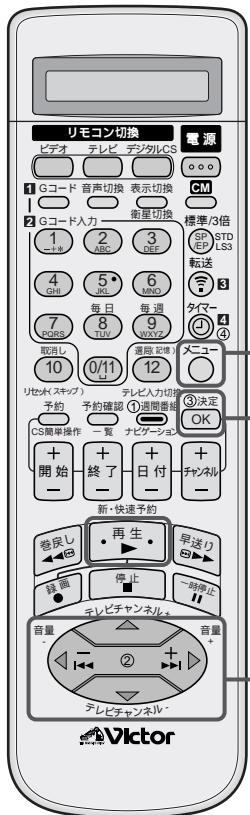
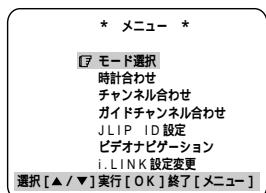
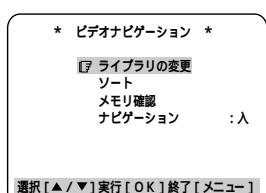
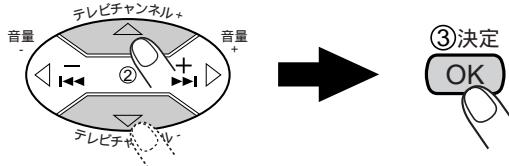
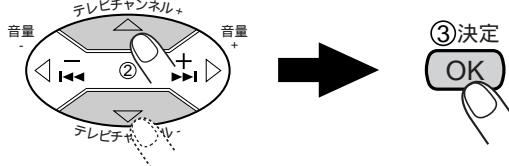
＊ ビデオナビゲーション ＊

ライブラリの変更
ソート
メモリ確認
ナビゲーション　　：入

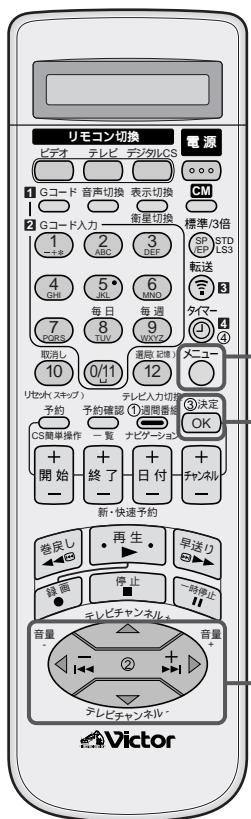
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］

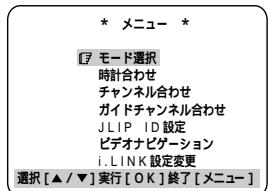
☞を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 「メモリ確認」画面を表示させる

☞を「メモリ確認」に合わせてから、

本機にメモリーされている容量を表示します。（目安です。）

4 メニュー操作を終了する

本機のメモリーに番組情報を記憶させたくないときは

準備

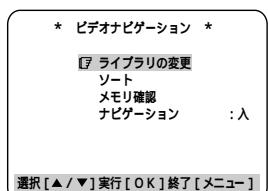
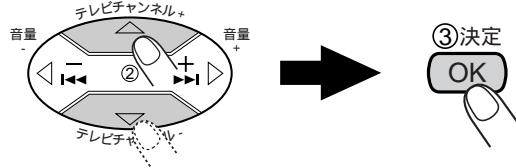
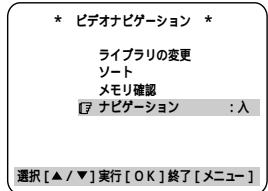
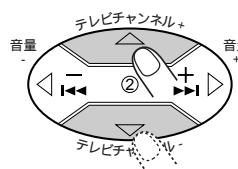
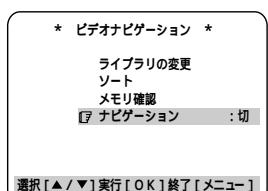
- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

2 「ビデオナビゲーション」画面を表示させる

☞を「ビデオナビゲーション」に合わせてから、

3 「ナビゲーション」を選ぶ

4 「切」にする

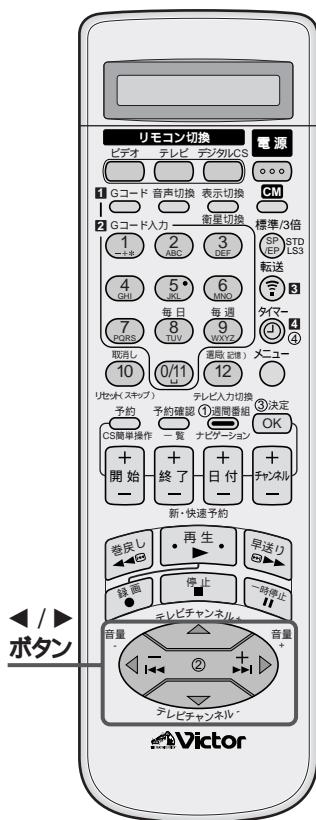
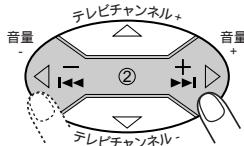
- OKボタンを押すごとに、入↔切が交互に切り換わります。

5 メニュー操作を終了する

MEMO
- テープを入れたときに、テープ番号の検索はしません。

番組の頭出しをする

頭出し再生

本機では、録画を始めると自動的に録画の始まりの部分にインデックスマーク（VISS）と呼ばれる信号が記録されます。この信号を使って、録画の頭出しを簡単にすることができます。

テープの何番目に見たい番組が録画されているかわかっているときに便利です。インデックスマーク（VISS）は前後 9 番目まで指定できます。

停止中に

● 押すたびに、頭出しの番号がひとつづつ増えて（減って）いきます。

指定した頭出し番号が表示されます。
例：今見ている番組（録画）のひとつ前の番組を見たいとき

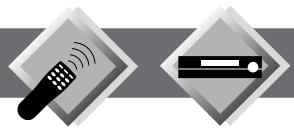
番号の指定のしかた

今見ている番組 ▼

	ニュース	前の番組	ドラマ	次の番組	映画	
番号…-3	-2	-1	1	2	3	

◀── 巻き戻し後再生　　早送り後再生 ──▶

［例］次の番組を頭出しするとき：
▶ボタンを1回押す。
今見ているの番組を頭出しするとき：
◀ボタンを1回押します。
前の番組を頭出しするとき：
◀ボタンを2回押します。

音声出力切換

二重音声放送（二カ国語放送など）やステレオ放送を録画したテープを再生するときは、聞きたい音声を選ぶことができます。

メニューの「オンスクリーン」が「オート」または「入」になっているときは、選んだ音声をテレビ画面で確認することができます。文字多重放送は二重音声放送ではありません。

音声切換

押すたびに、聞こえる音声が次のように変わります。

　部分：D-VHS記録したテープでは、ノーマル音声が記録されないため、音声の選択はできません。

● **二重音声放送を（主音声と副音声で）録画したテープのとき**

メニューの「ミックス音声」（☞89 ページ）が「切」のとき

音声切換 → 音声切換 → 音声切換 → 音声切換

聞こえる音声	主音声+副音声	主音声	副音声	ノーマル音声（主音声）
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル
表示窓の表示				NORM

● **ステレオ放送を録画したテープのとき**

メニューの「ミックス音声」が「切」のとき

音声切換 → 音声切換 → 音声切換 → 音声切換

聞こえる音声	ステレオ音声	左音声	右音声	ノーマル音声（モノラル音声）
テレビ画面の表示	左　右	左	右	ノーマル
表示窓の表示				NORM

メニューの「ミックス音声」が「入」のときは（S-VHS/VHS記録したテープのみ）

左右の音声（二重音声やステレオ音声）にノーマル音声がミックスして聞こえてきます。

音声切換 → 音声切換 → 音声切換

聞こえる音声	ミックス音声（左右の音声+ノーマル音声）	左音声+ノーマル音声	右音声+ノーマル音声
テレビ画面の表示	ミックス	（表示なし）	（表示なし）
表示窓の表示	NORM	NORM	NORM

- D-VHS記録したテープでは、ノーマル音声は出ません。
- 録画中に音声を切り換えても、録画には影響しません。

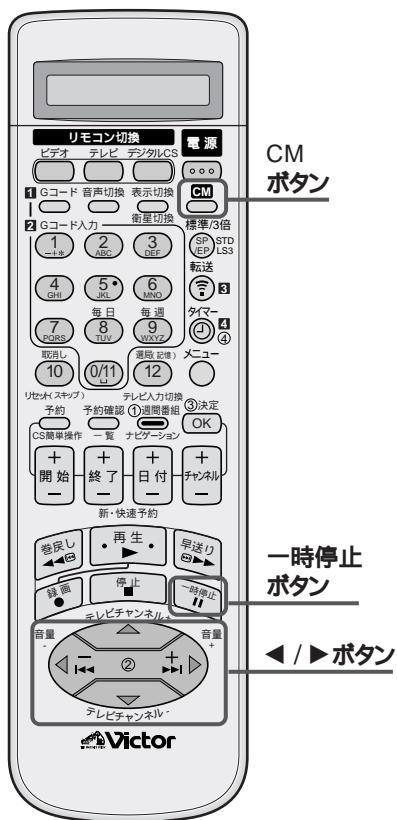
S-VHS/VHS記録したテープについて

- ハイファイ音声が録音されていないテープを再生中は、他の音声を選ぶことはできません。
- お買い上げ時の設定では、二重音声放送を録画すると、「主音声」だけが録音されます。副音声も録音したいときは、メニューで「二カ国語音声録音」を「主＊副」にしてください。（☞89 ページ）
- お買い上げ時の設定では、メニューの「ミックス音声」は「切」になっています。（☞89 ページ）

お願い

- 「ミックス音声」は「入」のときに、ハイファイ音声とモノラル音声に同じ音が録音されているテープを再生すると、音が歪むことがあります。
  このときは、メニューの「ミックス音声」を「切」にしてください。
  （☞89 ページ）

再生に便利な機能

S-VHS/VHS記録したテープで操作できます。

コマーシャルを飛ばして再生する

テープを再生中に、コマーシャル部分を 30 秒単位で早送りすることができます。
（CM スキップサーチ）

再生中に

1 度押すと、早送りが始まります。
その後押すたびに、早送りの時間が30秒ずつ（最長2分まで）増えていきます。
D-VHS記録したテープでも操作できますが、出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。

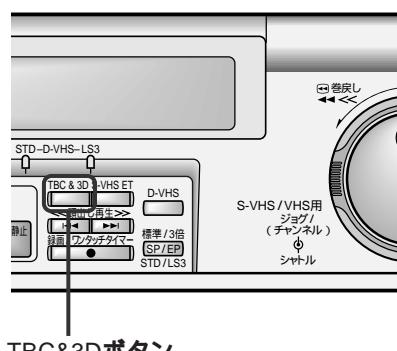
コマ送りやスローで再生する

再生中に

- 1度だけ押すと、一時停止になり、静止画がテレビ画面に表示されます。（静止画再生）
- 2 秒以上押し続けると、スローで再生されます。（スロー再生）

一時停止中に

- くり返し押すと、押すたびに映像が 1 コマずつコマ送りで再生されます。（コマ送り）

再生を止めるには、停止（■）ボタンを押します。

TBC&3Dボタン

TBC&3D を使うときは

- メニューの「V スタビライズ」と同時に使うことはできません。
- パソコンや一部のキャラクタージェネレーターを録画したテープを再生すると画面が乱れることがあります。このようなときは、TBCを「切」にしてください。
- 何も記録されていないテープを再生するとブルーバックにならないことがあります。

画面の歪みを補正する(TBC&3D)

テープの伸びや変形などでおこる再生画像の横揺れや画面の曲がりを補正して安定した画面で再生します。また、ビデオカメラで撮影したテープや、何度も繰り返し使用したテープを再生するとき、ダビング時に本機で再生するときなどに使います。
通常お使いになるときは「入」でお使いください。

再生中に

押すたびに、ボタンのランプ(緑)が点灯 / 消灯します。
ランプ(緑)点灯中はTBC&3Dが「入」です。

TBC： Time Base Corrector(タイムベースコレクタ)の意味です。
3D　： 3Dimension(3 次元)ノイズリダクションの意味です。

その他の便利な機能

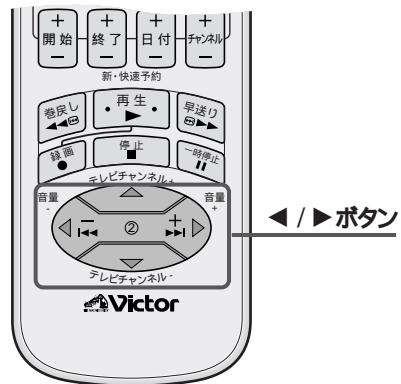
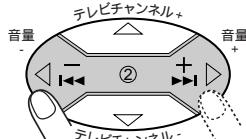
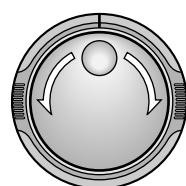
テープを巻戻してから、再生する

を押してから、約2秒以内に
テープを巻戻してから、電源を切る

を押してから、約2秒以内に
テープを巻戻してから、本機を予約録画待機中にする

を押してから、約2秒以内に

スピードを変えて再生する

S-VHS/VHS記録したテープで操作できます。

再生中に

● 静止画再生中に押すと、コマ送り再生になります。

● 左右に回すと、クリック感があり、クリックがあるごとに再生スピードが 1 段ずつ変わります。

通常の再生に戻すには、再生（▶）ボタンを押します。

逆転スピード再生（4段階）	逆転再生	逆転スロー再生（2段階）	静止画再生	スロー再生（2段階）	通常再生	倍速再生	スピード再生（3段階）

巻戻し再生 ／ 早送り再生

● －／＋ボタンを押して再生スピードを変えた場合、逆転スピード再生は 3 段階、スピード再生は 2 段階になります。
● 最大スピードは、録画スピードによって異なります。

－／＋ボタンで操作した場合：
「標準(SP)」のときは 7 倍速、「3 倍(EP)」のときは 21 倍速になります。

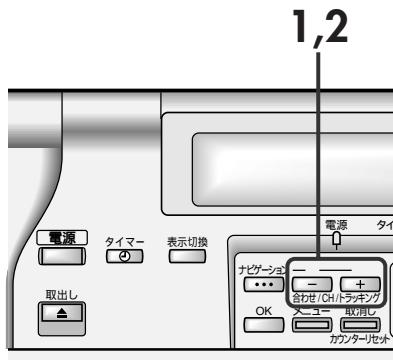
シャトルリングで操作した場合：
「標準(SP)」のときは 11 倍速、「3 倍(EP)」のときは 31 倍速になります。

MEMO

- 再生スピードが切り換わる部分では、画像が乱れることがあります。
- 静止画再生やスロー再生を 5 分以上続けると、本機は自動的に停止します。ただし、逆転スロー再生のみ、30 秒で停止します。
- 静止画再生、コマ送り、スロー再生や可変速再生中は、音声は聞こえません。
- 静止画再生中やスロー再生中に映像に横すじやちらつきが出るときは、トラッキング調節を行ってください。（☞81 ページ）

再生中の映像を調節する

トラッキングを調節する

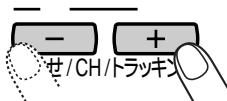
本機には、オートトラッキング機能が付いています。
テープの再生を始めると自動的にオートトラッキングが働き、映像の乱れやちらつきを調節します。
オートトラッキングで映像の乱れやちらつきがとれないときは、手動でトラッキングを調節します。

1

再生中に

オートトラッキングを解除する

（同時に押す）

● 押すたびに、オートトラッキングの「入 / 切」が切り換わります。

2 トラッキングを調節する

● リモコンのチャンネル＋ /ーボタンでも操作できます。

• 本機の電源を入れたり、テープを入れると、オートトラッキングが自動的に「入」になります。

静止画再生中やスロー再生中に、映像に横すじやちらつきが出るときは
① 静止画再生中は、**一時停止（II）**ボタンを 2 秒以上押し、スロー再生にする
② **チャンネル＋**または**ー**ボタンを押し、調節する

お願い

• 録画状態の極端に悪いテープや他のビデオデッキで録画したテープでは、十分にトラッキングを調節できないことがあります。
• 静止画再生中やスロー再生中の映像の乱れやちらつきは、調節しても消えないことがありますが、故障ではありません。

録画に便利な機能

コマーシャルを飛ばして録画する

二重音声放送（二カ国語放送など）やモノラル放送の番組を録画中に、コマーシャルを飛ばして録画することができます。（オートCMカット）

1 オートCMカットを入にする

停止中または録画中に

● 押すたびに、オートCMカットの「入 / 切」が切り換わり、現在の設定がテレビ画面に表示されます。

録画予約するときは…

録画予約時にオートCMカットの設定をしてください。(☞59, 61ページ参照)

● 録画予約中は、予約時の設定に合わせて、オートCMカットの「入 / 切」が切り換わります。

- D-VHS 記録時は働きません。
- デジタル CS 放送の番組または外部入力（テープをダビングするときなど）を録画するときは、オートCMカットが働きません。

MEMO

- 次のようなときは、オートCMカットが自動的に「切」になります。
  - 録画中に**停止**（■）ボタンまたは**一時停止**（II）ボタンを押したとき
  - 録画を始める前に**再生**（▶）ボタン、**巻戻し**（◀◀）ボタン、**早送り**（▶▶）ボタン、**ビデオ電源**ボタンを押したとき
  - 録画を始める前やCMカット中(録画一時停止中)に、チャンネルを切り換えたとき

オート CM カット機能について

オートCMカット機能は、二重音声放送やモノラル放送の番組を録画中に、ステレオ放送が始まると自動的に録画を中止し、ふたたび二重音声放送やモノラル放送が始まると、録画を再開する機能です。

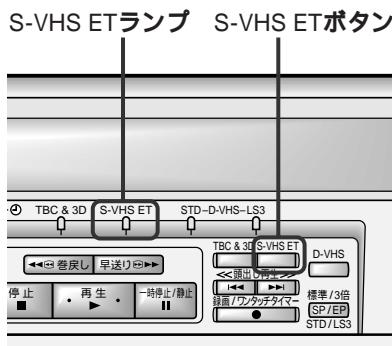
通常、映画やスポーツ中継などは二重音声で放送されることが多く、逆にコマーシャルはステレオ音声で放送されることが多いので、そのことを利用した機能が「オート CM カット」です。

お願い

■ **次のような場合、正常に CM カットができません。**

- **ステレオ放送の番組を録画するときには、使わないでください。**
  オートCMカットが「入」になっているときに、ステレオ放送の録画を始めると、本機は自動的に一時停止になります。約5分後に一時停止が解除され録画が始まります。
- オートCMカットを使って、コマーシャルを飛ばして録画すると、コマーシャルの前後で本来の録画したい番組が多少欠けて録画されることがあります。
- モノラル放送のコマーシャルは、オートCMカットが「入」になっていても、録画されます。また、タイマー予約したときに最後がCMで終わった場合、多少CMが録画されることがあります。
- 電波の弱い地域では、オートCMカットが正しく働かないことがあります。

VHSテープにS-VHSの画質で録画する

VHSテープにS-VHSの画質で録画ができます。

S-VHS ET ランプが点灯し、
本体表示窓にS VHSが表示されます。

ボタンを押すと S-VHS ET モードが「入」になり点灯します。
もう一度押すと「切」になり消灯します。

S-VHS ET が働かないとき

- 次のようなときは、S-VHS ETボタンは働きません。
  - 録画中
  - 再生中
  - D-VHS テープが入っているとき
  - S-VHS テープが入っているとき

S-VHS ET 機能について

この機能は、VHS テープに S-VHS の画質で記録するための機能です。S-VHS ET 機能を使って録画したテープは、本機または S-VHS ET 機能を持ったビデオデッキで再生してください。

お願い

- よりよい画質で録画・再生・長期保存するためには、S-VHS テープをご利用ください。
- S-VHS ET 機能を使って録画したテープの再生は本機、もしくは S-VHS ET 機能付きのビデオデッキでお楽しみください。
  添付の「Super VHS ET」シールをテープの背ラベルに貼るなどして、通常のモード（VHS モード）で録画したテープと区別して保存することをお勧めします。
- S-VHS ET機能を使って録画したテープは、S-VHSのビデオデッキやS-VHS簡易再生機能（SQPB）付きのビデオデッキでも再生することができます。ただし、機種によっては再生できないこともありますので、ご注意ください。
- 再生時テープの品質によっては、ノイズが出ることがあります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を行うと、画面にノイズがでる場合があります。
- 静止画再生やコマ送り・スロー再生を頻繁に行うと、画質が劣化することがあります。これらの操作の多用は避けてください。
- お使いになるテープによっては、十分な画質が得られないことがあります。必ず事前に試し撮りをして、十分な画質で録画されてることを確かめてください。
  S-VHS ET 機能を使って録画するときは、次のことをお勧めします。
  - HG(ハイグレード)タイプの VHS テープをお使いください。
  - メニューの「テープレベルアップ」を「入」（☞84 ページ参照）にしておいてください。
  - 映像がちらついたり、乱れたりするときは、クリーニングカセットをお使いください。（8 ページ参照）

最適な画質で録画・再生をする

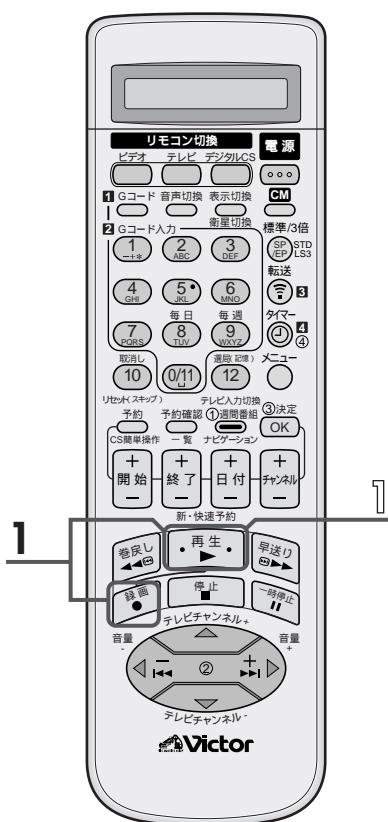
テープレベルアップ

メニューの「テープレベルアップ」（☞89ページ）を使うと、自動的に本機が録画・再生するテープの品質レベルを測定して、最適な画質で録画・再生することができます。
ここでは、この機能が「入」のときに、本機がどのように動作するかを説明します。

• D-VHS 記録時は働きません。

• 録画スピードを変えると、ふたたび、テープの品質レベルを測定します。（「標準（SP）」と「3倍（EP）」モードに対して、それぞれ1度だけ測定します。テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。）

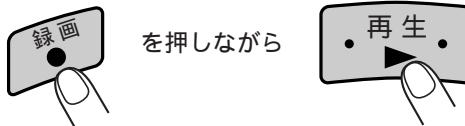
• 予約録画をするときは、最初の予約録画を始める前に、テープの品質レベルを「標準（SP）」と「3倍（EP）」モードに対して測定します。以降の予約録画開始時には測定しません。（テープを出し入れしたときは、そのたびにテープの品質レベルを測定し直します。）

• テープの品質レベルを測定中は、一時停止（II）ボタンは働きません。

1 録画時の動作…

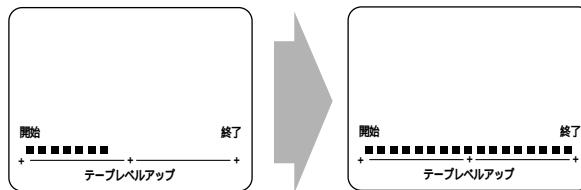
準備

● テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

● 詳しい録画時の操作については、「番組を録画する」（☞52ページ）をご覧ください。

停止中に

を押しながら

次の画面が表示され、自動的にテープの品質レベルを測定します。

● メニューの「オンスクリーン」が「切」のときは、この画面は表示されません。（☞87ページ）

約7秒後、テープの品質レベルの測定が終了すると、録画が開始されます。

番組の始めから録画したいときは

① **一時停止**（**II**）ボタンと**録画**（●）ボタンを同時に押す
本機は録画待機状態になり、テープの品質レベルを測定します。

② 録画したい番組が始まったら、**再生**（▶）ボタンを押す
録画が始まります。

1 再生時の動作…

準備

● テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）

● 詳しい再生時の操作については、「ビデオを見る」（☞49ページ）をご覧ください。

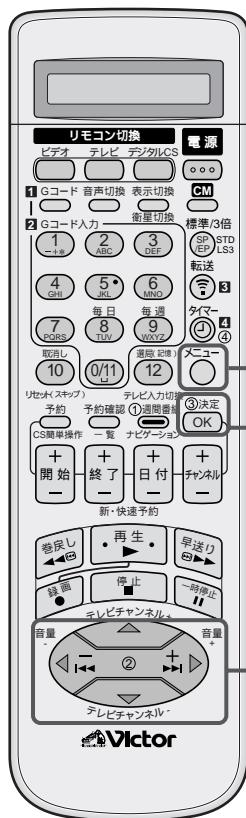
停止中に

● オートトラッキング機能が働き、同時に再生する映像に適した画質に自動的に調整します。

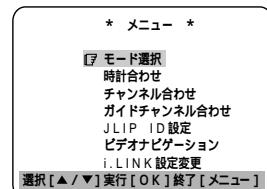
● レンタルテープや他のビデオデッキで録画したテープを再生するときは、「テープレベルアップ」の「入／切」を切り換えてみて、よりよい画質で再生される方の設定でお使いください。

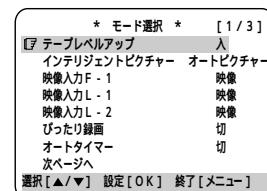
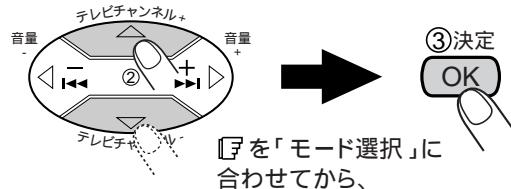
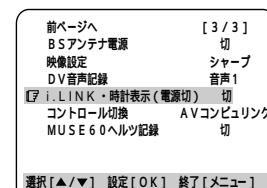
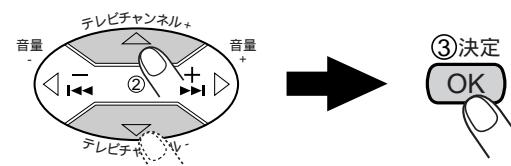
節電設定にする

時計表示を切る

電源「切」のときでもわずかに電力を消費していますが、時計表示を切ると、消費電力を少なくすることができます。本機の電源が「切」のときのみ、時計を表示しません。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

2 「モード選択」画面を表示させる

を「モード選択」に合わせてから、

3 を「i.LINK・時計表示（電源切）」に合わせてから「切」にする

前ページへ ［3／3］
BSアンテナ電源 切
映像設定 シャープ
DV音声記録 音声1
i.LINK・時計表示（電源切） 切
コントロール切換 AVコンピュリンク
MUSE60ヘルツ記録 切
選択［▲／▼］ 設定［OK］ 終了［メニュー］

を「i.LINK・時計表示（電源切）」に合わせてから、

「切」を選ぶ

- OKボタンを押すごとに、入↔切が交互に切り換わります。

4 メニュー操作を終了する

ご注意

- 手順**3**で「切」にして本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、デジタルCSチューナー側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。

便利な機能

画面表示

画面に出る表示で動作を確認する

各操作ボタンを押すと、操作内容をテレビ画面に約5秒間表示します。
（モード選択画面のオンスクリーンが「オート」または「入」のとき）

受信チャンネルの音声
チャンネルを切り換えたときに、次のような表示をします。
ステレオ：ステレオ放送受信時
主　：二カ国語放送受信時
（モード選択画面の二カ国語音声録音が「主」の場合）
主＊副：二カ国語放送受信時
（モード選択画面の二カ国語音声録音が「主＊副」の場合）

チャンネル／外部入力

テープの走行状態

音声出力
左　右：ステレオ音声
左　：左側の音声
右：右側の音声
ノーマル：ノーマル音声
ミックス：ミックス音声

オートCMカット

再生スピード
（STD／LS3／標準／3倍）

10CH
ステレオ
録画　ポーズ
左　右
オートCMカット：切
STD
0：00：00
頭出し　－1
始・・・・・・・・・・・・・・■・・・・・・終

カセットの有無

テープ走行の向き

現在のテープ位置

カウンター／テープ残量／
時計／ワンタッチタイマーの録画時間

番組の頭出し番号／頭出し信号の書込み
（「頭出し書き込み」表示が約２秒間点滅する）

● カウンター

0：00：00

● テープ残量

標準
残量　1：35

● 時計

12月24日　金曜
PM　3：35

● 録画時間

OTR　2：00

- D端子入力付きテレビと接続時、テレビのD入力では、オンスクリーン表示を見ることはできません。

画面表示を出したくないときは

ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないよう「切」にします。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1,5

2,4

2,3

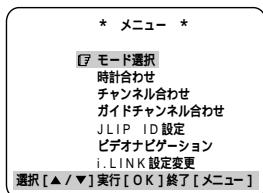
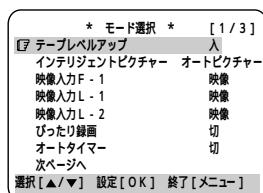
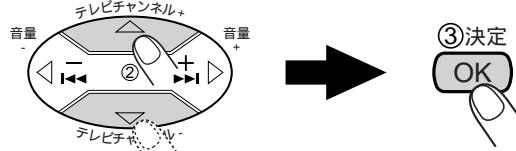
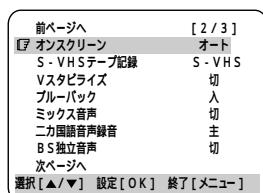
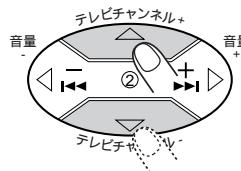
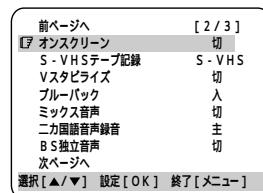
1 「メニュー」画面を表示させる

2 「モード選択」メニューを表示させる

☞を「モード選択」に合わせてから、

3 「オンスクリーン」に☞を合わせる

4 「切」を選ぶ

前ページへ ［2/3］
オンスクリーン 切
S－VHSテープ記録 S－VHS
Vスタビライズ 切
ブルーバック 入
ミックス音声 切
ニカ国語音声録音 主
BS独立音声 切
次ページへ
選択［▲／▼］ 設定［OK］ 終了［メニュー］

- オンスクリーン「切」でも、次のようなときは、テレビ画面に文字を表示します。
  - 録画一時停止状態のとき
  - 青い画面（ブルーバック）のとき
  - リモコンのCMボタンを押したとき（☞82ページ）

5 メニュー操作を終了する

メニュー画面が消えます。

便利な機能

メニュー画面

モード選択画面（1ページ目）

```
＊ モード選択 ＊　　[1/3]
☞ テープレベルアップ　　　　　　入
インテリジェントピクチャー　オートピクチャー
映像入力F－1　　　　　　　映像
映像入力L－1　　　　　　　映像
映像入力L－2　　　　　　　映像
ぴったり録画　　　　　　　　切
オートタイマー　　　　　　　切
次ページへ
選択［▲／▼］　設定［OK］　終了［メニュー］
```

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

時計合わせ画面

```
＊ 時計合わせ ＊
AM　0：00
1月　1日　1999年　木曜日
ぴったり　　3チャンネル
設定［▲／▼］移動［OK］終了［メニュー］
```

・ビデオ本体の時計を合わせるときに使用する画面です。

JLIP ID設定画面

```
＊ JLIP　ID設定 ＊
ID番号
1
設定［▲／▼］　［0－9］　終了［メニュー］
```

・JLIPのID番号（1～99まで）を設定するときに使用する画面です。

モード選択画面（2ページ目）

```
前ページへ　　　　　　　　[2/3]
☞ オンスクリーン　　　　　　オート
S－VHSテープ記録　　　　S－VHS
Vスタビライズ　　　　　　　切
ブルーバック　　　　　　　　入
ミックス音声　　　　　　　　切
二カ国語音声録音　　　　　　主
BS独立音声　　　　　　　　切
次ページへ
選択［▲／▼］　設定［OK］　終了［メニュー］
```

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

チャンネル合わせ画面

```
＊ チャンネル合わせ ＊
☞ 一括チャンネル合わせ
記憶／スキップ／表示変更／微調整
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］
```

・受信チャンネルを設定するときに使用する画面です。

ビデオナビゲーション画面

```
＊ ビデオナビゲーション ＊
☞ ライブラリの変更
ソート
メモリ確認
ナビゲーション　　　：入
選択［▲／▼］実行［OK］終了［メニュー］
```

・番組検索などをしたいときに使用する画面です。

モード選択画面（3ページ目）

```
前ページへ　　　　　　　　[3/3]
☞ BSアンテナ電源　　　　　　切
映像設定　　　　　　　　シャープ
DV音声記録　　　　　　　音声1
i.LINK・時計表示（電源切）　　入
コントロール切換　　　AVコンピュリンク
MUSE60ヘルツ記録　　　　切
選択［▲／▼］　設定［OK］　終了［メニュー］
```

・お買い上げ時の設定を変えるときに使用する画面です。

ガイドチャンネル合わせ画面

```
＊ ガイドチャンネル合わせ ＊
ガイドチャンネル　：　1
チャンネル表示　　：　22
ガイドチャンネル設定［▲／▼］［0－9］
チャンネル表示変更／記憶［OK］
終了［メニュー］
```

・Gコード予約をするためのチャンネル設定に使用する画面です。

i. LINK設定変更画面

```
＊ i.LINK設定変更 ＊
☞ EPG録画　　　　　　　標準（STD）
MPEG2入力記録　　　サーチデータ入
リンク（LINC）　　　　　オート
番号のリセット
選択［▲／▼］設定［OK］終了［メニュー］
```

・i. LINKの設定を変更するときに使用する画面です。

お買い上げ時の設定を変える

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

2 「モード選択」メニューを表示させる

☞を「モード選択」に合わせてから、

3 設定を変えたい項目に☞を合わせる

例：「BS独立音声」の設定を変更したいとき

4 設定を変える

5 必要ならば、手順3と4をくり返して、他の設定も変更する

6 設定を終了する

メニュー画面が消えます。

「モード選択画面」の内容について

　　　お買い上げ時の設定状態です。

項目	設定	内容
テープレベルアップ	入／切	テープに合わせた最適な状態で録画・再生したいときに「入」にします。
インテリジェントピクチャー	オートピクチャー	通常は、このポジションでお使いください。
	ダビング	ダビングするときに選択します。
	ソフト	レンタルビデオなどでノイズが目立つときに選択します。
	アニメ	アニメーションなどを再生するときに選択します。
映像入力F-1	映像	前面の映像入力端子（F-1）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	前面のS映像入力端子（F-1）の信号を入力するときは「S映像」にします。
映像入力L-1	映像	背面の映像入力端子（L-1）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	背面のS映像入力端子（L-1）の信号を入力するときは「S映像」にします。
映像入力L-2	映像	背面の映像入力端子（L-2）の信号を入力するときは「映像」にします。
	S映像	背面のS映像入力端子（L-2）の信号を入力するときは「S映像」にします。
ぴったり録画	切／入	標準モードでタイマー録画中にテープが不足する場合、途中で自動的に3倍モードに切り換わり、録画切れを防ぎます。 120分テープに2時間以上の番組を収めたいときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。 D-VHS記録時は、ぴったり録画は働きません。
オートタイマー	切	通常は「切」にしてください。
	入	予約待機中にビデオを使用したいとき、タイマーボタンを押して◴表示を消さなくても、ビデオの電源を入れるだけで操作できます。操作後、ビデオの電源を切ると自動的に予約待機状態になります。タイマーボタンの操作を忘れがちな方に便利です。
オンスクリーン	オート	ビデオ操作時に、操作の内容を約5秒間、テレビ画面に表示します。
	入	常時、カウンター（または残量／時計／チャンネル）を表示します。
	切	ダビング時、本機を再生側で使用するときは、テレビ画面に出る文字を記録しないように「切」にします。
S-VHSテープ記録	S-VHS	S-VHSテープにはS-VHS記録、VHSテープにはVHS記録します。
	VHS	S-VHSテープにVHS記録するときは「VHS」にします。
Vスタビライズ	切／入	S-VHS/VHSで録画したテープを再生中に画面が上下に揺れるときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。
ブルーバック	入	放送のないチャンネルは青い画面（ブルーバック）になります。
	切	電波が弱く、不安定なチャンネルを受信するときは「切」にします。
ミックス音声	切／入	Hi-Fi音声とノーマル音声の両方を聞きたいときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。
ニカ国語音声録音	主	ニカ国語放送のとき主音声（日本語など）だけを録音します。
	主＊副	ニカ国語放送のときは主音声と副音声の両方を録音します。外国語を録音するときは「主＊副」にします。再生・録画時に音声切換ボタンで聞きたい音声を選んでください。
BS独立音声	切／入	BS放送の独立音声を聞きたいときは「入」にします。 通常は「切」にしてください。
BSアンテナ電源	切／入	本機からBSアンテナに電源を供給しないときは「切」、供給するときは「入」にします。

<table>
<tr><td rowspan="2">映像設定</td><td>シャープ</td><td>再生する映像の輪郭をクッキリさせます。
通常は「シャープ」にしてください。</td></tr>
<tr><td>ノーマル</td><td>ノイズが目立つときは「ノーマル」にします。</td></tr>
<tr><td>DV音声記録</td><td>音声1 /
音声2 /
フル音声</td><td>i.LINK端子から入力されるデジタルビデオカメラからの音声信号は最大4チャンネルあります。本機ではこのうちの2チャンネルを選択して録画します。どの2チャンネルを記録するかをここで設定します。
（DV音声が4チャンネル：32kHzの場合）
音声1　：　音声1の2チャンネル（L/R）を記録します。
音声2　：　音声2の2チャンネル（L/R）を記録します。
フル音声 ：　音声1と音声2をミックスして記録します。
（DV音声が2チャンネル：48kHzの場合）
もともと2チャンネルなので、そのまま記録します。
<table>
<tr><td>メニュー設定</td><td>音声モード</td><td>D-VHS L-chの音声</td><td>DVHS R-chの音声</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音声1</td><td>32kHz/12bit</td><td>DV音声1 L-ch</td><td>DV音声1 R-ch</td></tr>
<tr><td>48kHz/16bit</td><td>DV L-ch</td><td>DV R-ch</td></tr>
<tr><td rowspan="2">音声2</td><td>32kHz/12bit</td><td>DV音声2 L-ch</td><td>DV音声2 R-ch</td></tr>
<tr><td>48kHz/16bit</td><td>DV L-ch</td><td>DV R-ch</td></tr>
<tr><td rowspan="2">フル音声</td><td>32kHz/12bit</td><td>DV音声1L＋DV音声2L</td><td>DV音声1R＋DV音声2R</td></tr>
<tr><td>48kHz/16bit</td><td>DV L-ch</td><td>DV R-ch</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>i.LINK・時計表示
（電源切）</td><td>入 ／ 切</td><td>本機の電源が「切」のとき、時計を表示させたくないときは「切」にします。
このときは、i.LINK機器の認識ができません。そのため、デジタルCSチューナー側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。
通常は「入」にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コントロール切換</td><td>AVコンピュリンク</td><td>AVコンピュリンク端子付きのアンプやテレビと接続したときに選択します。</td></tr>
<tr><td>リモートポーズ</td><td>編集端子付きのビクタービデオカメラなどと接続したときに選択します。</td></tr>
<tr><td>MUSE60ヘルツ記録</td><td>切 ／ 入</td><td>「切」のポジションで、BS9チャンネルをD-VHS記録したテープを再生したとき、画面が上下に揺れるときは、「入」にしてください。当社製MUSEデコーダーHV-VMD1、MUSE-NTSCコンバーターHV-MC500、HV-MC1000と接続している場合は、「入」にしてください。本機背面の「L-2」入力端子のみに働きます。</td></tr>
</table>

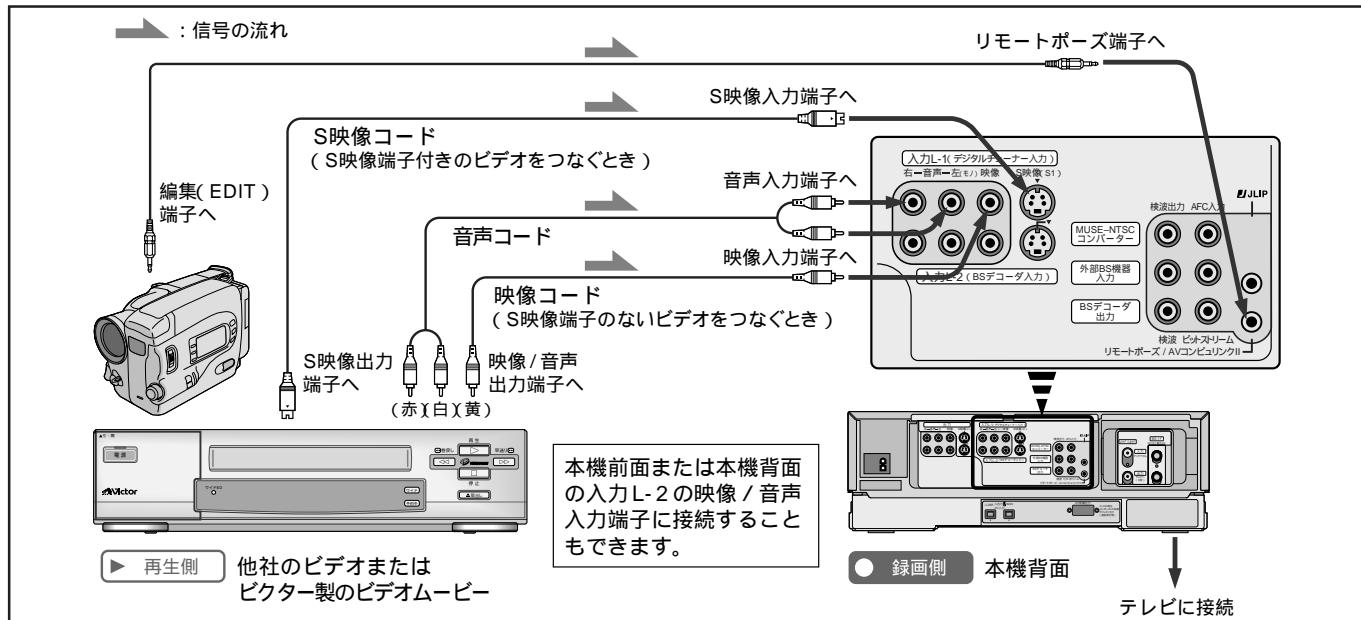
「i.LINK 設定変更画面」の内容について

<table>
<tr><td>EPG録画</td><td>標準（STD）/
3倍（LS3）</td><td>デジタルCSチューナー側でEPG予約するときのみ、録画スピードの選択をします。
2つ以上の番組を予約したときは、すべての予約が選択した録画スピードになります。
LS3モードで記録すると、自動的に「L-1」入力に切り換わり、アナログ信号をデジタル信号に変換して記録します。（STD：画質を重視するとき、LS3：3倍長く録画するとき）
メニューのモード選択で「i.LINK・時計表示（電源切）」を「切」（☞85ページ）にして、本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、デジタルCSチューナー側で予約した番組の録画ができません。また、分岐接続している場合、データの中継をしません。</td></tr>
<tr><td>MPEG2入力記録</td><td>サーチデータ入 /
サーチデータ切</td><td>他のD-VHSビデオデッキ（D-VHS記録したテープの早送り/巻戻し再生で映像が出ない機器）から本機へダビングするときは、「サーチデータ切」にしてください。
通常は「サーチデータ入」にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">リンク（LINC）</td><td>オート</td><td>本機から他のi.LINK機器を選択できます。i.LINK機器の番号を確認するときは、チャンネル＋/－ボタンを押して、テレビ画面に出る表示で確認してください。（☞96ページ）
通常は「オート」にしてください。</td></tr>
<tr><td>切</td><td>本機から他のi.LINK機器を選択できません。
ただし、他のi.LINK機器またはデジタルビデオカメラなどから本機が選択された場合は通信できます。通信しているときは、「I-1」などを表示します。</td></tr>
<tr><td>番号のリセット</td><td>－</td><td>本機背面のi.LINK端子に接続しているi.LINK機器の番号を変更したいときに選択します。</td></tr>
</table>

テープをダビングする

他機で再生、本機で録画する【S-VHS/VHS 記録】

● 相手の機器が他社やビクター製のビデオデッキ、ビクター製ビデオムービーのとき

ビデオムービーのときには、編集(EDIT)端子と本機のリモートポーズ端子を接続します。
この接続をするとビデオムービーからの操作だけで、テープのダビングや編集を始めることができます。

他機側(再生)

準備

- ● 再生するテープを入れておきます。
- ● 再生する機器の詳しい操作方法については、再生する機器の取扱説明書をご覧ください。
- ● ビデオムービーの詳しい操作については、ビデオムービーの取扱説明書をご覧ください。

- • ダビングすると、画質はもとのテープより劣ります。S-VHSの標準(SP)モードで録画することをおすすめします。
- • 録画一時停止が5分以上続くと、テープやビデオヘッド保護のため自動的に停止します。
- • ダビングが終わったときは、ビデオムービーと本機の両方を停止させてください。

3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める。ビデオムービーのときには、ダビングしたい場面を設定する

ビデオムービーの**編集スタート**ボタンを押します。

- ● 本機側(録画)の録画一時停止が自動的に解除されて録画が始まりますので、手順**4**は必要ありません。

あなたがビデオテープレコーダーで録画(録音)したものは、個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

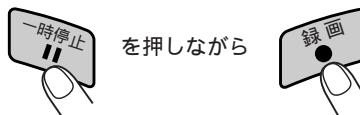
本機側(録画)

準備

- ● **再生機を、どちらの映像入力端子(「S映像」または「映像」)につないだかを、メニューで正しく設定してください。(☞89, 90ページ)両方の端子をつなぐ必要はありません。**
- ● 本機背面のリモートポーズ端子に接続しているときは、メニューの「コントロール切換」(☞89, 91ページ)を「リモートポーズ」にします。
- ● メニューの「インテリジェントピクチャー」(☞89, 90ページ)を「ダビング」にします。
- ● 録画用のテープを入れておきます。

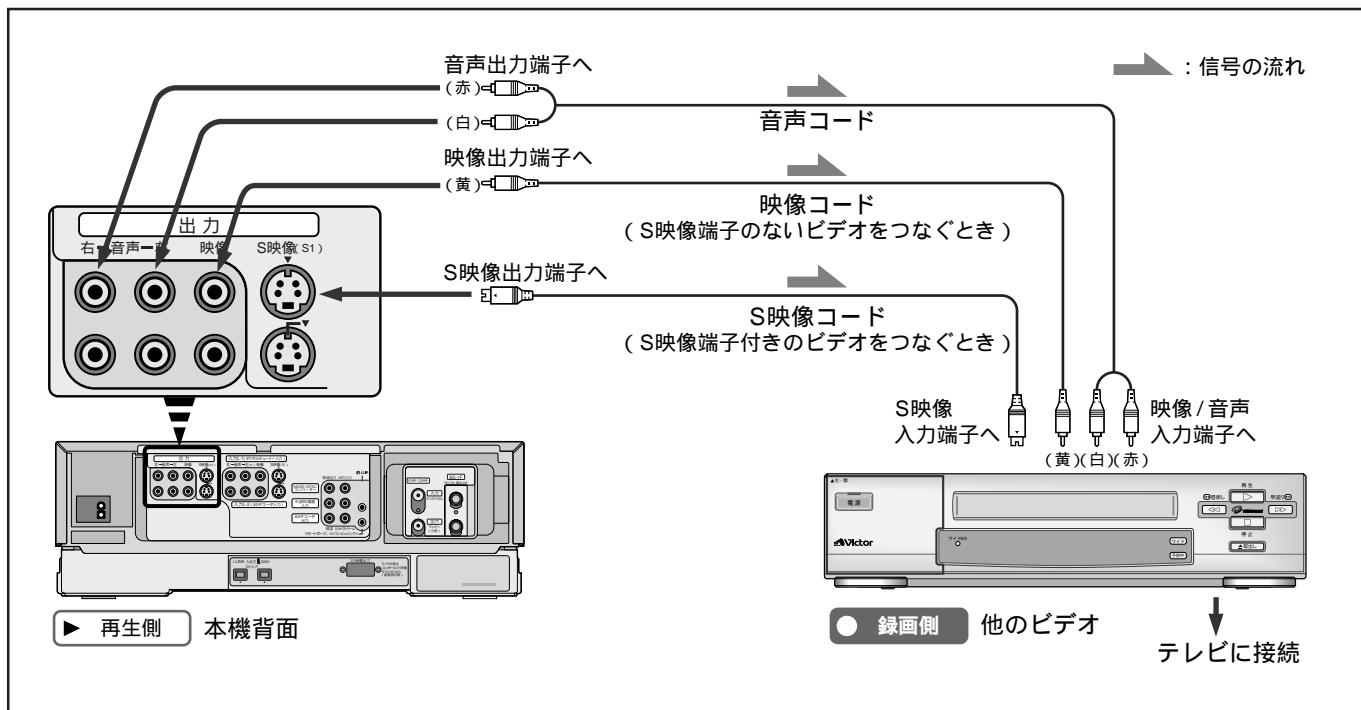
1 外部入力を選ぶ

- ● 前面の映像/音声入力端子に、再生機をつないだときは「F-1」、背面の映像/音声入力端子に、再生機をつないだときは、「L-1」または「L-2」を選びます。

2 録画一時停止状態にする

を押しながら

4 録画を始める

- • ダビングが終わったら、メニューの「インテリジェントピクチャー」(☞89, 90ページ)を「オートピクチャー」(テープレベルアップが「切」のときには「スタンダード」)に戻しておいてください。

本機で再生、他機で録画する【S-VHS/VHS 記録】

本機側（再生）

準備

- 再生するテープを入れておきます。
- メニューの「オンスクリーン」（☞87ページ）を「切」にしておきます。
  「オート」または「入」になっていると、本機のオンスクリーン表示が同時に録画されてしまいます。
- メニューの「インテリジェントピクチャー」（☞89, 90ページ）を「ダビング」にします。

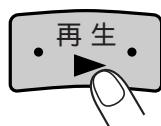
他機側（録画）

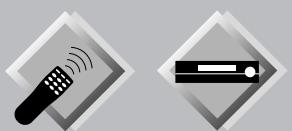
準備

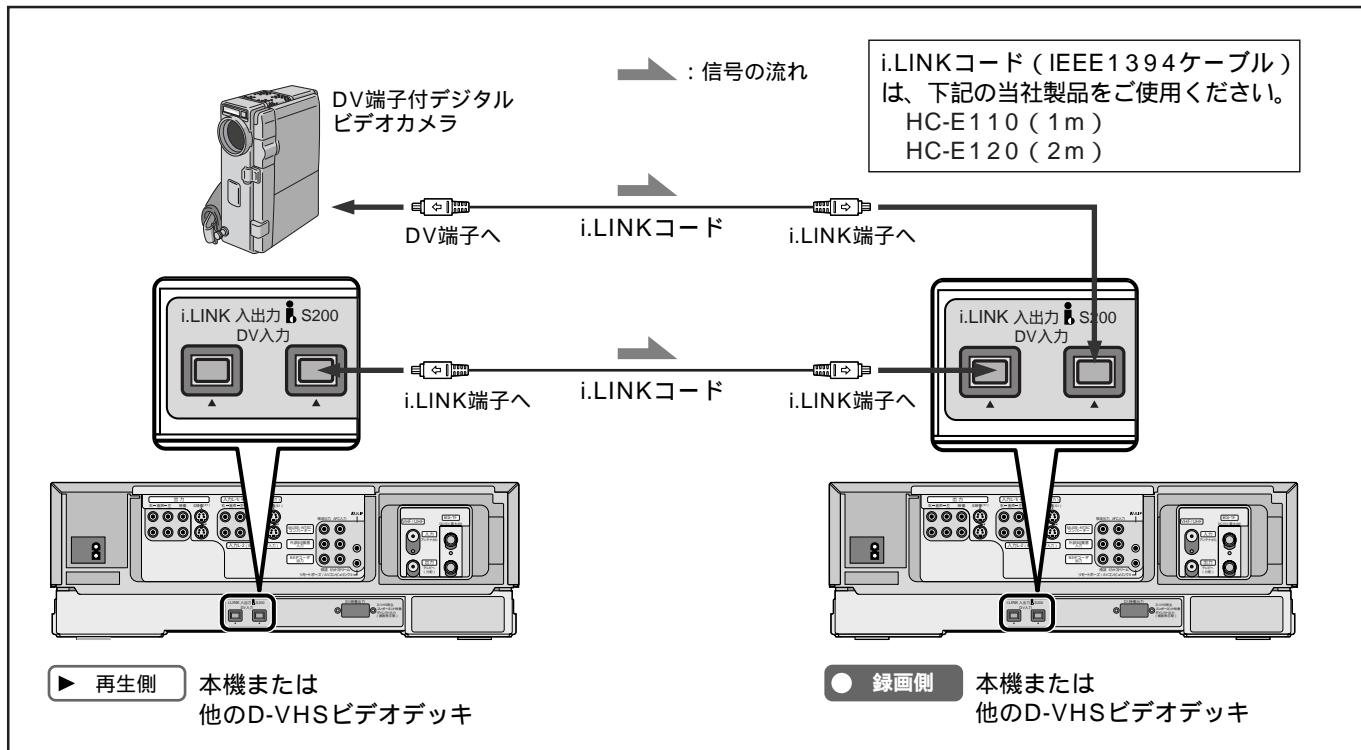
- 録画用のテープを入れておきます。
- 実際の操作のしかたは、他機の取扱説明書をご覧ください。

1 本機を接続した外部入力を選ぶ

2 録画一時停止状態にする

3 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

4 録画を始める

- S映像端子と映像端子（黄色）の両方をつなぐ必要はありませんが、他のビデオにS映像入力端子があるときは、S映像端子どうしをつないでお使いいただくと、よりきれいな映像をお楽しみいただけます。
- ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。
- ダビングが終わったら、メニューの「インテリジェントピクチャー」（☞89, 90ページ）を「オートピクチャー」（テープレベルアップが「切」のときは「スタンダード」）に戻しておいてください。

本機とi.LINK（またはDV）端子付きビデオ機器でD-VHS記録する

DV端子付きのデジタルビデオカメラやD-VHSビデオデッキから本機にD-VHS記録でダビングすることができます。

再生側

準備

● 再生するテープを入れておきます。

2 ダビングしたい部分の少し前から再生を始める

- 接続する機器の取扱説明書もご覧ください。
- DV端子付きビデオカメラからのダビングは、本機でDVフォーマットからMPEG2フォーマットに変換してD-VHS記録します。
- 本機のi.LINK端子からDV端子付きビデオカメラへのダビングはできません。
- D-VHSビデオデッキどうしでダビングする場合、STDモードからLS3モードへダビングすると、正しく録画できません。録画スピードは、再生側と同じスピードで録画することをおすすめします。
- デジタルビデオカメラの機種によっては、i.LINKの通信ができないことがあります。このようなときは、メニューの「i.LINK設定変更」の「リンク(LINC)」を「切」にしてください。(☞95ページ)
- 本機背面のi.LINK端子の「S200」の表記については、☞101ページをご覧ください。

録画側

準備

● 録画用のD-VHSテープを入れておきます。

1 外部入力を選ぶ

● 本機の場合は、チャンネル＋/－ボタンを押して、接続した機器のi.LINK機器番号（I-1など）を選びます。(☞96ページ)

3 録画を始める

- ダビングが終わったときは、本機と他機の両方を停止させてください。
- 接続するi.LINK端子付き機器によっては、データ処理方式などの違いにより、本機と接続機器のノイズの出かたが異なる場合があります。
- 本機はDTLA(The Digital Transmission Licensing Administrator)のコピー・プロテクション技術に対応しています。したがって、コピーを1回しか許可されていない番組はダビングすることができません。（デジタルCS放送からの録画が1回目のコピーにあたります）DTLAについて詳しくは、デジタルCSチューナーの取扱説明書をご覧ください。

接続しているi.LINK機器の番号を変更する

i.LINK 機器番号を変更する

本機背面のi.LINK端子には、デジタルビデオカメラやD-VHSビデオデッキなどを接続できます。i.LINK端子に接続した機器には、接続順にi.LINK機器番号が割り付けられます。i.LINK機器番号を変更したいときは、下の操作をしてください。

準備

- テレビの電源を入れて、本機をつないだ外部入力を選びます。（本機からの映像をテレビ画面に映します。）
- リモコンのビデオボタンを押します。

1 「メニュー」画面を表示させる

2 「i.LINK設定変更」画面を表示させる

☞を「i.LINK設定変更」に合わせてから、

3 i.LINK機器番号をリセットする

☞を「番号のリセット」に合わせてから、

- OKボタンを押すと、「i.LINK番号のリセット完了しました」を表示し、元のテレビ画面に戻ります。

4 i.LINK機器番号を付け直す

- 本機背面のi.LINK端子に、1台づつ接続してください。接続した順に、i.LINK機器番号が自動的に割り付けられます。
- 接続機器の認識をするため、接続するときは、D-VHSビデオデッキの電源プラグは、コンセントに接続しておいてください。また、デジタルビデオカメラの場合は、電源を入れた状態で接続してください。

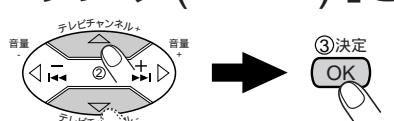
・リンク(LINC)設定について

オート： 本機から他のi.LINK機器を選択できます。i.LINK機器の番号を確認するときは、チャンネル+／−ボタンを押して、テレビ画面に出る表示で確認してください。(☞96ページ)
通常は「オート」にします。

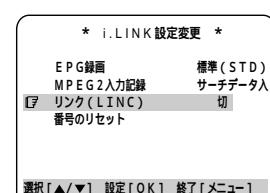
切： 本機から他のi.LINK機器を選択できません。
ただし、他のi.LINK機器またはデジタルビデオカメラなどから本機が選択された場合は通信できます。通信しているときは、「I-1」などを表示します。

i.LINK 接続機器との通信をやめる

上の手順1,2の操作をしてください。

3 「リンク(LINC)」を「切」にする

☞を「リンク(LINC)」に合わせてから、

「切」を選ぶ

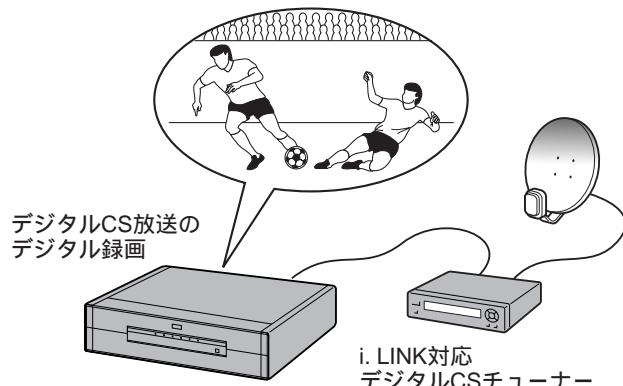
- OKボタンを押すごとに、「オート↔切」が交互に切り換わります。

4 設定を終了する

メニュー画面が消えます。

便利な機能

i.LINK(アイリンク)とは

i.LINK とは？

i.LINK は、i.LINK 端子を装備した機器間で、ケーブル 1 本でデジタル映像信号やデジタル音声､他機制御信号を双方向でやりとりできるデジタルシリアルインターフェイスです。

i.LINK は、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394 －1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

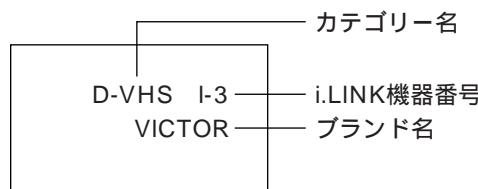
本機では、4 ピンタイプの i.LINK 端子を使用して MPEG2 圧縮（☞113 ページ）された映像信号とオーディオ、制御信号を入出力します。またデジタルビデオカメラのDV出力からのDV 圧縮信号の入力端子として使用しています。

i.LINK 接続するには

複数の i.LINK 接続をして機器のデータのやりとりは直接接続した機器だけでなく､他の機器を通してつながれている機器に対しても、双方で操作やデータのやりとりができます。
i.LINK接続はつないだ順に機器が認識されて機器番号(接続した機器固有の番号）を割り付けていきます。

- ビデオデッキは電源プラグがコンセントに接続していれば電源を入れなくても､i.LINK接続しただけで認識されます。
- デジタルビデオカメラの場合は､i.LINK接続後にデジタルビデオカメラ本体の電源を入れたときに認識されます。
- メニューのモード選択で「i.LINK・時計表示(電源切)」を「切」(☞85ページ)にして､本機の電源を切ると､i.LINK機器の認識ができません｡そのため､デジタルCSチューナー側で予約した番組の録画ができません｡また､分岐接続している場合､データの中継をしません｡

i.LINK 接続のオンスクリーン表示について

テレビ画面表示

i.LINK接続すると､接続機器を本機が認識すると認識した機器を表示します。

カテゴリー名　：接続した機器の種類を表示します。
D-VHS（D-VHS ビデオデッキ）
DV（デジタルビデオカメラやDVデッキ）
チューナ（デジタル衛星放送チューナー
またはデジタル地上波放送チューナー）

i.LINK 機器番号：接続した順番に本機が自動的に割り付けてゆきます。この番号は取り外して再度接続しても、本機のメモリーに記憶されるために同じ番号で認識されます。別の番号にしたいときは、i.LINK 設定変更メニュー（☞95 ページ）から「番号のリセット」を選択して新たに接続し直してください。

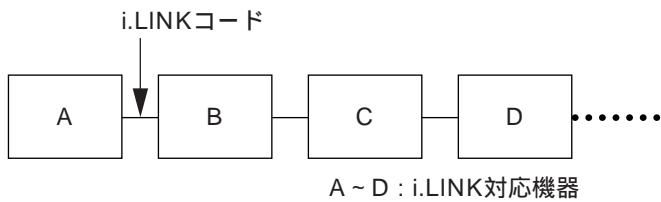
ブランド名　：接続した機器の製造メーカーを表示します。

接続している i.LINK 機器が選択できないときは
- メニューの「i.LINK設定変更」の「番号のリセット」をしてください。（☞95 ページ）
- メニューの「i.LINK設定変更」の「リンク(LINC)」を「切」にしてください。（☞95 ページ）

- チャンネル－/＋ボタンでi.LINK端子からの入力(I-1など)を選択したとき､出画するまでに多少時間がかかったり、画像が乱れることがあります。
- 他のi.LINK機器から本機が選択されたとき､または､本機背面のi.LINK端子に多くの機器が接続されているとき､データ容量が多すぎて､i.LINK機器の選択ができないことがあります。

i.LINKの接続方法について

i.LINK対応の機器は、デイジー・チェーン（数珠つなぎ）にしてi.LINKコードで接続します。

A〜D：i.LINK対応機器

データをやりとりする機器の間に他の機器が接続されていても双方向での通信が可能です。
また、入力されたMPEG2やDV信号をそのまま次の機器に接続する「リピーター機能」があります。

i.LINKの分岐接続について

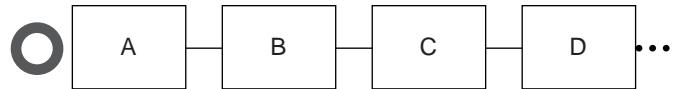
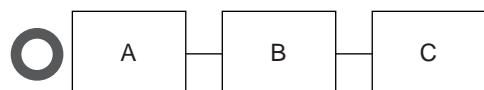
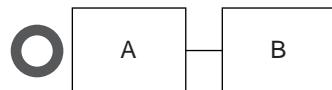
もし、i.LINK端子を3つ以上搭載する機器があれば、途中で分岐接続を行なえます。

A˜F：i.LINK対応機器
B, C：i.LINK3つ搭載機器

- i.LINK接続は本機を含めて63台まで接続可能です。ただし分岐接続の場合は最長経路で17台まで接続できます。
- パソコンや一部の機器では、電源が切られているとデータを中継しない場合があります。
  また、本機のメニューのモード選択で「i.LINK・時計表示（電源切）」を「切」（☞85ページ）にしているときも、データを中継しません。
  接続機器の取扱説明書もお読みください。
- 本機のi.LINK端子の最大データ転送速度は200Mbps（1秒間に約200Mビット）です。最大データ転送速度は、転送速度の異なる機器を接続した場合や、仕様により、転送速度が遅くなる場合があります。

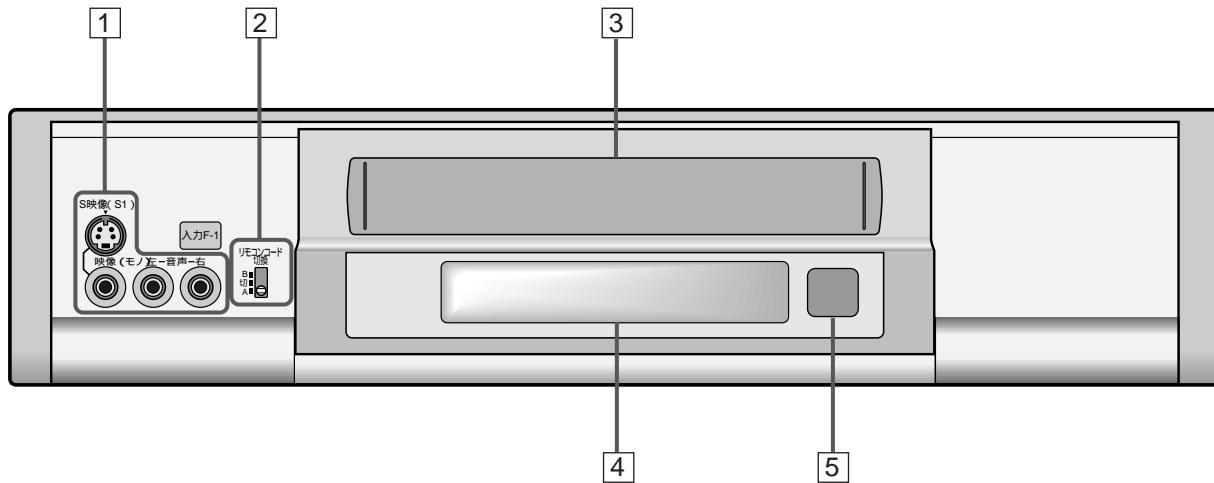
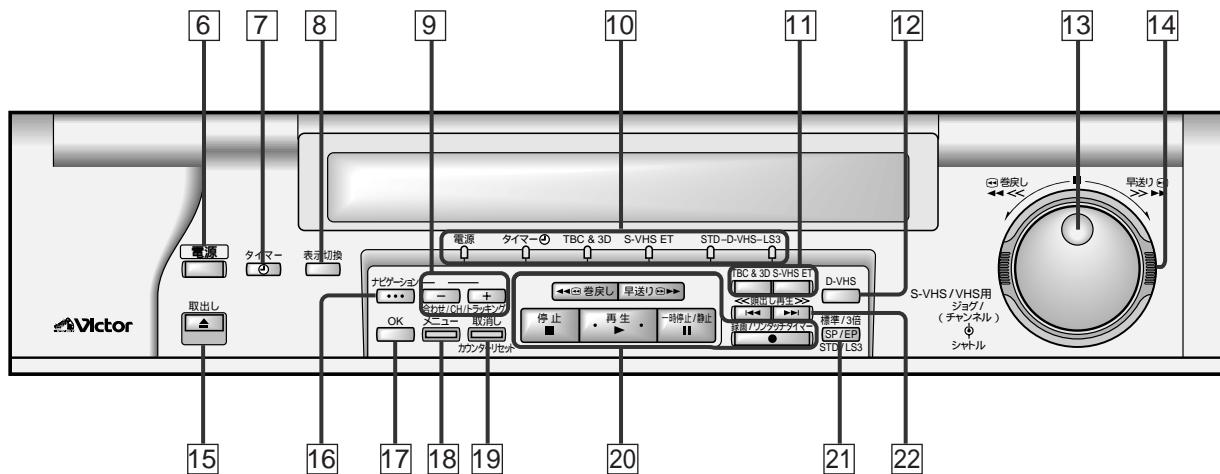
i.LINKの接続例について

正しい接続例と悪い接続例を記します。デジタル信号は接続したすべての機器に流れます。デジタル信号を出力した機器に信号が戻らないように、接続します。決して接続がループ（輪）にならないようにしてください。

正しい接続（A〜D：i.LINK対応機器）
接続がループしていません。

悪い接続（A〜D：i.LINK対応機器）
接続がループになっています。

C：i.LINK端子3つ搭載機器

各部の名称

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

1 **映像／音声入力端子**
ビデオカメラなどからダビングしたいときに使います。

2 **リモコンコード切換**（☞12 ページ）
リモコンのコードを切り換えるときに使います。
「切」にすると、リモコン操作できません。

3 **テープ出し入れ口**

4 **本体表示窓**
ビデオの操作状態を表示します。

5 **リモコン受光部**

6 **電源ボタン**
電源を入／切します。

7 **タイマー（◷）ボタン**（☞59, 61 ページ）
録画予約を設定／解除します。

8 **表示切換ボタン**（☞51 ページ）
テープ残量や時計表示などの切り換えます。

9 **合わせ/CH/トラッキングボタン**（☞52, 81ページ）
チャンネル切換、トラッキング調整などを行うときにお使いください。

10 **ランプ表示部**

- **電源ランプ**
- **タイマー（◷）ランプ**（☞59, 61 ページ）
  タイマー予約のあるときに点灯します。
- **TBC & 3D ランプ**（☞78 ページ）
  TBC & 3D ボタンを押したときなどに点灯します。
- **S-VHS ET ランプ**（☞83 ページ）
  S-VHS ET ボタンを押したときなどに点灯します。
- **D-VHS ランプ**（☞52 ページ）
  D-VHS方式で録画・再生しているときなどに点灯します。

11 **TBC&3D ボタン**（☞78 ページ）
再生画像の横揺れや画面の曲がりを補正するときに押します。

S-VHS ET ボタン（☞83 ページ）
VHSテープにS-VHSの画像で記録するときに押します。

12 **D-VHS ボタン**（☞48 ページ）
D-VHSテープにS-VHS/VHS記録するときに押します。
再度押すと、D-VHS モードになります。

13 **ジョグダイヤル**（☞80 ページ）
コマ送りするときに使います。
チャンネル切換えするときにもお使いください。

14 **シャトルリング（≪/≫、⏩/⏪）**
再生中に、映像を見ながら早送り、巻戻しができます。
（☞80 ページ）

巻戻し（◀◀）
再生中は、映像を見ながら巻戻しができます。停止中は、テープを巻戻します。（☞49 ページ）

早送り（▶▶）
再生中は、映像を見ながら早送りができます。停止中は、テープを早送りします。（☞49 ページ）

15 **取出し（⏏）ボタン**
テープを取り出すことができます。

16 **ナビゲーションボタン**（☞65 ページ）
テープを入れて押すと、録画した番組のタイトル画面が表示されます。

17 **OK ボタン**
メニュー操作の決定ボタンです。

18 **メニューボタン**（☞89 ページ）
メインメニューが表示されます。

19 **取消し / カウンターリセット**
予約などの取消しを行うときにお使いください。
（☞63 ページ）
カウンターをリセットするときにもお使いください。
（☞51 ページ）

20 **テープ操作ボタン**

録画（●）ボタン（☞52 ページ）
録画を始めます。
録画中に繰り返し押すと、録画時間を30分単位で設定できます。

巻戻し（◀◀）ボタン（☞49, 50 ページ）
再生中に押すと、映像を見ながら巻戻しができます。
停止中はテープを巻戻します。

早送り（▶▶）ボタン（☞49, 50 ページ）
再生中に押すと、映像を見ながら早送りができます。
停止中は、テープを早送りします。

停止（■）ボタン
再生や録画を止めたいときに押します。

再生（▶）ボタン（☞49 ページ）
テープの再生を始めます。

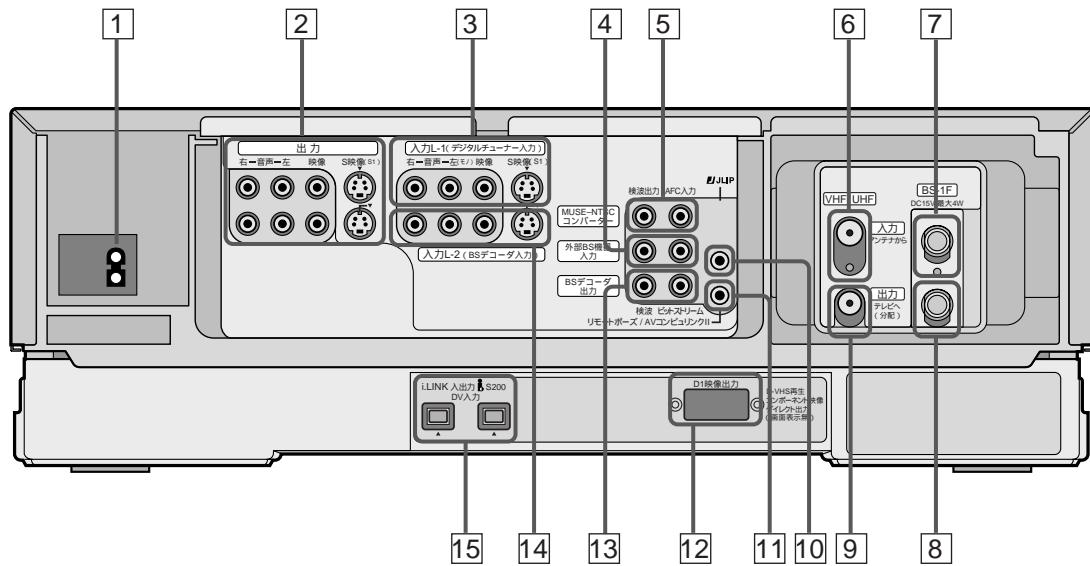
一時停止（II）ボタン（☞50, 78 ページ）
再生中や録画中に押すと、一時停止します。
再生一時停止中に、繰り返し押すと、コマ送り再生ができます。

21 **標準(STD)/3倍(LS3)ボタン**（☞52 ページ）
録画スピードを切り換えるときに使います。

22 **頭出し再生ボタン**（☞76 ページ）
頭出しを行うときにお使いください。

各部の名称（つづき）

（☞ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体背面

1 **電源ソケット**
- 付属の電源コードを電源ソケットの形状に合わせて接続し、壁のコンセントにつなぎます。
- 灰色部分が挿入部です。

2 **S 映像、映像 / 音声出力端子**（☞93 ページ）
テレビ（または他の AV 機器）の映像 / 音声入力端子とつなぎます。

3 **入力 L-1 端子（デジタル CS チューナー入力）**
（☞19 ページ）
i.LINK 対応のデジタル CS チューナーなどの S 映像（または映像）/ 音声出力端子とつなぎます。

4 **外部 BS 機器入力端子**
検波入力端子： BS 内蔵テレビなどの検波出力端子とつなぎます。（☞24 ページ）
ビットストリーム入力端子：
BS 内蔵テレビなどのビットストリーム出力端子とつなぎます。（☞24 ページ）

5 **MUSE-NTSC コンバーター端子**
検波出力端子： MUSE-NTSC コンバーターの検波入力端子とつなぎます。（☞28 ページ）
AFC 入力端子： MUSE-NTSC コンバーターの AFC 出力端子とつなぎます。（☞28 ページ）

6 **アンテナ入力端子**（☞16 ページ）
VHF/UHF アンテナをつなぎます。

7 **BS アンテナ入力端子**
BS アンテナをつなぎます。（☞20 ページ）

8 **BS アンテナ出力端子**
BS 内蔵テレビの BS アンテナ入力端子とつなぎます。（☞20 ページ）

9 **アンテナ出力端子**（☞17 ページ）
テレビのアンテナ入力端子とつなぎます。

10 **JLIP 端子**
JLIP 端子付きのビクター製ビデオデッキ HR-X7 などを接続します。詳しい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

11 **リモートポーズ /AV コンピュリンク Ⅱ 端子**
リモートポーズ端子（☞92 ページ）
編集端子付きのビクター製ビデオカメラなどを接続します。詳しい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。
AV コンピュリンク Ⅱ 端子（☞30 ページ）
AV コンピュリンク端子付きのビクター製テレビ、オーディオシステムなどを接続します。詳しい説明は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

12 **D1 映像出力端子**（☞18 ページ）
デジタル放送の480iに対応したコンポーネント（色差出力）端子です。デジタル放送に対応した D 端子入力付きのテレビと別売のコンポーネントビデオコードで接続することにより、高解像度のカラー画像をご覧になれます。
- 本機の音声出力端子とテレビを音声コードで接続してください。D端子コードだけでは、音声はテレビから出力されません。
- 本機では、VHS および S-VHS の再生画像は出力されません。また、オンスクリーン表示も出力されません。オンスクリーン表示を出すためにはS1映像または映像出力端子からの出力も同時にテレビに接続してください。

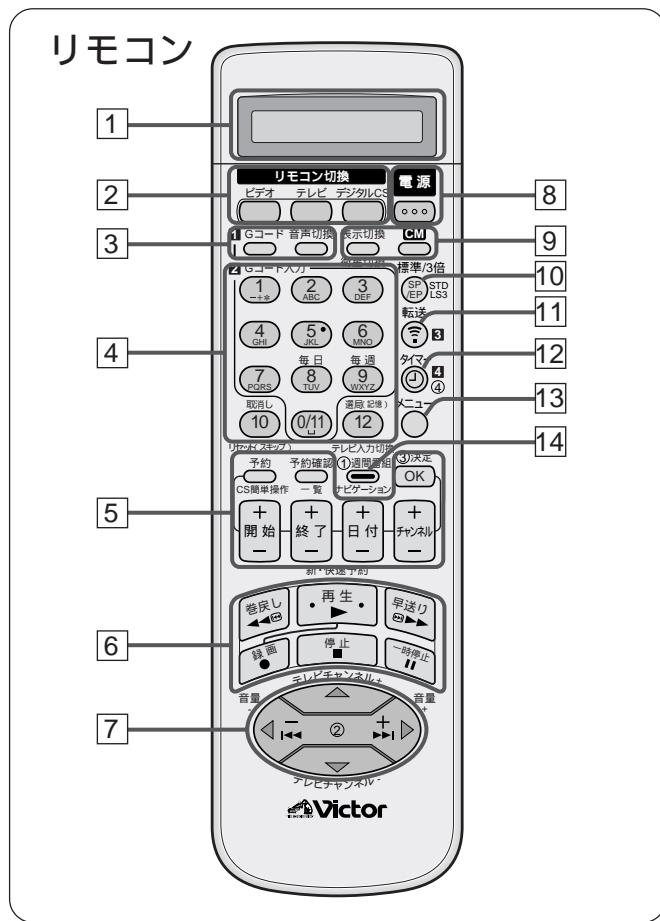
13 **BS デコーダ出力端子**
検波出力端子： BS デコーダーの検波入力端子とつなぎます。（☞24 ページ）
ビットストリーム出力端子：
BS デコーダーのビットストリーム入力端子とつなぎます。（☞24 ページ）

14 **入力 L-2 端子**（☞24, 28 ページ）
BSデコーダーまたはMUSE-NTSCコンバーターなどを接続します。

15 **i.LINK 端子**（☞19, 94 ページ）
別売の i.LINK コードをデジタル CS チューナーとつなぎます。また、D-VHSテープにデジタルダビングするときにも使用します。

- **「S200」の表記について**

i.LINK 対応機器には、その機器が対応している最大データ転送速度が i.LINK 端子の周辺に表記されています。i.LINK の最大データ転送速度は、約 100/200/400 Mbps* が定義されており、それぞれ S100, S200, S400 と表記されます。最大データ転送速度が異なる機器を接続した場合や、機器の仕様により、実際の転送速度が表記と異なることがあります。
*Mbps とは
「Mega bits per second」の略で、「メガビーピーエス」と読みます。1秒間に通信できるデータの容量を示しています。200 Mbps ならば、1 秒間に 200 メガビットのデータを送ることができます。

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

リモコン

1 **液晶表示窓**

通常は操作できる機器を VTR A (VTR B)/TV/CS で表示しています。G コード予約をするときは、入力した G コード番号と録画スピード「標準 (SP)」「3 倍 (EP)」を表示します。

2 **リモコン切換（ビデオ用/テレビ用/デジタルCS用）ボタン**

- ビデオを操作するときは、ビデオボタンを押します。
- テレビを操作するときは、テレビボタンを押します。
- デジタル CS チューナーを操作するときは、デジタル CS ボタンを押します。

3 **G コードボタン / 音声切換ボタン**

G コードボタン（☞58 ページ）
G コードを入力するときに押します。

音声切換ボタン（☞77 ページ）
聞きたい音声を選びます。

4 **チャンネル切換ボタン / メーカー指定ボタン /G コード入力ボタン（0 ～ 9）/ 文字入力ボタン（1 ～ 12）**

- ビデオ、テレビ、デジタルCSチューナーのチャンネルを切り換えます。
- お使いのテレビメーカーを指定して、本機のリモコンでテレビを操作できるようにします。（☞13 ページ）
- お使いのデジタル CS チューナーのメーカーを指定して、本機のリモコンでデジタルCSチューナーを操作できるようにします。（☞14 ページ）
- G コードを入力するときに使います。（☞58 ページ）
- タイトルを入力するときに使います。（☞66 ページ）

5 **新・快速予約設定ボタン**

- 録画予約を設定します。（☞60 ページ）
- チャンネル＋／－ボタンでビデオチャンネルを切り換えます。（☞52 ページ）

予約ボタン（☞60 ページ）
録画予約を始めるときに使います。

予約確認ボタン（☞62 ページ）
録画予約を確認したいときに押します。

6 **テープ操作ボタン**（☞49, 52 ページ）

巻戻し（◀◀）、再生（▶）、早送り、（▶▶）、録画（●）、停止（■）、一時停止（⏸）

7 **メニュー選択 ▲/▼/◀/▶ ボタン**

- メニュー項目を選択します。（☞89 ページ）
- 頭出し再生（⏮/⏭）をします。（☞76 ページ）
- 可変速再生（≪/≫）をします。（☞80 ページ）
- テレビ音量調節（＋ / －）をします。（☞13 ページ）
- タイトル編集時、カーソル移動するときに使います。（☞68 ページ）

8 **電源ボタン**

リモコン切換で選択された機器の電源を入 / 切します。

9 **表示切換（衛星切換）/ CM ボタン**

表示切換（衛星切換）ボタン

- 表示窓やテレビ画面のカウンター表示などを切り換えます。（☞51 ページ）
- 衛星 A（パーフェク TV サービス！）と衛星 B（スカイサービス）を切り換えます。（☞15 ページ）

CM ボタン
CM スキップサーチ（☞78ページ）やオート CM カット（☞82 ページ）に使います。

10 **標準（STD）/3倍（LS3）ボタン**（☞52 ページ）

- 録画スピードを切り換えるときに使います。

11 **転送ボタン**（☞58 ページ）

入力した G コードを本体に転送するときに押します。

12 **タイマーボタン**（☞59, 61 ページ）

録画予約を設定 / 解除します。

13 **メニューボタン**（☞89 ページ）

メニューを表示したり、終了します。

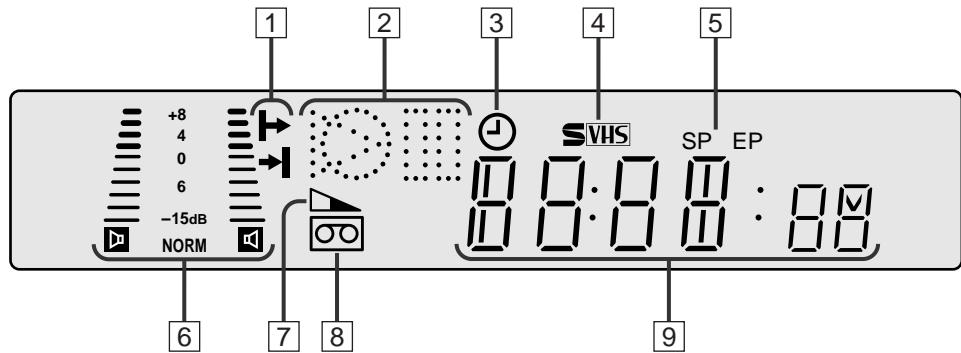
14 **テレビ入力切換／週間番組／ナビゲーションボタン**

テレビ入力切換ボタン（☞13 ページ）
リモコン切換でテレビを選択したときに、テレビの入力を切り換えます。

週間番組ボタン（☞15 ページ）
リモコン切換でデジタル CS を選択したときに、CS 放送の週間番組表を表示します。

ナビゲーションボタン（☞65 ページ）
リモコン切換でビデオを選択したときに、録画した番組のタイトル画面が表示されます。

（☞ ページ）の中の数字は参照ページです。より詳しい説明が記載されています。

本体表示窓

1 **開始 / 終了時刻表示**
表示窓で録画予約の確認をしているときに、開始時刻がカウンターに表示されているときは「⊢」、終了時刻が表示されているときは「⇥」を表示します。

2 **テープ走行表示**

3 **タイマー（◷）表示**
予約録画待機中のときに点灯します。

4 **S-VHS 表示**
S-VHS モードで記録ができるときに点灯します。

5 **録画スピード（SP/EP）表示**
S-VHS/VHS モードのときのみ表示します。
SP ：録画スピードが「SP（標準）」のとき点灯します。
EP ：録画スピードが「EP（3倍）」のとき点灯します。
D-VHS：SP/EP 表示はしません。
本体の STD または LS3 ランプが点灯します。

6 **音量レベルインジケーター**
入力される音量レベルを表示します。
◨ ◨ ：Hi-Fi 音声または D-VHS モードを選択中に点灯します。
NORM ：ノーマル音声を選択中または、再生中に点灯します。

7 **テープ残量（◺）表示**（☞51 ページ）
テープ残量が表示されているときに点灯します。

8 **カセット（⊡）表示**
本機の中にカセットが入っているときに点灯します。

9 **カウンター／チャンネル表示**
テープの走行時間、残量、時計やチャンネル番号などを表示します。
カウンター表示の－20:00:00 から－24:00:00 までの 2 の表示をしません。このときは、テレビ画面に出るカウンター表示で確認してください。
チャイルドロック動作時は右端のセグメントのうち、中央の「＿」が点灯します。

チャイルドロック

本機の電源を切るとき、リモコンのビデオ電源ボタンを約 7 秒間、押し続けるとチャイルドロックになり、本体のすべての操作ボタンが働かなくなります。（本体の表示部に「＿」が表示されます）解除するには、もう一度リモコンの電源ボタンを約 7 秒間押し続けて電源を入れてください。

故障かな？と思ったら

本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。下記の項目を確認しても直らないときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み、動作を確認してください。

	症　状	処　置	参照ページ
電源	**電源が入らない**	• 電源コードがコンセントからはずれていませんか? • 本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか? • チャイルドロック機能が働いていませんか？	16 59 103
	カウンター表示が 0:00:00 になっている	• 電源プラグを抜き差ししたり、停電があると、カウンター表示は 0:00:00 になります。	—
カセット	**カセットが入らない**	• 正しい向きで入れてください。	49
	カセットが出ない	• 録画中または本体の表示窓に「◷」が点灯していませんか？「◷」を消してから、カセットを取り出してください。このとき、録画予約は取り消されます。	62
再生	**テレビに映像が出ない**	• テレビで本機をつないだ外部入力を選んでいますか？	18
	映像が乱れる、ちらつく	• オートトラッキング中に映像が乱れたり、ちらつきが出るときは、トラッキング調整をします。 • 再生中は、トラッキングを手動で調節してください。 • ビデオヘッドが汚れて再生画が汚くなることがあります。 別売の D-VHS ヘッドクリーナー TCL-DVS で掃除してください。	81 8
	メニュー画面の文字がちらちらする	• 本機と CS チューナー、本機とテレビの接続に映像コード（黄）を使っていませんか？ よりよい映像をお楽しみいただくために、本機と CS チューナー、本機とテレビの接続には S 映像コードをお使いください。テレビによっては、文字のちらちらが直らないことがありますが故障ではありません。	19
	ハイファイステレオの音声が出ない	• モノラルのビデオデッキやビデオムービーで録画したテープを再生してもハイファイステレオ音声は出ません。	77
	日本語と外国語が同時に聞こえる	• **音声切換**ボタンで聞きたい音声を選んでください。	77
	早送り / 巻戻し再生中、静止画再生中に映像が乱れる	• 再生の速さを変えると、映像が乱れるときがあります。故障ではありません。	—
	3 倍モードで画面が上下に揺れる	• メニューの「V スタビライズ」を「入」にしてください。	51
	再生をやめても、ビデオ内部から動作音が聞こえる	• 再び再生したいときに出画時間を早くするため、ビデオ内部のドラムが約 5 分間は回転しています。故障ではありません。	—
	カウンター表示が点滅する	• 早送り、巻戻し中にテープの未録画部分になると、カウンター表示が点滅します。	—
	オンスクリーン表示が出ない	• 本機と D 端子入力付きテレビを接続して、テレビを D 入力すると、オンスクリーン表示を見ることができません。 見るためには、本機とテレビを S 映像コード（または映像コード）で接続して、外部入力（ビデオ 1 など）を選んでください。	18
リモコン	**リモコンが働かない**	• リモコンコード(A/B)が合っていますか? • 電池が消耗していませんか?	11 12
	テレビが操作できない	• 電池交換をしたら、リモコンのテレビコードをお手持ちのテレビメーカーに合わせてください。	13
編集	**ダビングできない**	• 正しい外部入力を選んでいますか？ • デジタルビデオカメラとダビングするときは、本機を再生側にすることはできません。	92 94
	ダビング時、本機で再生するとオンスクリーンの文字が録画される	• メニューで「オンスクリーン」を「切」にしてください。	87

	症　状	処　置	参照ページ
録画	**日本語だけ録音したい**	• メニューの「二カ国語音声録音」を「主」にしてください。	89
	録画できない	• カセットのつめが付いていますか？ ついていなければセロハンテープで穴をふさいでください。	53
	希望の番組が録画できない	• チャンネルが合っていますか？ • 本機で希望のチャンネルが選べないときは、そのチャンネルを受信できるようにしてください。	32 38
録画予約	**G コード録画予約ができない**	• 日付と時刻を設定してありますか? • チャンネル表示を変更したときは、ガイドチャンネルも設定し直してください。 • 新・快速録画予約を行ってください。CATV 放送は G コードで予約できないことがあります。	47 44 60
	録画予約ができない	• 日付と時刻を設定してありますか? • カセットのつめがついていますか? • 本体の表示窓の「◷」は点灯していますか? • 予約内容を確認してください。 • 停電があったときは正しく動作しません。	47 59 61 62
	本体の表示窓の「◷」が点滅する	• 設定にまちがいがあるので、予約内容を確認して、正しく設定し直してください。	58 ～ 62
	本体の表示窓の「◷」と「[oo]」が点滅する	• カセットが入っていません。つめの付いたカセットを入れてください。	—
	本体表示窓に「ーー：ーー」を表示している	• 停電がありました。もう 1 度、日付と時刻を設定してください。	47
	予約の録画が始まるまでの間、テープを見たい	• 本体の表示窓の「◷」を消してから操作します。 操作終了後は、ふたたび、「◷」を点灯させます。	62
	録画予約中にカセットが出て、本体の表示窓の「◷」と「[oo]」が点滅している	• テープの終わりまで録画すると、カセットが出て電源が切れます。 **タイマー**（◷）ボタンを押すと「◷」と「[oo]」は消えます。 タイマー録画するときは、予約する時間よりも余裕のあるカセットを入れてください。	—
	予約の録画中に停止するには	• **タイマー**（◷）ボタンを押し、本体の表示窓の「◷」を消してから、**停止**（■）ボタンを押します。	62
	録画予約時、テレビ画面に「予約がいっぱいです」と表示される	• 録画の予約は 8 番組までしか記憶できません。予約内容を確認し、不要な予約を取り消してから予約してください。	62
	録画を予約中に予約中の表示が消えた	• 予約中に約 1 分間放置すると予約表示は消えます。もう 1 度やり直してください。	60
	設定した予約内容が消えた	• 予約開始時刻を過ぎても実行しないものは、予約内容が取り消されます。	—
	予約の録画中に、誤って本体の電源ボタンを押してしまったら	• 予約の録画中に本体の**電源**ボタンを押すと、録画を停止し、電源が切れます。 （リモコンの**電源**ボタンを押しても電源は切れません。） 電源が切れた際、他にも予約があるときは、ふたたび録画予約待機中になります。	—
	デジタル CS 放送の番組を録画中に停止したいときは	• デジタル CS チューナーの電源ボタンを押してください。デジタル CS チューナーと本機の電源が切れます。	—
	ぴったりクロックが働かない	• 地域番号入力後、NHK教育テレビのチャンネル表示を変更したときは、「時計合わせ」画面のぴったりクロックのチャンネルも変更してください。	47

	症　状	処　置	参照ページ
録画予約	**予約したデジタルCS放送の番組が録画されない**	• メニューのモード選択で「i.LINK・時計表示（電源切）」を「切」にして、本機の電源を切ると、i.LINK機器の認識ができません。そのため、デジタルCSチューナー側で予約した番組の録画ができません。 「i.LINK・時計表示（電源切）」を「入」にしてください。	85
	デジタルCSチューナーと本機の予約が重なったときは	後に予約した番組は録画されません。また、先に始まるデジタルCSチューナーの予約が、放送開始時刻に合わせて変更され、本機の予約と重なった場合も、本機の予約は録画されません。 （CSチューナー：ビクターデジタルCSチューナーTU-VCS1） 部分：録画しません **●予約が重なったとき** 7:00 8:00 9:00 10:00 CSチューナー 本機（ビデオ） 7:00 8:00 9:00 10:00 本機（ビデオ） CSチューナー **●CSチューナーの予約終了時刻と本機の予約開始時刻が同じとき** 7:00 9:00 11:00 CSチューナー 本機（ビデオ） **本機の録画予約を実行するためには、本機の予約開始時刻を1分遅らせてください。（☞63ページ）ただし、番組の頭は1分欠けます。** **●本機の予約終了時刻とCSチューナーの予約開始時刻が同じとき** 7:00 9:00 11:00 本機（ビデオ） CSチューナー **CSチューナーの録画予約を実行するためには、本機の予約終了時刻を1分早めてください。（☞63ページ）ただし、番組の終わりは1分欠けます。**	—
	本機の予約が重なったときは	**●予約が重なったとき** 先に始まる予約が優先され、録画終了後、次の予約を録画します。 7:00 8:00 9:00 10:00 予約1 予約2 **●予約の開始時刻が同じとき** 先に予約した番組が優先されます。 7:00 9:00 10:00 予約1 予約2	—
デジタル再生	**再生画像が静止画および黒い画面になる**	• D-VHSテープを使用しているか確認してください。 • ヘッドの清掃が必要です。別売のヘッドクリーニングテープをご使用になり、ヘッドの清掃をしてください。それでも直らないときには、お買い上げの販売店またはお近くのビクターサービスにご相談ください。 • 再生中につなぎ撮り部分（録画を停止（一時停止）し、再び録画を始めた部分）および、VHS再生（標準/3倍）からD-VHS再生に切り換わる部分を再生すると、画面が出るまで少し時間がかかります。	8
	D-VHSテープを入れて再生してもD-VHSのSTDまたはLS3のランプが点灯しない	• D-VHSモードで録画されていません。録画するときは、本体のSTDまたはLS3ランプが点灯している事を確認して録画してください。	48 52

症　状		処　置	参照ページ
衛星放送	BS番組が映らない	• メニューで「BSアンテナ電源」を正しく設定してください。 • WOWOWをご覧になるには、BSデコーダーが必要です。 • BSデコーダーの電源を入れていますか？	21 24
	WOWOWの音声が聞こえない	• BSデコーダーの音声切換は正しいですか？ • メニューの「BS独立音声」を「切」にしてください。	57
スカイパーフェクTV！	スカイパーフェクTV！の番組が録画できない（黒い画面が録画される）	• CSアンテナを正しく接続しているか確認してください。 • スカイパーフェクTV！の以下の放送は録画できません。録画した番組が該当していないか確認してください。 1）受信契約をしていないチャンネル 2）視聴年齢制限の暗証番号が一致していない番組 3）購入していないペイ・パー・ビュー番組 4）著作者が録画を禁止している番組 5）休止中の放送	—
	動きの激しい画像や画面の切り換え時にモザイク状の歪みが出る	• 映像ビットレートの低い番組の時に発生します。これは放送局側で、すでにモザイク状のノイズが発生していますので、本機の故障ではありません。	—
ビデオナビゲーション	番組情報のデータが登録されない	• 番組情報データの登録数がいっぱいになっています。いらないテープの登録内容を消してください。 • メニューの「ナビゲーション」を「入」にしてください。 • 録画時間が短いときは、登録されません。	72 75 64
	見たい番組が探せない	• 本機以外のビデオで録画したテープを使用しているときは、見たい番組を探すことはできません。 • 本機で録画したところまでテープを巻戻しまたは早送りしてから、ナビゲーションボタンを押してください。	64 65

エラーメッセージ

区分	エラーコード	内　容	処　置
録画	100	デジタルCSチューナーの番組を「I-1など」を選択してLS3モードで録画したとき	番組によっては、ビットレートオーバーにより、i.LINK端子からのデジタル信号をLS3モードで録画できないことがあります。LS3モードで録画するときは、入力切換を「L-1」にして録画することをおすすめします。
	101	デジタルCSチューナー側で予約した番組をLS3モードで録画したとき	ビットレートオーバーにより、i.LINK端子からのデジタル信号をLS3モードでは録画できません。LS3モードで録画すると、入力切換を「I-1など」から「L-1」に自動的に切り換え、アナログ信号をデジタル信号に変換して録画します。
	102	•アナログ信号のみコピー禁止の番組をD-VHS記録したとき •番組をD-VHS記録中に、アナログ信号のみコピー禁止の信号が本機に入力されたとき	デジタルコピー・録画禁止の番組は録画できません。
	103	•デジタルコピー禁止の番組をD-VHS記録でダビングしたとき •D-VHS記録でダビング時、デジタルコピー禁止の情報が本機に入力されたとき	本機は、DTLAなどのコピー・プロテクション技術に対応しており、デジタル録画禁止の番組は録画できません。
	104	本機でデジタル変換できない信号を録画したとき	本機で対応できない信号方式が入力されたため、録画しても再生できない場合があります。「L-1」などのアナログ入力に切り換えて録画してください。（再生時に、デジタルチューナーなどを使用すると、視聴できる場合があります。）
	105	デジタルCSチューナー以外のi.LINK機器からの信号をS-VHS/VHS録画したとき	本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。 デジタル信号をアナログ信号に変換しての記録はしません。 「L-1」などのアナログ入力に切り換えて録画してください。
	107	デジタルCSチューナー側で、「i.LINK」を選択して予約した番組を、S-VHS/VHS録画したとき	本機のi.LINK端子は、D-VHS記録専用です。デジタル信号をアナログ信号に変換しての記録はしません。また、VHSテープにD-VHS記録はできません。入力切換を自動的に「L-1」に切り換えて録画します。録画スピードは、メニューの「i.LINK設定変更」の「EPG録画」で設定してください。（☞89,91ページ）
再生	200	本機でデジタル変換できない信号を入力し、再生したとき	本機で対応できない信号方式が入力されたため、映像または音声が再生できません。記録時に使用したデジタルチューナーなどで再生してください。
	201	モザイク画（ブロック状のノイズ）など、正常に再生できないとき	正常な映像を出画するために、本機が調整中です。しばらくお待ちください。
	205	不正と判断されるD-VHS記録したテープを再生したとき	本機では再生できないテープです。
入力信号	300	本機でデジタル変換できない信号を入力したとき	本機で対応できない信号方式が入力されたため、視聴できません。
	301	本機のi.LINK端子に入力された信号のデータ容量が多いとき	本機のi.LINK端子に接続したデジタルCSチューナーやデジタルビデオカメラなどのi.LINK端子付きの機器が多すぎます。使用しない機器の電源を切っておいてください。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、ビデオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。この期間は通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。この製品の製造時期は、本体の背面に表示されています。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」（110～ 111 ページ参照）にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは（出張修理）

104～108 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

万一本機およびビデオカセット等の不具合により、正常に録画・録音ができなかった場合の内容の補償については、ご容赦ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	D-VHSデジタルレコーダー
型　名	HM-DR10000
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	(　　)　　－

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のビデオカセットレコーダーの点検をぜひ！

！熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●再生しても映像や音声が出ない。 ●電源プラグ、コードが異常に熱い。 ●異常な臭いや音がする。 ●水や異物が入った。 ●その他の異常や故障がある。

ご使用を中　止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検をご相談ください。

美しい画面をご覧いただくために

ビデオカセットレコーダーは非常に高い精度を必要とする機械です。長い間ご使用になるうち、機械部分が汚れたり、摩耗したりすると性能が維持できなくなります。美しい画面でお楽しみいただくために、およそ1,000時間をめどに点検整備されることをおすすめいたします。

サービス窓口案内

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご用命ください

ご贈答品等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、機種名をご確認の上、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

●修理についてのご相談窓口

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
北海道				
北海道	札幌S.C.	(011)898-1180	004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1丁目2-29
	苫小牧S.S.	(0144)34-6682	053-0032	苫小牧市緑町2-7-11
	旭川S.C.	(0166)61-3659	070-8012	旭川市神居二条3-2-15
	北見S.S.	(0157)25-8557	090-0037	北見市山下町4-7-19
	釧路S.S.	(0154)24-0797	085-0036	釧路市若竹町6-13
	帯広S.S.	(0155)24-4493	080-0806	帯広市東六条南12-11
	函館S.S.	(0138)46-5324	041-0806	函館市美原3-16-25
東北				
青森	青森S.C.	(0177)23-2261	030-0844	青森市桂木4-6-17
	八戸S.S.	(0178)44-4521	031-0804	八戸市青葉2-21-2
	弘前S.S.	(0172)28-0165	036-8084	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡S.C.	(019)637-0121	020-0835	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢S.S.	(0197)22-2773	023-0815	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田S.C.	(018)824-3189	010-0953	秋田市山王中園町4-1
	大館S.S.	(0186)43-0980	017-0874	大館市美園町5-6
	横手S.S.	(0182)32-8873	013-0064	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台S.C.	(022)287-0151	984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻S.S.	(0225)94-7711	986-0853	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形S.C.	(023)642-0279	990-2412	山形市松山3-12-18
	酒田S.S.	(0234)26-7145	998-0842	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山S.C.	(024)952-6331	963-0205	郡山市堤1-3
	いわきS.S.	(0246)28-4991	970-8034	いわき市平上荒川字桜町19-4
	会津若松S.S.	(0242)32-0247	965-0022	会津若松市滝沢町1-5
	福島S.S.	(024)553-9437	960-0103	福島市本内字南原26-1
関東・甲信越				
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(025)241-4003	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	新潟S.C.	(025)242-3431	950-0084	新潟市明石1-2-19
	長岡S.S.	(0258)24-8391	940-0012	長岡市下々条2-1366-1
	上越S.S.	(0255)45-1734	942-0081	上越市五智1-11
長野	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(026)221-7607	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	長野S.C.	(026)221-6583	380-0913	長野市川合新田962-1
	松本S.S.	(0263)25-9165	390-0837	松本市鎌田2-3-50
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(027)255-5982	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	前橋S.C.	(027)255-5921	371-0854	前橋市大渡町1-19-1
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(028)635-2938	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	宇都宮S.C.	(028)638-1639	320-0864	宇都宮市住吉町17-9
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	土浦S.C.	(0298)21-8756	300-0813	土浦市富士崎1丁目10-1
	水戸S.S.	(029)246-1560	310-0836	水戸市元吉田町1077
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(055)227-5773	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	甲府S.S.	(055)237-4016	400-0864	甲府市湯田2-11-5

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
千葉				
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	千葉S.C.	(043)246-2588	261-0001	千葉市美浜区幸町2-1-1
	木更津S.S.	(0438)23-3035	292-0000	木更津市清見台2-1-3 グレイスビル1F
	柏S.C.	(0471)75-4322	277-0863	柏市豊四季512-10-67
	浦安S.S.	(047)353-6189	279-0001	浦安市当代島2-13-27
東京				
東京	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	本郷S.C.	(03)5684-8254	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原S.S	(03)3251-2128	101-0021	東京都千代田区外神田1-6-6
	練馬S.C.	(03)3993-7520	176-0014	東京都練馬区豊玉南1-19-1
	大田S.C.	(03)3727-9385	145-0062	東京都大田区北千束2-20-6
	八王子S.C.	(0426)46-6914	192-0045	東京都八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	首都圏メンテナンスセンター	(03)3874-5231	110-0003	東京都台東区根岸5-4-3
埼玉				
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大宮S.C.	(048)654-5241	330-0037	大宮市東大成町2-658-1
	熊谷S.S.	(048)553-5105	361-0057	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
	川越S.S.	(0492)42-4496	350-1106	川越市小室491-1
神奈川				
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口			
	首都圏サービスセンター	(03)5803-2888	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル2F
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	横浜S.C.	(045)651-0403	231-0028	横浜市中区翁町1-3-1
	横須賀S.S.	(0468)34-9261	239-0831	横須賀市久里浜6-4-1
	川崎S.C.	(044)975-1879	216-0024	川崎市宮前区南平台3-2 (第2石原ビル)
	平塚S.C.	(0463)23-2687	254-0033	平塚市老松町4-9（木村ビル）
	相模原S.C.	(042)776-2052	229-0004	相模原市古淵3-7-4
静岡				
静岡	静岡S.C.	(054)282-4141	422-8006	静岡市曲金6-5-28
	沼津S.S.	(0559)22-1557	410-0041	沼津市筒井町6-5
	浜松S.S.	(053)421-3441	435-0041	浜松市北島町785
東海・北陸				
愛知	名古屋S.C.	(0568)25-3235	481-0041	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河S.S.	(0564)26-1005	444-2133	岡崎市井ノ口町字河原西31-1
	豊橋S.S.	(0532)64-0815	440-0853	豊橋市佐藤5-19-1
岐阜	岐阜S.S.	(058)274-1947	500-8367	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重S.S.	(0593)52-0841	510-0076	四日市市堀木2-15-2
	津S.S.	(059)229-7780	514-0815	津市大字藤方485-18
富山	富山S.C.	(076)425-2397	939-8211	富山市二口町4丁目1-3
石川	金沢S.C.	(076)269-4821	921-8062	金沢市新保本4丁目65-17
福井	福井S.S.	(0776)53-6916	910-0843	福井市西開発3-211

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　1099

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
近畿				
滋賀	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	滋賀S.S.	(077)582-5812	524-0033	守山市浮気町268
京都南部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	京都S.C.	(075)313-3189	600-8861	京都市下京区七条御所ノ内北町91
京都北部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	福知山S.S.	(0773)22-8664	620-0059	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	奈良S.S.	(07442)4-6271	634-0007	橿原市葛本町834-2
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	大阪南S.C.	(06)6768-5489	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16
	堺S.C.	(0722)54-2881	591-8032	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口			
	業務機器C	(06)6304-6715	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	和歌山S.S.	(0734)72-6799	640-8323	和歌山市太田430-8
	田辺S.S.	(0739)22-9914	646-0023	田辺市文里1-19-18
兵庫東部	【出張修理専門】のご相談窓口			
	大阪S.C.	(06)6304-5731	532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口			
	神戸S.C.	(078)252-0562	651-0086	神戸市中央区磯上通3-2-16
	明石S.S	(078)924-1104	673-0018	明石市西明石北町3-12-9 小西ビル1F
兵庫西部	【サービス関連全て】のご相談窓口			
	姫路S.S.	(0792)34-3833	670-0975	姫路市中地南町11-1

都府県名	拠点名	TEL	〒	所在地
中国				
岡山	岡山S.C.	(086)243-1566	700-0926	岡山市西古松西町8-23
広島	広島S.C.	(082)243-9839	730-0825	広島市中区光南3-9-17
	福山S.S.	(0849)31-6984	721-0973	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口S.C.	(0839)73-3708	754-0022	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山S.S.	(0834)27-1331	745-0042	徳山市野上町2-35
	下関S.S.	(0832)51-1040	751-0852	下関市熊野町2-14-23
四国				
香川	高松S.C.	(087)866-1200	761-8057	高松市田村町205-1
徳島	徳島S.C.	(088)622-7387	770-8052	徳島市沖浜2-37
高知	高知S.S.	(088)882-0546	780-8122	高知市高須新町4-143
愛媛	松山S.C.	(089)923-0372	791-8015	松山市中央1-4-12
	宇和島S.S.	(0895)20-1018	798-0087	宇和島市坂下津甲407-40
	新居浜S.S.	(0897)67-1030	792-0881	新居浜市松神子2-2-25
九州・沖縄				
福岡	福岡S.C.	(092)431-1261	812-0011	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米S.C.	(0942)39-3495	830-0038	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州S.C.	(093)921-3981	802-0065	北九州市小倉北区三萩野2-9-3
佐賀	佐賀S.S.	(0952)26-8785	840-0023	佐賀市本庄町大字袋265-1
長崎	長崎S.C.	(095)862-5522	852-8021	長崎市城山町9-13
	佐世保S.S.	(0956)33-5568	857-1166	佐世保市木風町1467-2
大分	大分S.C.	(097)543-1422	870-0822	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本S.C.	(096)353-4536	861-4101	熊本市近見8-1-10
宮崎	宮崎S.S.	(0985)24-5401	880-0032	宮崎市霧島町3-59
	延岡S.S.	(0982)35-7077	882-0857	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島S.C.	(099)267-3572	891-0114	鹿児島市小松原2-23-28
沖縄	沖縄S.C.	(098)898-3631	901-2224	沖縄県宜野湾市真志喜1-13-16
山陰				
島根	山陰ビクター販売(株) サービスセンター (松江・米子担当)	(0852)31-8900	690-0823	松江市学園1丁目16-39
	出雲営業所サービス係	(0853)21-4611	693-0001	出雲市今市町854
	浜田営業所サービス係	(0855)22-1584	697-0023	浜田市長沢町671-1
鳥取	鳥取営業所サービス係	(0857)23-2151	680-0911	鳥取市千代水1丁目22-1

●海外主要都市でのビデオムービーご相談窓口

カナダ JVC CANADA INC.
・トロント 〔416-293-1311〕
21 Finchdene Square, Scarborough, Ontario M1X 1A7

アメリカ JVC SERVICE & ENGINEERING COMPANY OF AMERICA
・ロサンゼルス 〔714-229-8011〕
5665 Corporate Avenue Cypress, CA 90630-0024
・ニュージャージー 〔973-808-9279〕
107 Little Falls Road, Fairfield, NJ 07004-2105
・ホノルル 〔808-833-5828〕
2969 Mapunapuna Place, Honolulu, HI 96819-2040

イギリス JVC (U.K.) LIMITED
・ロンドン 〔0181-450-3282〕
JVC BUSINESS PARK, 14 Priestley Way, London NW2 7BA

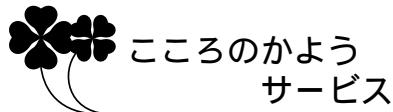
フランス JVC FRANCE S.A.
・パリ 〔01-39-96-33-33〕
102, Boulevard Heloise, 95104 Argenteuil Cedex

シンガポール JVC ASIA PTE. LTD.
・シンガポール 〔255-8155〕
31Kaki Bukit Roard 3, #06-18 Techlink, Singapore 417818

(注)・その他の地域に関しては、おでかけの前にお客様ご相談センターにご相談ください。・海外では日本の保証書は適用されません。
・日本語での対応はできないサービスセンターもございます。

●ビクター製品についてのご相談窓口

お買物相談、お取扱い方法、お手入れ方法その他ご不明な点は、下記にご相談ください。

お客様ご相談センター	(03)5684-9311	113-0033	東京都文京区本郷3-14-7　ビクター本郷ビル
	(06)6765-4161	543-0028	大阪市天王寺区小橋町10-16　大阪ビクタービル

サービスネットワークＢＳ　9001

その他

用語解説

ガイドチャンネル

Gコード録画予約のために、各放送局に付けられた番号です。この番号が正しく設定されていないと、Gコード予約録画はできません。

デジタルCS（シーエス）放送

通信衛星（Communication Satellite）を利用したテレビ放送です。一般的には単に「CS放送」と呼ばれています。この放送を受信するには、CS 放送各社との契約が必要です。加入は有料で、専用のパラボラアンテナと受信機を購入する必要があります。

受信チャンネル

受信できる放送局のチャンネル（周波数帯域）のことです。新聞のテレビ欄などに載っているチャンネル番号のことをいいます。

チャンネル表示

本機で特定の放送局を選ぶときに、本機の表示窓やテレビ画面に表示されるチャンネル番号です。
本機でチャンネル表示を変更しているときは、「受信チャンネル」と違った番号になります。
本機で、その受信チャンネルを選びたいときは、チャンネル表示の番号を選びます。
例えば、テレビ神奈川（受信チャンネル：42チャンネル）のチャンネル表示を本機で「9チャンネル」に設定してある場合は、テレビ神奈川の番組を見るときには、本機では「9チャンネル」を選びます。

ハイファイステレオ音声

本機のS-VHS/VHSモードでは、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。
そのうちのひとつが「ハイファイステレオ音声」です。この音声はテープの「ハイファイステレオトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
ハイファイステレオトラックに録音された音声は、モノラルのビデオデッキなどでは再生することができません。

二重音声放送

ステレオの左チャンネルと右チャンネルに、別々の音声を入れた放送です。映画などの放送でよく使われる二カ国語放送も二重音声放送のひとつです。最近ではプロ野球の中継放送などにも使われています。

ノーマル音声

本機のS-VHS/VHSモードでは、2種類の音声を録音・再生できるようになっています。
そのうちのひとつが「ノーマル音声」です。この音声はテープの「ノーマルトラック」と呼ばれる部分に録音されています。
これにより、モノラルのビデオデッキやビデオムービーで録画されたテープの音声を本機でも再生することができます。
また、逆に本機で録画したテープを、モノラルのビデオデッキで再生しても、音声を聞くことができます。

A（エー）モード音声

BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はFM放送以上で、テレビ音声と独立音声があります。

B（ビー）モード音声

BSで放送される音声の種類のひとつです。音質はCD（コンパクトディスク）と同等です。

BS（ビーエス）デコーダー

BS有料放送のスクランブルを解除する機器です。
WOWOWやSt.GIGAを受信するときに必要になります。

CATV（シーエーティービー）放送

有線テレビ放送のことです。サービスの行われている地域でのみ受信できます。受信するためには、CATV放送各社との契約が必要です。

Gコード

録画の予約を簡単にするためにジェムスター社が考案したシステムです。すべての番組に付けられる8桁までの番号です。本機ではこの番号を入力することにより簡単に録画予約をすることができます。

MUSE（ミューズ）

ハイビジョンの帯域圧縮伝送方式です。

MUSE（ミューズ）ー NTSC（エヌティーエスシー）コンバーター

MUSE信号を現行のNTSC信号に変換するための機器です。
ハイビジョン放送の番組を現行のテレビで見ることができます。

NTSC（エヌティーエスシー）方式

現行の日本や米国で使われている映像（カラー）方式です。
ヨーロッパや東南アジアの国々では、PAL方式やSECAM方式という違った方式が使われています。
この映像（カラー）方式が違うビデオテープは本機では再生することができません。

TBC&3D（ティービーシー・アンド・スリーディー）

TBCは、再生したとき横方向の細かな歪みなどを補正します。
3Dは、ノイズを低減しクリアな映像で再生します。

技術解説

デジタル放送とD-VHS

いまVHSビデオを取り巻く環境は大きく変わろうとしています。その代表がテレビ放送のデジタル化です。
日本におけるデジタル放送は1996年のCS放送（現スカイパーフェクTV!）から始まり、1997年にはディレクTVが放送を開始し、2000年以降に地上波までデジタル化される予定で進んでいます。
放送のデジタル化は高画質・高音質、多チャンネル化、多機能化だけでなく、資源として有限な電波の効率的な使用という側面も持っています。
放送の変化にあわせて進化・発展を遂げてきたVHSは、その資産を引き継ぎつつ放送のデジタル化への対応が求められています。
また、デジタル放送では映像や音声に限らず様々なデータも送られてきます。このようなデジタル放送情報の全てをデジタル信号のまま記録でき、しかも膨大な数のVHSアナログ記録の映像も再生できるビデオ、それがD-VHSです。
D-VHSはアナログからデジタルへのスムーズな受け渡しを実現し、ホームビデオという20世紀に定着した家庭の映像文化を21世紀へ継続していく 次世代のホームビデオです。

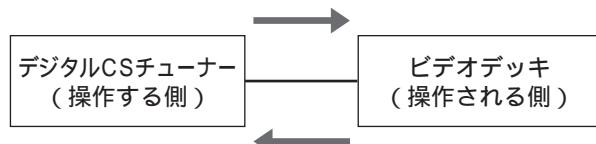
i.LINK (アイリンク)

i.LINKとは、i.LINK端子を持つ機器間で、デジタル映像やデジタル音声などのデータを双方向でやりとりしたり、他機をコントロールしたりするためのデジタルシリアルインターフェースです。
i.LINKは、IEEE (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 1394 − 1995およびその拡張仕様を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ「i」はソニー株式会社の商標です。

LINC（リンク）

i.LINK対応デジタルCSチューナー（i.LINK対応機器を操作する側）は、i.LINKコードで接続されている機器のうち1台だけを操作できます。「LINCする」とは、相手の機器を1台選ぶことを意味します。デジタルCSチューナーと相手の機器との間で次のようなやりとりが行われます。

例）ビデオデッキをLINCするとき

①「これから操作してもいいですか？」とデジタルCSチューナーがビデオデッキに信号を送る

②「了解です」とビデオデッキがデジタルCSチューナーに信号を送る

この呼びかけ・返答のやりとりが行われ、i.LINK対応機器のLINCが完了して、初めてi.LINK対応機器を操作することができます。
LINCとは、Logical Interface Connection（ロジカル・インターフェース・コネクション：「論理的な接続を行う」の意）の略です。

MPEG2

MPEG2とは、Moving Picture Experts Group（メディア統合系動画像圧縮の国際基準）Phase2の略です。
MPEG2は従来の圧縮方法と違い、高画質を維持したまま高圧縮する技術です。むだなデータを省くために1コマ1コマの画像がそれほど変化しない事を前提に動きの予測をしながら圧縮しています。具体的にはフレーム情報の相関性を利用してフレーム間圧縮と、DCT（離散コサイン変換）によるフレーム内圧縮の組み合わせで効率良く圧縮してゆきます。

主な仕様

●電源 .... AC100V 50/60 Hz
●消費電力 .... 37W（BSアンテナ電源使用時 43W / 電源「切」時 11W / 電源（切:時計表示「切」）時 4.2W）
●外形寸法 .... 468 mm x 145 mm x 369 mm（幅×高さ×奥行き）
●質量 .... 8.0 kg
●許容動作温度 .... ＋5℃ ～ ＋40℃
●許容相対湿度 .... 35 %～ 80 %
●許容保存温度 .... －20 ℃ ～ ＋60℃
●使用カセット .... D-VHS、S-VHS、VHS マークのついたビデオカセット

ビデオ（映像）/オーディオ（音声）【D-VHS】

●フォーマット MPEG2 STD/LS3モード
●トラック構成 .... テープスピード STDモード:16.67mm/sec
LS3モード:5.55mm/sec
ヘッドアジマス ±30°
ドラム回転数 1800rpm
トラッキング方式 CTLトラック方式
●記録仕様 .... メインデータ入力レート 14.1Mbps(STD)
4.7Mbps(LS3)
サブデータ入力レート 0.146Mbps(STD)
48,7kbps(LS3)
記録レート 19.14Mbps
トラック構造 1セクター
シンクブロック長 112Byte
内訂正符号 RS符号
外訂正符号 RS符号
コードワードシャッフリング 6トラック
変調方式 SI-NRZI
●インターフェース IEEE1394デジタルインターフェース準拠
●デジタル音声 MPEG1 オーディオレイヤー2

ビデオ（映像）【S-VHS】

●録画・再生方式 回転2ヘッドヘリカルスキャン輝度信号FM方式
色信号低域変換直接記録方式
●映像信号 .... NTSC 日米標準信号

ハイファイオーディオ（音声）【VHS】

●録音方式 .... VHSステレオハイファイ方式
●周波数特性 .... 20 Hz ～ 20 kHz
●ダイナミックレンジ .... 90 dB以上
●ワウ・フラッター .... 0.005 %以下
●チャンネルセパレーション .... 60 dB以上

ノーマルオーディオ（音声）【VHS】

●録音方式 .... リニアトラック
●音声トラック .... 1チャンネル（モノラル）

チューナー（テレビ受信）

●受信方式 .... 周波数シンセサイザー方式
●音声多重受信方式 .... インターキャリア方式
●受信チャンネル .... VHF 1 ～ 12チャンネル
UHF 13 ～ 62チャンネル
BS 1,3,5,7,9,11,13,15チャンネル
CATV C13(63)～C63(113)チャンネル

タイマー（タイマー予約・時計）

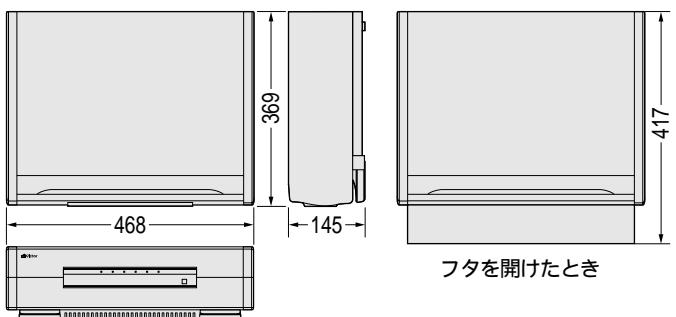
●タイマー予約 1年間8番組予約
●時計 .... 12時間（午前・午後）方式
●停電補償時間 約60分

接続端子

●アンテナ .... 75 Ω F型コネクター
VHF/UHF一軸
●BSアンテナ .... 75 Ω F型コネクター
アンテナ電源出力 DC15V 最大4W
●BS-IF出力 .... 75 Ω F型コネクター
●S映像 .... 入力 Y p-p：0.8 ～ 1.2 V 75 Ω
C p-p：0.2 ～ 0.4 V 75 Ω
出力 Y p-p：1.0 V 75 Ω
C p-p：0.29 V 75 Ω
●映像 .... 入力 p-p：0.5 ～ 2.0 V 75Ω（ピンジャック）
出力 p-p：1.0 V 75 Ω（ピンジャック）
●音声 .... 入力－8 dBs 50 kΩ（ピンジャック）
モノ（左）対応
出力 －8 dBs 1kΩ（ピンジャック）
●i.LINK 4ピン S200
MPEG2入/出力用、DV入力用
●D1映像出力 .... Y p-p：1.0 V 75Ω
Cb, Cr p-p：0.7 V 75 Ω
●検波入／出力 .... p-p：0.67 V 75 Ω（ピンジャック）
●ビットストリーム入／出力 .... p-p：0.5 V 75 Ω（ピンジャック）
●AFC入力 .... p-p：0.5 V 75 Ω（ピンジャック）
●リモートポーズ / AVコンピュリンクⅡ .... ビクタービデオムービー・デッキとの編集用
●JLIP .... φ3.5 mm

テープ走行

●早送り / 巻戻し時間 .... D-VHS：約3分（DF-300テープ使用時）
VHS ：約2分30秒（T-120テープ使用時）
テープによっては早送り / 巻戻しに時間がかかる場合があります。

（単位：mm）

フタを開けたとき

● 仕様および外観は、改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
● このビデオは日本国内のみ使用できます。
外国では放送方式、電源が異なりますので使用できません。
This video cassette recorder is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
● 本商品は「外国為替および外国貿易法」で定められた規制貨物に該当します。本商品を国外へ持ち出すときは日本国政府の許可が必要です。

●CATVチャンネル対応表

送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示	送信チャンネル	チャンネル表示
C13	63	C30	80	C47	97
C14	64	C31	81	C48	98
C15	65	C32	82	C49	99
C16	66	C33	83	C50	100
C17	67	C34	84	C51	101
C18	68	C35	85	C52	102
C19	69	C36	86	C53	103
C20	70	C37	87	C54	104
C21	71	C38	88	C55	105
C22	72	C39	89	C56	106
C23	73	C40	90	C57	107
C24	74	C41	91	C58	108
C25	75	C42	92	C59	109
C26	76	C43	93	C60	110
C27	77	C44	94	C61	111
C28	78	C45	95	C62	112
C29	79	C46	96	C63	113

索引

HM-DR10000　取扱説明書

製品についてのご相談や修理のご依頼は

お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記のご相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 **ビクターサービスエンジニアリング**	本製品についての技術的なお問い合わせは **ビデオ事業部**
110～111ページをご覧ください。	**☎(045)450-2550**

お買い物情報や製品についての全般的なご相談
お客様ご相談センター

東京　☎(03)5684-9311 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル	**大阪　☎(06)6765-4161** 〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

ビクターホームページ　http://www.jvc-victor.co.jp/

ビデオ事業部
〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地

1099MNV＊SW＊VP